

小杉放菴 文献目録

2025.8.13 更新

【凡例】

・本目録は以下の構成からなる。

I 小杉放菴の著述

- 1 単行図書 | 小杉の名前で出版されたもの……1
- 2 単行図書 | 一部に小杉の著述・書簡を収めるもの……5
- 3 定期刊行物……10

II 画集・展覧会図録・収蔵品図録

- 1 小杉が生前に刊行した画集……25
- 2 小杉をメインとする展覧会図録・目録・画集……25
- 3 その他の画集・全集・展覧会図録……27
- 4 収蔵品図録・コレクション展図録……33

III 小杉放菴の関連文献

- 1 単行図書 | 評伝……35
- 2 単行図書 | 小杉への言及があるもの……35
- 3 定期刊行物 | 小杉への言及があるもの……44
- 4 小杉放菴個展資料……56

・「II-3 その他の画集・全集・展覧会図録」では、とくに小杉について言及してある論文や解説を、書名の次段落に記した。

・展覧会図録について、小杉放菴作品の出品はなく、論文等でのみ小杉への言及がある場合は、IIではなく、「III-2 単行図書 | 小杉への言及があるもの」へ配した。

・小杉の雅号は、「未醒」の後、1927 年以降の「放庵」、1933 年以降の「放菴」という変遷があるが、本目録では各文献に印刷された署名を挙げた。

・※は編者による注記を示す。初出誌や、極めて希少な書籍の場合はその所蔵先など記した。

・＊は各文献の再録や復刻本を示す。

I 小杉放菴の著述

1 単行図書 | 小杉の名前で出版されたもの

小杉未醒『陣中詩篇』

嵩山房 1904.11

序/仁川海戦の前夜(戦の神 千代田艦 笛声)/二十四人/韓山夜宮/姿絵/寝ざめ/漢江暮雪/舞扇/碧蹄曉笈/開城の宿/観月亭懷古之賦/夕の思/帰れ弟/鼎嶺の書に酬ふ/破瓢の書に酬ふ/仁川港に大村琴花を送る/閔妃陵/むかしのこひ人へ/病兵/韓の老臣に代つて旧王城に懷古の情を賦す/野調/髑髏塔の筆者/病軍馬を悲しむの歌/配天に寄す/長髪賛/月と病兵/朝鮮を去るの歌/附録 朝鮮日記

※所蔵館：大阪府立図書館、京都府立図書館、国立国会図書館、天理大学附属天理図書館、都立多摩図書館、日本近代文学館、碧南市藤井達吉現代美術館、早稲田大学図書館

＊小田切進 編『明治文学全集 83 明治社会主義文学集(一)』1965

小杉未醒『漫画一年』

左久良書房 1907.1

独歩「序」/春の巻 68 図/夏の巻 105 図/秋の巻 95 図/冬の巻 24 図/雑の巻 68 図

※本書の書評が慶應義塾学報、新公論、日本人、中学世界、みづゑ、文芸倶楽部、報知新聞、萬朝報、東京毎日新聞、日出新聞、神戸又新日報に掲載され、『漫画天地』第3版に再録されている。

小杉未醒『詩興画趣』

彩雲閣 1907.6

独歩生「序」

十人画伝/水国の初秋/夢遊記 ※初出：新古文林 1907.3/画紀行/常陸絵行脚/秋郊一日 ※初出：東京日日新聞 1906.11. 8,10/青葉若葉/塩原行/富士日記/栗山記 ※初出：天鼓 1905.5.15/清ちやん/有情非情画伝 ※初出：趣味 1907.5/画伝五人 ※初出：趣味 1907.6

＊改題本：『詩興漫画』国文館 1911

田山花袋・小栗風葉・沼波瓊音・小杉未醒『東海道線旅行図会』修文館 1907.7

東京通人・小杉未醒『東京四大通』

也奈義書房 1907.10

小杉未醒「漫画」50 図

東京通人「遊覧」/「食物」/「買物」/「旅館」

※旋風子「文芸間語」趣味 2 巻 12 号(1907.12)によれば、著者の東京通人は、伊藤銀月の弟・天籟。

※本書の書評が新潮、新公論、慶應義塾学報、手紙雑誌、中学世界、みづゑ、日本に掲載され、『漫画天地』第3版に再録されている。

小杉未醒『漫画天地』

左久良書房 1908.1

未醒識「自序」/天之巻 121 図/地之巻 品海一日 16 図 野球八題 水滸漫画 37 図

小杉未醒『漫画と紀行』

博文館 1909.5

同中観笑以下九図/漫画十二ヶ月/怪十五題/春興十二/盗十五題/漫画八十六図/狩十五題/書生十五題/蛮勇十五題/春の日記/通夜/木曾路/御嶽詣/上毛の秋/伊豆絵詞

小杉未醒『新訳 絵本西遊記』

左久良書房 1910.1

＊中央公論社(中公文庫) 1993.3

中村不折・河合新蔵・天下藤次郎・鹿子木孟郎・満谷国四郎・高村真夫・吉田博・中川八郎・小杉未醒・石井柏享『十人写生旅行——瀬戸内海小豆島』興文社 1911

＊復刻版：瀬戸内海国立公園指定六十周年記念実行委員会 1994

小杉未醒『新訳 絵本水滸伝』

左久良書房 1911.3

小杉未醒『詩興漫画』

国文館書店・一書堂書店 1911.7

※『詩興画趣』の改題本。目次は同書に同じ。

石川寅治・天下藤次郎・渡部審也・河合新蔵・吉田博・中川八郎・小杉未醒・満谷国四郎『瀬戸内海写生一週』興文社 1911.8

小杉未醒『画笔の跡』

日本美術学院 1914.5

【**歐洲航路にて**】愚園の巨人(上海にて)/シンガポールの雨/カンディ行(セイロン島にて)/主と家来/二百万廻転/暁/廃船/スエズ/鷗釣/銀鼠の朝

【**巴里にて**】ミカレーム/黒猫の死/石畳の上/癡画人/神田の火車/シネマの爺/機関人形/踊/夜ふけのカツフエ/桜田騒動

【**フランスの田舎**】ベトイユ村へ/ベトイユの宿屋/ケルファンニよりの書簡/子鬼/出ケルファンニ記

【**ロンドン及ブラッセル**】倫敦短信/雨の日(ブルツセルにて)/出立間際(ブルツセルにて)

【**スペインの旅**】コルドバの記憶/セビイユの記憶/アルハムブラ/セコビヤの記憶

【**イタリアの旅**】石火(フロランスにて)/人形(ボロニヤにて)/氷(ボンベイにて)/夜(ローマにて)

【**独逸及露西亜**】独逸よりの断簡/子バ河(ペテルスブルグにて)/イワン王と建築家(モスクワにて)/ペンギン島(モスクワにて)

【**帰途**】回想の一部(シベリヤ鉄道にて)/同(朝鮮にて)

【**記念評論**】我が見たる数十家 —— ギョット チマブ

エ

ボッチセリー ベノッツォ、ゴッソリ チントレットチ、アノヴェロネーズ カルパッチョ ペアト、アンゼリコ レオナルド、ダ、ピンチ ペルナルヂノ、ルイニ ラアアエロ、サンチオ ミケランゼロ ドナテロ ルカ、デル、ロピア ギベルチ ヴェラスケス グレコ ゴヤ ムリヨ ルーベンス レンブラント ウキルツ ロセツチ バン、ダヨンス ワッツ

ターナー ウィットスラー ウレストチヤギン ポール、
ツルベッコイ カンヂンスキー ネステロップ
ロエリッツ ザツク ホルバイン ベックリン スツック
セガンチニ ムンク ホードラー ホフマンマネ ミレ コロ
モネ シスレイ ビッサロ ドガルノアルギュスターブ、
モロー ビュビッドシヤパンス ポール、セザンヌ ゴガン
ワン、ゴッホ ローラン アマンジヤン アンリー、マルタン
ロダン ムーニエ ワン、ドンジアン アンリー、マチス
〔附記 挿画に就て〕小湾/椰子の下/癡画人/厨房の女/
巴里郊外/ブルタニユの女/牛/ポンタベエの入江/
ジャガイモの収穫/入江の一角/グラナダの途中/
ジブシーの村/グラナダの牧者/フロランス/エニス港/
エニス港の二/洗濯/北イタリアの女/公園の一端/
ジョットの壁画の一部/カルパッチョの貴婦人図/
ルイニのマンナを拾ふイスラエル/ミケランゼロの半成
像/カンヂンスキーの Lyrisches/ピカッソの首/ルノアル
の女/セザンヌの素描/ロダンの草画/マティスのモ
ロッコ風景
*和田博文 監修『ライブラリー・日本人のフランス
体験』第11巻 柏書房 2010

小杉未醒『応用美術講話』

日本美術学院 刊行年記載なし〔1910年代〕

※『正則洋画講義』所収の「応用美術講話」と同一内容

〔版面に就いて〕第一 石版画/第二 日本木版画/第三 エッ

チ

ング/第四 ギンク版/第五 写真版/第六 三色版

〔製作の経過〕「白木蓮」の日記/「水郷」の日記/「豆の秋」

の日記/「煙草畑」失敗の日記/風景写生の日記

〔洋画道〕一 モンスター/二 過去/三 材料/四 地方の洋画学
習志望者に答ふの書/五 「写生旅行」の一/六 「写生旅行」
の二/七 「写生旅行」の三/油絵の経験(一)/油絵の経験(二)
/油絵の経験(三)/油絵の経験(四)/□○問答/洋行/置手紙
/置手紙の二

小杉未醒『日本画講義 画談雑纂』

日本美術学院 刊行年記載なし〔1910年代〕

〔絵巻〕

〔洋画家の経験したる日本画〕墨/紙/屏風

〔各所の写生地〕〔序文〕/ (一) 霞ヶ浦 (香取・佐原、潮来・
鹿嶋 牛堀・浮嶋・麻生、玉造・土浦・筑波山) / (二) 湖沼の
種々 (牛久沼・印幡沼・取手沼・仙波沼・まんざうこ、琵琶湖・
バイカル・洞庭湖、諏訪湖・芦の湖・中禅寺湖、榛名湖・白根
の湖・日光山中の諸湖、清水沼・御岳の神池・鬼怒沼)

〔朝鮮と琉球〕異風の土地と好奇心/乾燥の朝鮮、平壤、
碧蹄館、開城/諸国の服装論/城の色々/朝鮮琉球の風景

小杉未醒『支那画観』

アルス 1918.1

序/絵画 40点/支那記/支那画眼

小杉未醒『画人行旅』

アルス 1923.6

〔行旅篇〕水国雑信 (出船 平馬鹿早馬鹿 二度目の船出 むぐ
つちよ ぶんぬけ 十二橋 春日欲暮 夜のえんま 水の香 大
南 江戸崎 羅漢山 笠踊 大師巡り) /平泉誌 (奥の細道所感
附仏五郎衛門後日譚) /奥羽道中記 (三本木 大公孫樹 葛温泉
鳶沼の金魚 奥入瀬溪 十和田湖 深林 八甲田山の一 八甲田
山の二 酒田 象潟の一象潟の二 奥羽詠草) /南下野の夏/庚
申山記 (眼腐れ 薊を喰ふ 庚申山の太鼓 お山巡り 坑夫の妻)
/琉球回想 (ぬぶいくぢい くわでいし くりぶね まちなと)
/蕉窓夜話/中華伝信録 (神仙爐 大単調 韓世昌 梅翀 石仏古
寺 東華棧漫録 微塵 燕京漫録 揚州一日 金山長風) /唐土雑
観/画人三題/かみ方見物の案内/高野山の一挿話/濱寺日記/
泛内海行/十津川紀行 (附 熊野路にて歌へる) /旅の歌ども
〔故郷篇〕創世記の一節/老樵志異/華嚴瀑讃嘆/山村漫筆/
曉山感傷

〔家居篇〕田端/問に答ふ/禽獣草木 (鶏の声 母鶏の愛
花苑 白黒 ホブラ 白樺) /鳩/鶏の決闘/苑中の婦人/白隠和

尚の絵事/壁画/堅長の絵横長の絵/秋の美術期の前に/和漢比
較漫録/連句/諸国夜話/古支那人の言葉

〔挿絵〕琉球なかぐすく/水辺村舎/浮島/羅漢山/朝の馬/造り
かけた油土の薬師像/千丈幕/益子焼の窯/お山巡りの路/首里
城/石仏古寺/萬壽山/文徴明の枯木高閑/楊州/大徳寺/落鮎/
越の海/暮雪/二荒山/溪魚/桃花鳴鳩/胡瓜/鶏頭/衝立にかい
た牛/石狩の海

小杉未醒『アルス美術叢書 9 大雅堂』

アルス 1926.1

評伝第一、青年周平及柳里恭/評伝第二、新家庭/評伝第三、
大雅堂の旅行及祇南海/評伝第四、大雅堂の交友/評伝第五、
晩年の大雅堂/評伝第六、玉蘭女及門人

附録 一、諸家の見たる大雅堂/二、秋成の見たる大雅/三、雅
号/四、十便図賞嘆

巻末言

*普及版：1928.4/増補版：『現代双書 36 池大雅』三笠書房
1942.12

田山花袋・小杉未醒『耶馬溪紀行 附別府』

実業之日本社 1927.6

*非売版：田山花袋小杉未醒合著発行会 (別府市・亀の井ホテ
ル内) 1927.6

*復刻版：中津玖珠日本遺産推進協議会 2018.3

田山花袋・小杉未醒『水郷日田 附博多久留米』

日田商工会 1927.12

安田鞆彦・小杉未醒・和田三造・山本鼎 編『東西素描大成 7 巻
西洋之部 人体篇』上 アトリエ社 1929

安田鞆彦・小杉未醒・和田三造・山本鼎 編『東西素描大成 8 巻
西洋之部 人体篇』下 アトリエ社 1929

小杉未醒『放庵画論』

アトリエ社 1930.5

過去の東洋/新南画旧南画/新旧/洋画家の東洋回顧/東洋的日
本的/芸術的日本の位置/線/水墨/硯と墨との話/紙/再び硯と
墨/実用芸術/展覧会芸術/院展回顧/宋元の古画展/唐宋元明
展/明治大正名作展懐古/春陽展雑感/淡彩派/挿絵/再び春陽
展雑感/遠方より見てみたる黒田氏の事業

〔附録〕清朝画人の話柄 (石濤和尚の画冊 石濤和尚の樹怪
憚南田の地藏菩薩 呉歴の切支丹) /画師閻立本/王摩詰の話
柄/画題二則 (虎溪三笑 陶淵明) /芸術皇帝/顧愷之

小杉未醒『景勝の九州』

別府商工会議所 1930.5

序言

発端 瀬戸内海

〔第一編 別府より久住まで〕一 別府鳥瞰/二 地獄/三 温泉
廻り/四 郊外散策/五 由布院と由布鶴見/六 大分及大分県の
石仏/七 竹田久住/第一篇備考

〔第二編 阿蘇より三角まで〕一 外輪/二 中岳/三 阿蘇平野
/四 熊本/五 三角/第二篇備考

〔第三編 雲仙と島原長崎〕一 島原/二 切支丹/三 温泉/四眺
望第一山/五 小浜附近/六 長崎/第三篇備考

*増補改訂版：日本風景協会 1930.11

下記の附録が追加されている。

〔附録 天草記〕一 上島/二 本渡/三 下島の山路/四 富岡附
近/五 牛深往復/天草備考

*増補改版：日本風景協会 1930.11

小杉放庵『彦山』

英彦山振興会 1930.6

彦山/附記/彦山補遺/彦山の詩/彦山年譜/山案内/彦山詠草

小杉未醒『工房有閑』2冊組

やぼんな書房 1931.9

工房有閑 (道路 家屋 子弟) (昭和3年) …1/苑中雑事 (大正
13年) …15/春字連想 (昭和2年) …24/科学迷信 (大正13
年) …29/笛ふけば踊る (大正13年) …34/工房小言 (大正12
年) …40/此頃の事 (大正13年) …52/政道質疑 (昭和2年)
…52/噴飯の種 (大正13年) …71/工房閑談 琉球名物 動物の

不思議（大正13年）…71/養生（大正13年）…87/女（大正14年）…97/刀（昭和元年）…104/荒唐…108/読余（摩尼 鄭鑑録 凄じく寂しき二人）（昭和3年）…118/唐手伝…129/古郷春（大正14年）…139/冬の山家（大正13年）…148/山かげの花（大正13年）…154/鹿が来た頃（大正15年）…156/山村怪談…159/山村話柄（炭焼 清さんの死）…163/山住居の話（みそふみ いはな ギートン 狐穴 帰園田居 方丈記）（大正12年）…177
三句余の生活（大正12年）…193/牛久沼二日…201/新緑を懷ふ…212/心頭涼風…220/水の情味…227/水二題（義弟 父）…231/ボブラ昔話…/スポーツ衣食論…250/亡友録（大正14年）…262/春浪漁史（大正15年）…282/桂月と徐霞客（大正17年）…288/忽然たる死（昭和2年）…295/澄江堂と瓊音（昭和2年）…299/泉鏡花氏の芸（大正14年）…307/叱らぬ師匠 青々子を思ふて（昭和2年）…313/破門の弟子…317/遊歴画家の日記…325/池田大隅物語 附八幡十郎の事…330/書剣余談（昭和2年）…339/少林拳法（大正13年）…347/剣術皇帝（大正13年）…359/剣俠小話…376/戯曲桃花扇の事…404/桃花扇的一幕（昭和3年）…415/支那の新聞（大正15年）…425

小杉放庵『琵琶湖をめぐる』

日本風景協会 1932.6

序

【一 大津にて思ふ】 勇士曲翠一家/近江八景/逢坂山/瀬田川歌碑

【二 湖西に行く】 藤太の鐘/滋賀の宮/叡山/横川/近江舞子/藤樹書院/八池の瀧/楊梅の瀧

【三 湖上に泛ぶ】 湖水渡し/創世記/竹生島の一夜/湖上の連想

【四 湖北】 賤ヶ嶽/余吾湖/本州中断

【五 湖東をめぐる 其一】 伊吹山/長浜/佐和山/彦根

【六 湖東をめぐる 其二】 安土附近/安土城址/多賀神社/石塔寺/永源寺

【七 余談】 鈴鹿峠/甲賀草津/磨針峠/勇婦/近江の交通

【備考】

【挿絵】 唐橋/逢坂山/高観音/叡山/八池瀧/竹生島雨宝童子祠/賤ヶ岳/伊吹山/大洞より/彦根城遠望/安土八角台/白王村附近/長命寺/多賀神社/永源寺

小杉放庵『奥の細道画冊』

春陽堂 1932.7

別冊：『奥の細道に行く』 ※初出：倦鳥 1928.1, 3～7

※縮刷新版：龍生閣 1955.9 ※特装版 100 部

※復刻版：春陽堂書店 1972.10

別冊：小杉放庵『奥の細道に行く』

別冊：『放庵一人と芸術一』

中川一政「小杉放庵」/小玉久爾夫「放庵と百草居」/

小杉一雄「父 放庵居士」/年譜

小杉放庵『日本の十和田湖と青森の山水』

日本風景協会 1933.4

序

日本の十和田湖

〔湖は十和田〕 三本木(大素翁と二人法師)/大公孫樹(南祖坊と八郎)/鳶温泉/鳶沼の金魚/奥入瀬溪/湖上遊/休屋/十和田神社/深林

〔八甲田山〕 八甲田山/酸ヶ湯を下る/花の八甲田山/秋の十和田

青森の山水

〔水禽を愛する国〕 八戸鮫の湊/種差の浜/小河原沼/小湊の白鳥/浅虫温泉/恐山/半島の長大絶壁/青森雑録

〔冬は雪国〕 弘前/長勝寺/大鰐のスキイ/がんがら穴/三十六湖/深浦/荷馬車の客/大戸瀬/岩木山/岩木山登臨記/十三潟

【口絵】 放牧/鳶沼/奥入瀬溪/馬門峡/千丈幕之一部/十曲湖一角/十曲湖角/谷地の湯/酸ヶ湯地獄/鶴島明神/小河原沼/小湊/弘前城/岩崎三十六湖/岩木山/津軽の海

小杉放庵『放菴歌集』

竹村書房 1933.12

旅の歌 六首/水郷 七首/熊野路 五首/中房浴泉賦 十五首/題画 七首/陸奥にて 五首/朝鮮 四首/支那 三首/浅間浴泉の歌 五首/飛騨に入る歌 十首/高山より歸りて高山を思ふ歌 四首/古郷清秋 九首/古郷長夏 九首/野尻湖閑居 九首/江南 五首/房総 五首/筑波山 二首/朝鮮の母 十四首/九州廻々 二十五首/奈良 二首/立山詠歌 九首/甲州山水 六首/奥の細道 十四首/冬より春 八首/初夏の旅 十一首/庭にて歌ふ 五首/彦山 九首/出羽 六首/近江の秋 四首/九州 九首/天草島 四首/四国に行く 八首/耶馬溪 八首/再遊飛騨 三首/子をやる歌 七首/足利行道山 三首/日光山 七首/出羽の酒倉 五首/陸奥二首/山居賦 十五首/山陰閑門 七首/安土山寺 五首/巖嶋 五首/山の初夏 五首/佐渡 六首/山莊初秋 六首/家居一日 十二首/卷末言

小杉放庵 編『文哉詩鈔』

私家版 1933

口絵

門人放庵「文哉先生小伝」

五百城文哉遺稿「越後客中咏草」/「帰郷雑吟」/「常北雑詩十首」/「水陽雑詩」/「塵外杖間」/「多賀遊詩」/「晃山雑詩」
小杉放庵「附記」

※所蔵館：あきた文学資料館

※『晃嶺の百花譜 五百城文哉』1983/『明治洋画史料 懷想編』1985

小杉放庵『草画随筆 満鮮と支那』

交蘭社 1934.4

随筆

【満洲の巻】 満洲に行く/響水観/柳絮/首山回顧/遼陽見聞/橋頭/高麗古城/帝王像/鄭家屯夜話/草木/再び大和尚山/鉄牛銅鈴/満洲古譚/余録

【朝鮮の巻】 慶洲記録/古鐘/異次頓/南山/石窟庵/掛陵/樹下怪談/金庾信陵/余録/南山半日/金剛山抄日

【支那の巻】 钱塘江の船/吳越/竹林七賢/寒山拾得/列仙/瀟湘八景/余録

草画

【満洲の巻】 響水道観/響水観の石蝦蟇/高麗古城/高麗古城/文官花と稱するもの/大和尚山/観音窟より大連遠望/梨花の寺/満洲の馬/遼陽城内/釣魚台下

【朝鮮の巻】 鴨綠江/統軍亭下/九龍瀑/黄泉江/摩訶衍/黄泉江尼の寺/普徳窟/途上の月/慶河古都の乱家/韓宮/京城所見

【支那の巻】 桐廬/横江/富春/金華府/放牧/水門/楊州水郷/楊州城

※「満洲の巻」「支那の巻」のみ「満洲の旅」として再録：『世界紀行文学全集』第11巻 1959/『大正中国見聞録集成』第17巻 1999

小杉放庵『工房小閑』

竹村書房 1934.8

序

【口絵】 泰山木落後 山居

山住居の話（みそふみ いはな ギートン 狐穴 帰園田居 方丈記）/三句余の生活/牛久沼二日/狸の月/少林拳法/冬の山家/山かげの花/養生/支那劇・油絵・梅坊主/科学迷信/笛ふけば踊る/苑中雑事/洛外三題（坊主 尼 家）/剣俠小話（老僕 葛衣人 簪師 韋行規 十三の少女 六合達 鉄魚 峨眉僧 張訓妻）/心頭涼風/古郷春/女/夜山猿怪録/水郷の人々 ※初出：文芸春秋 1927.11/亡友録/水の情味/水二題（義弟 父）/ボブラ昔話/スポーツ衣食論/池田大隅物語 附 八幡十郎の事/春浪漁史/桂月と徐霞客/山獣水禽録（山の部 重に北下野の山村の話）/水の部 大利根殺生日記）/唐朝の話柄/飛行機/破門の弟子/遊歴画家の日記/刀/夢遊/山村怪談/書剣余談/山村話柄（炭焼 清さんの死）/政道質疑/読余（摩尼 鄭鑑録 凄じく寂しき二人）/桃花扇的一幕/工房有閑（家屋 子弟）/唐手伝/平野人森田恒友/安土山日記/山菜会記録/閑関/籠鳥記/山居

一日（午前 午後）
公田連太郎 訳文、小杉放庵 注解『全訳芥子園画伝』全 13 冊
アトリエ社 1935.2～1936.2
＊復刻版：アトリエ出版社 1972～1974
小杉放庵 編『森田恒友画集』
春鳥会 1935.6
放庵職「〔序文〕」
小杉放庵『旅窓読本』
学芸社 1936.8
九州南北（ひれふる山 伝説 呼子 月見船 七つ釜 名護屋城
趾 阿久根の鶴 桜島 吾平山陵 志布志 枇榔島 山宮 油津
耶馬溪秘境 柳水郷）/飯田高原記事/豊後路（天然寺 真玉
閑話 石仏と伝説 風連洞 内山観音、菅尾の石仏）/豊後路余
談（臼杵深田の石仏）/阿蘇嶋原（噴煙 箭取 田の中の温泉宿
地獄 雲仙岳 原古城 九十九嶋）/南九州（指宿温泉 長崎の鼻
池田湖 霧嶋山 青島 鶴戸の窟 高千穂）/南風楼説奇/遅日荘
雑記/九州漫録（由布院みち 長三州の絵 裏耶馬溪 ひむし
森）/四国山水録（白峰 香宗雑記 浦戸）/飛騨に入る（寄合
渡 野麥峠 荷馬車行）/越後（岩室一新潟 大佐渡北廻り）/雪
国の春（春日山 薬師）/蟹気楼を待つ（魚津 はたる鳥賊 布
勢の勝跡）/立山日抄/五湖通信（吉田の火祭 川口湖 西湖 蝙
蝠穴 青木が原 精進湖 烏帽子岳 本栖湖 裾野の千草 湖の
主 鳴澤村 樹型 浅間社 山中湖）/甲州短信/鬼の押し出し/
越中雑信（吹雪 なだれ 熊の肉 大伴知事 おはら節）/古賀志
山/日光山記（大蛇 鹿の来る家 嶺雲処士 おん婆さん 太郎
山 お花畑 鷲 瑠璃の卵）/川治の湯/石仏巡礼（大谷石仏 さ
ぬきの大日如来）/ひのえまたの人/日光物語/奥の細道を行く
（下野 黒塚 醫王寺 松島石の巻 平泉回想 尿前の山路 立
石寺 最上川 羽黒山 象潟回顧 越後路 越中路 金沢山中 吉
崎の入江 永平寺 岡本村 いろが浜）/羽後の国を行く（田澤
湖 横手の宿 味覚をそゝる山菜 閑寂の古戦場 男鹿半島の
勝景 寒風山頂の眺望）/秋田の炬燵（大曲の鮭あみ 菅江眞澄
少年鼓手）/十和田秋信/湖は十和田/旅の話六つ/船中雑談/旅
の思ひ出/内海巡島記（阿波 高松 小豆島 鯛網 伊吹島 葛島
鞆の津 仙酔島 木の江 くる島）
小杉放庵『唐詩及唐詩人』
書物展望社 1939.9
初唐諸家の一 十六首/初唐諸家の二 二十首/盛唐諸家の一
孟王二十三首/盛唐諸家の二 李白二十九首/盛唐諸家の三
杜甫二十六首/盛唐諸家の四 四十八首/中唐諸家の一 四十
四首/中唐諸家の二 五十三首/晩唐諸家の一 三十八首/晩唐
諸家の二 二十九首/卷末言放庵
＊青磁社（上・下巻）1947.1, 11/角川書店（角川文庫 635、上・
下巻）1953/『唐詩および唐詩人』創拓社（初唐・盛唐篇、
中唐・晩唐篇）1990.8
小杉放庵『象潟』
中村芳三郎〔発行〕1941.11
＊秋田普及版：秋田県観世流謡曲連盟 2001.6
小杉放庵『歌文集 山居』
中央公論社 1942.3
序文
【短歌】北海道を行く 十五首/雄鹿半島 三首/秋田の冬 八
首/自ら画冊に題す 四首/尾瀬の山水 十一首/山居賦 一 七
首/角館 六首/題画 十首/従軍記者回想の歌 十六首/川治の
湯 六首/人に寄す 十首/九州大演習放送 二首/雪の日 九首/
故郷冬ならむとす 五首/山小屋の数日 三首/秋田 四首/山陽
六首/瀬戸の海 八首/雑興 九首/山居賦 二 六首/満洲十四首
/山形 五首/いくさ 十首/妻に代りて妻の父を悼む歌 六首/
惜春賦 五首/児をなげく 二十五首/湯西谷 三首/芋銭老 五
首/子を送る 六首/南鮮大旱 六首/孫 六首/山村余情 八首/
かへる人 八首/江南 十五首/てにす 二首/故郷草多し 十九
首/妙高山讃歌 九首/山居賦 三 十四首/酒の歌 七首/古事紀
読む 十二首/柏尾訪古 六首/信州 六首/山居賦 四十首/いは
きいはしろ 十六首/家居日日 二十一首/雲の歌 七首

【随筆】山中人語/頸城の山/雑談/岩国博多柳川/浮島動く/湯
西谷/芋銭伝/山居の鳥/山童/白羊寺海印寺/揚州
【挿画】下野二荒山/北海道弟子屈/瀬戸海の一部/朝鮮伽耶山
/江南蘇州虎丘
小杉放庵『現代叢書 36 池大雅』
三笠書房 1942.12
評伝第一 青年周平及柳里恭/評伝第二 新家庭/評伝第三 大
雅堂の旅行及祇南海/評伝第四 大雅堂の交友/評伝第五 晩
年の大雅堂/評伝題六 玉蘭女及門人
大雅堂襟記（一 諸家の見たる大雅堂/二 秋成の見たる大雅/
三 雅号/四 十便図賞嘆）
附録 新南画旧南画/過去の東洋/線/水墨/硯と墨との話/紙/
再び硯と墨/清朝画人の話柄（石濤和尚の画冊 石濤和尚の樹
怪 惲南田の地藏菩薩 呉歴の切支丹）/画題二則（虎溪三笑
陶淵明）/芸術皇帝
卷末言
跋
小杉放庵『随筆 帰去来』
洗心書林 1948.4
阿武隈川/旅のなさけ/团扇の鬼/上州二日/東京と山居/茶事/
利休居士/草の味/五月の春/爐/開荒/帰去来/赤壁の賦を読み
つつ/良寛和尚/民謡発掘/八尾風の盆/裾野の子供ら/美術日
本/兼山の縄/不同舎の人々/鎌/へそかぼちゃ/読余/手習ひ/
草角力と老妓/亡友帖/卷末言
【挿画】裾野の子供ら/獅子舞/千利休/陶淵明/鎌
小杉放庵『歌文集 石』
美術出版社 1953.12
【歌】山莊 十九首/田端家居 十二首/旅 七首/不眠 六首/絵
に題す 六首/山莊春近し 四首/鶯の宮の神樂見る 五首/山莊
六首/出羽を行く 十三首/北平行 七首/山莊 七首/帰郷 五首
/稲刈るまで 十三首/戸隠山行 六首/秋田行 八首/疎開の孫
六首/空襲 二十六首/越中行 四首/山莊 六首/二十年八月十
五日 六首/焼けあとの東京 十二首/かへらぬ子の母に代る
五首/山莊 四首/佐渡行 五首/曾遊 十八首/酒の歌 十五首/
大宰帥大伴旅人卿酒を讀ふる歌に和す 十三首/天子さまの
歌 五首/山莊 十五首/旅あちこち 十七首/山莊 二十首/嘆老
五首/旅 六首/山莊 五首
【随筆】松の山/釣雪/婦人装/墨と筆 /遊女も寝たり/山姥の
居た村/えびす/湖神山神 附なまはげ/唐の話二つ/八年目/山
居以後/戦争/病に処する/安土の老僧/酒徒/幸吉のグライダー
/河童まつり
小杉放庵『爐』
中央公論社 1956.3
※『放庵歌集』と『山居』から抄出した随筆を纏めたもの
【随筆】満洲古譚/帝王像/創世紀の一節/山中の一軒屋/父/山
村怪談/老樵志異/山村話柄/破門の弟子/遊歴画家の日記/池
田大隅物語 附 八幡十郎の事/蕉窓夜話/剣俠小話/牛久沼二
日/鳥屋場の数日/宇都宮回想/白羊伝/顔/髯/石/南画文人画/
南画展/定規/切断面/そば談義/びんづる尊者兎つゝみ/嫁と
り/永福居士へ返事/おばこの国/上高地美ヶ原/四国処々/四
国から近江路へ/巢鴨の戦犯/春陽チーム/まんざらこの話/ば
けもの/和尚さま一貫
【旧集抄（短歌）】旅の歌 九首/薦温泉 二首/高山 六首/故郷
清秋 五首/故郷長夏 五首/野尻湖 二首/江南 二首/房総 三
首/老母京城にみまかる 五首/九州処々 八首/奈良 二首/立
山 三首/甲州 二首/奥の細道 五首/越中 七首/家居 二首/彦
山 五首/出羽 三首/近江の秋 四首/九州 七首/四国 四首/西
遊飛騨 二首/子をやる 四首/日光山 六首/出羽 三首/山居
四首/筑紫 三首/安土寺 四首/巖嶋 五首/山の初夏 四首/佐
渡 五首/山莊初秋 二首/家居 二首/北海道を行く 十五首/秋
田の冬 七首/自ら画冊に題す 四首/尾瀬の山水 十首/山居賦
四首/角館 五首/題画 六首/川治の湯 六首/人に寄す 六首/
雲の日（二月兵変）八首/故郷冬ならむとす 五首/山小屋 三
首/山陽 五首/瀬戸の海 七首/雑興 四首/山居賦 四首/満洲

十一首/山形 四首/いくさ 三首/妻に代りて妻の父を悼む歌
四首/惜春賦 三首/児をなげく 二十五首/湯西谷 二首/芋銭
老 五首/子を送る 四首/南鮮大旱 六首/孫 五首/山村余情
六首/かへる人 四首/江南 十四首/てにす 二首/故郷草多し
十八首/妙高山讃歌 九首/山居賦 十一首/酒の歌 四首/古事
記読む 十二首/粕尾訪古 六首/信州 四首/山居賦 六首/いは
きいはしろ 十二首/家居日日 八首/雲の歌 七首
〔図版〕アルハンブラの丘（原色版）/浦島子の顔/太湖石/お
ぼこ踊り

小杉放庵『故郷』

龍生閣 1957.3 ※100 部限定特装版 1957.4

〔絵〕くろかみ山/馬屋の三猿/深沙大王/ところの野村獅子舞
/おどれ子どもら/尾瀬原/昔の川治の湯/けんちん煮る/鳥屋
場/ふたあら社みこ/粕尾村/大谷石切山/七里村より黒髪山/
山伏/けごんのたき/絹沼女仙/瀧の尾社/神変大菩薩/老杉/石
楠花/天狗/五重塔/五郎平/外山/蚊供養/石おおき里/なきむ
し山/芭蕉師弟/仏五左衛門/湯西谷

〔歌〕日光山讃歌/故郷清秋/故郷長夏/山行/尾瀬の山水/川治
の湯/故郷冬ならむとす/鳥屋場の数日/妻に代りて妻の父を
悼む歌/湯西谷/故郷草多し/粕尾訪古/帰郷/思郷旧詩/同学

〔随筆〕日光山中記/日光雑記/瀧の尾/庚申山/塔の話/山水奉仕
客奉仕/小倉山/萩垣面/嶺雲処士 ※田岡嶺雲について/仏五
左衛門/湯西谷

小杉放庵・田中一松・山中蘭径 編『池大雅画譜』全 5 輯

中央公論美術出版 1957～1959

※縮刷版：『池大雅作品集 作品篇・解説篇』2 分冊 中央公論
美術出版 1960.3

小杉放庵 著、小杉一雄 編『古人曰く』

大門出版 1978.3

〔古人曰く〕

〔序文〕古人曰く

慈悲/恕/嫉妬/小人/勝他/譲/寛/交際/憂怒/貧富/授受/明知/
説/老/勝負/過/断/同異/処世/独修/天/今日/向上

〔遺稿「曹操」〕

象の目方/跡目争い/楊修を斬る/曹操の死

〔後記〕

小杉一雄 編「年譜」/小杉一雄「あとがき」

小杉放庵 著、小杉一雄 編『放庵画談』

中央公論美術出版 1980.7

壁画/秋の美術期の前に/院展回顧/古支那人の言葉/豎長の絵
横長の絵/和漢比較漫録/白隠和尚の絵事/過去の東洋/新南画
旧南画/王摩詰の話柄/水墨/新旧/芸術的日本の位置/遠方より
見ていたる黒田氏の事業/清朝画人の話柄/東洋的日本的/
線/硯と墨との話/実用芸術/宋元の古画展/唐宋元明展/画師
閻立本/画題二則/洋画家の東洋回顧/明治大正名作展懷古/芸
術皇帝/顧愷之/紙/再び硯と墨/展覧会芸術/春陽展雑感/淡彩
派/挿絵/再び春陽展雑感/白羊伝/芋銭伝/兼山の縄/不同舎の
人々/帝王像/美術日本/手習い/顔/石/定規/切断面/南画文人
画/南画展/墨と筆/萩垣面

小杉一雄『『放庵画談』について』

小杉放庵『書簡集 小杉放庵』

石川正次〔編集発行〕2009.10

※湯沢三千男宛書簡集

2 単行図書 | 一部に小杉の著述・書簡を収めるもの

鹿島桜巷 編『名家模範新体詩集』

大学館 1906.2

小杉未醒「〔詩〕召集令」pp.75-78/小杉未醒「〔詩〕水魔」pp.266-
296

小川芋銭『草汁漫画』

日高有倫堂 1908.6

小杉未醒「ばつ」

押川清 編『春浪快著集』第 4 巻

大倉書店 1918.3

小杉未醒「快著集に序す」

山崎省三 編『槐多の歌へる』

アルス 1920.6

小杉未醒「槐多君を憶ふ」

東洋協会 編『東洋近代美術之研究』

東洋協会編輯部 1923.1

未醒庵「和漢比較漫録」

※1922 年 10 月発行の雑誌『東洋』特別号が改めて単行図書
として出版されたもの

※書画骨董雑誌 184 号 1923.10/『画人行旅』/『放庵画談』

木村莊八 編『春陽会パンフレット』

アルス 1924.3

小杉未醒「招待日の前日まで」pp.1-5

※アトリエ 9 巻 6 号 1932.6

北原鉄雄 編『アルス大美術講座』第 1 巻

アルス 1925.5

小杉未醒「東洋画科 東洋画総論」

北原鉄雄 編『アルス大美術講座』第 5 巻

アルス 1925.9

小杉未醒「東洋画科 南画法」

『新井謹也作陶展』案内状

鳩居堂 1925.10

小杉未醒「〔『争鮮陶画房の主人は…』〕

※三重県立美術館所蔵の新井謹也旧蔵スクラップブックに
よる

※『忘れられた画家シリーズ② 争鮮陶人 新井謹也展』

星野画廊 1988.10

北原鉄雄 編『アルス大美術講座』第 6 巻

アルス 1925.11

小杉未醒「東洋画科 南画法」

赤松静太 編『一日一文』

朝日新聞社 1926.1

放庵未醒「夜山猿怪録」

北原鉄雄 編『アルス大美術講座』第 9 巻

アルス 1926.2

小杉未醒「展覧会鑑査の経験」

北原義雄 編『デッサンの研究』

アトリエ社 1927.3

小杉未醒「線」pp.17-21

※国会図書館蔵本奥付は手書きで 4 月発行に訂正されてい
る。

伊東月草 編、小川芋銭・森田恒友 監修『俳画講座』第 1 巻

俳画講座刊行会 1927.11

小杉未醒「帰漁の図」

図版：小杉未醒《帰漁の図》

佐原勇吉 編『栃木の輝』

在京栃木県学生協会 1928.1

「訪問篇 小杉未醒」

瑞穂会 編『噫 瓊音沼波武夫先生』

瑞穂会 1928.2

小杉未醒「俳人瓊音子」

『春陽堂月報』24 号（『明治大正文学全集 23 田山花袋』月報）

春陽堂 1929.5

小杉放庵「花袋翁今昔」

※青山穀 編『昭和期文学・思想文献資料集成 第 3 輯 春陽
堂月報』五月書房, 1989.12

※『小杉放庵と近代文学 独歩・花袋との親交』1999

評論・随筆家協会 編『山水大観』

新潮社 1929.6

小杉放庵「ひむし」

長谷川昇『長谷川昇滞欧作品集』

アトリエ社 1929.6

小杉放庵「一感想」 pp.5-6
*「長谷川君の仏蘭西みやげ」アトリエ 6巻8号 1929.8
『栗田雄渡欧後援会』リーフレット
栗田雄渡欧後援会 1929 頃
小杉未醒「栗田雄君渡欧後援会趣意」
坂崎坦『日本画論大観』内容見本
アルス 1929 頃
小杉放庵「坂崎氏の『日本画論大観』」
北原義雄 編『日本画の研究』
アトリエ社 1930.1
小杉未醒「硯と墨」/「水墨」/「紙」/「南画の話」
*廉価版：1931.9
北原義雄 編『日本写生紀行』
アトリエ社 1930.3
小杉未醒「石仏巡礼」
北原義雄 編『画生活随筆』
アトリエ社 1930.7
小杉未醒「遊歴画家の日記」/「苑中雑事」
中川一政『美術の眺め』
アトリエ社 1930
中川一政・小杉放庵「〔連歌〕棕櫚の雨」
※初出：文芸春秋 1927.12
評論・随筆家協会 編『支那文化を中心に』
大阪屋号書店 1931.9
小杉未醒「剣俠小話」
北原義雄 編『油絵新技法講座 第三巻 人物画技法』
アトリエ社 1931.9
小杉未醒「壁画の話」 p.119-126
*『アトリエ美術大講座 油絵科 第三巻 人物画実習』1934
『彦山の伝説』
英彦山神社々務所 1931 頃
小杉放庵「〔短歌〕えひこ山筑紫国原見すとわが立ち待とど
雲晴なくに」
北原義雄 編『素描新技法講座 第1巻 素描総論』
アトリエ社 1932.4
小杉未醒「東洋素描論」
『小杉未醒画伯著『奥の細道画冊』内容見本』
春陽堂 1932
放庵「作者言」
杉田雨人『長久保赤水』
私家版 刊行年記載なし
放庵「兩人老の仕事」
※序文日付は 1934 年
猪木卓二 編『新南画講座』第1巻
資文堂出版部 1934.3
小杉放庵「人物の描き方 人物画」
猪木卓二 編『新南画講座』第2巻
資文堂出版部 1934.5
小杉未醒「人物の描き方 人物画」
猪木卓二 編『新南画講座』第3巻
資文堂出版部 1934.6
小杉放庵「課外講話 画賛」
北原義雄 編『アトリエ美術大講座 デッサン科 第一巻 基礎学』
アトリエ社 1934.7
小杉未醒「東洋素描論」
図版：小杉未醒《騎馬》
『総合美術研究』11・12
総合美術研究所 1934.7
小杉未醒「実習（水墨画）」
猪木卓二 編『新南画講座』第4巻
資文堂出版部 1934.9
小杉放庵「山水の描き方 山水画作法」
北原義雄 編『アトリエ美術大講座 油絵科 第三巻 人物画実習』
アトリエ社 1934.9

小杉未醒「壁画の話」
*1936.9 版/1937.2 版
北原義雄 編『日本画実習帖 第十巻 山水（下）』
アトリエ社 1934.11
小杉放庵「石」
空手研究社 編『空手研究』第1輯
興武館 1934.12
小杉放庵「唐手伝」 pp.23-26
*『沖縄学研究資料5 空手研究 第1輯』榕樹書林 2003.9
福岡益雄 編『現代随筆全集』第9巻
金星堂 1935.8
小杉放庵「山住居の話（みそふみ いはな ギートン 狐穴
帰園田居 方丈記）」 *『工房有閑』/『工房小閑』
小杉放庵「笛ふけば踊る」 *『工房有閑』/『工房小閑』
小杉放庵「苑中雑事」
*『工房有閑』/『工房小閑』/『画生活随筆』
小杉放庵「安土山日記」 *『工房小閑』
小杉放庵「山獣水禽録」 *『工房小閑』
金井紫雲 編『芸術資料 第一期植物編』内容見本
芸艸堂 1936 頃
小杉放庵「推薦文」
石井柏亭 監修『現代日本画大鑑』
昭森社 1936.3
小杉未醒「小川芋銭 人と作品」
山内英夫 編『郡彦虎全集』別冊
創元社 1936.6
小杉未醒「亡友録より」 pp.105-106
村松梢風『続本朝画人伝』
資文堂書店 1936.7
小杉放庵・堂本印象・橋本閑雪・平福百穂・小川芋銭・結城素
明・中川一政・津田青楓 画、村松梢風 著「唐詩選絵巻」
※初出：サンデー毎日 1931.9.6
廣瀬操吉 編『画房随想』
信正社 1936.8
小杉放庵「大雅と玉蘭」
『木心舎第一回展覧会図録』
吉田白嶺〔編集発行〕1936.10
小杉放庵「木心舎勧進」
北原義雄 編『現代洋画大全集』第12巻
アトリエ社 1936.10
小杉放庵「娘」
図版：小杉放庵《娘》
田山花袋『花袋全集』第13巻
花袋全集刊行会 1937.3
小杉放庵「花袋翁を思ふ」
*文泉堂書店 1974.3
杉田雨人『木村謙次』
杉田恭助〔発行〕1937.4
小杉放庵「儒商兩人老をねぎらふ」
小柴錦侍 編『満谷翁画譜』
写山荘 1937.4
小杉放庵「巴里の方向転換」/小杉放庵 ほか「満谷国四郎氏
追悼座談会」
『山崎省三作品展 油絵近作』
青樹社 1938.3
小杉放庵「旅中から」
横川毅一郎 編『洗硯』第一期第一輯
洗硯社 1939.4
小杉放庵「〔短歌二首〕山居」/「〔短歌二首〕芋銭翁を憶ふ」
（ともに「朴の木集」のうち） pp.84-85
森田恒友『画生活より』
古今書院 1939.7
小杉放庵「平野人森田恒友」
横川毅一郎 編『洗硯』第一期第二輯

- 洗硯社 1939.8
小杉放庵 「〔短歌四首〕 子を送る」 (「ふみつき集」のうち)
pp.62-63
- 三輪鄰 編『画室の言葉』
岡倉書房 1939.8
小杉放庵 談「支那断片」
初出：塔影 1937.11
- 鈴木里一郎 編『青木繁遺作展覧会図録 附 尺牘と和歌』
青樹社 1939.11
小杉未醒 ほか「諸家批評感想抄」
※初出：中央公論
- 横川毅一郎 編『洗硯』第一期第四輯
洗硯社 1940.4
小杉放庵 「〔短歌三首〕 孫」 (「卯月集」より) pp.86-87
- 木村毅 編『支那紀行』
第一書房 1940.5
小杉放庵 「南京」 pp.248-254
- 石井鶴三・中川一政・上野春香・木村莊八・小杉放庵『春陽会隨筆五人』第一書房 1940.6
小杉放庵 「鳥屋場の数日」 / 「おだしろの原」 / 「陶枕山水」 / 「宇都宮回想」 / 「面子」 / 「白羊伝」 / 「北京回想」 / 「大山元帥のことども」
- 湯澤三千男『支那に在りて思ふ』
創元社 1940.8
口絵：小杉放庵《口絵》
小杉放庵「湯澤氏の著書に寄せて」
- 大亦観風『第四回観風個展 万葉集画撰展覧会画集』
日本橋・白木屋〔会場〕 1940.11
小杉放庵「万葉人大亦氏」
- 『新井謹也近作陶展』案内状
三越 1940.11
小杉放庵「孚鮮もの」
※三重県立美術館所蔵の新井謹也旧蔵スクラップブックによる
- 川崎隆章『尾瀬と南会津の山』
三省堂 1941.7
小杉放庵 ほか「〔短歌〕 尾瀬吟詠集」
- 渡辺大虚 画、水野新幸 編『大虚画芸』
古今堂 1942.5
小杉放庵「〔短歌四首〕 旧什を録して水墨の友大虚君に寄す」
- 木村莊八 編『春陽会画集 紀元二六〇二年版』
新潮社 1942.5
小杉放庵「是から」
- 斎藤琢磨 編『伊野部恒吉を語る』
高知県・斎藤琢磨〔編集発行〕 1942.12
口絵：小杉放庵《〔短歌〕 すてにして 桂のはまの あかときのかたむく月と なりにけむきみ》 / 《色紙》※亡き伊野部をおもい描いた作品 / 《老荘像》
※伊野部旧蔵または没後に捧げられた放庵筆の作品（短冊、色紙、屏風）3 点の図版が口絵に掲載。
- 『小林徳三郎画伯油絵優作鑑賞会』
兜屋画廊 1943.6
小杉放庵「当面眼前」
- 白井喜之介 編『随筆大和』
一條書房 1943.7
小杉放庵「〔短歌〕 大和路」
- 栗本昭 編『わが若き日』
東京講演会出版部 1943.8
小杉放庵「十三から二十三まで」
※初出：新若人 1941.10
- 『木心選集』
出版社・刊行年記載なし〔1943 頃〕
小杉放庵「木心老友」
※吉田白嶺遺作集
- 原精一『原精一陣中作品集』
有光社 1944.1
小杉放庵「戦塵満身」 p.6
- 押川春浪『新造軍艦』
石書房 1944.5
小杉放庵「春浪漁史」
- 鈴木榮之亮 編『みの虫 芭蕉翁遺墨集』
観魚荘 1945.5
小杉放庵「俳聖思慕」
*増補版：1954.4
- 尾崎昇 編『国華百粹』第 1 輯
毎日新聞社 1947.6
小杉放庵「高山寺 戯画卷」 pp.19-20
- 現代日本詩歌集刊行会 編『現代日本歌集』
南風書房 1947.12
小杉放庵「〔短歌〕 酒の歌」
- 『故内海加壽子遺作展』出品目録
資生堂ギャラリー〔会場〕 1952.9
小杉放庵「〔追悼文〕」
※原本未確認。『資生堂ギャラリー七十五年史』pp.312-313 による。
- 田辺泰・猪野勇一 編『佐藤功一博士』
彰国社 1953.6
小杉放庵「完三博士」 p.91
- 『現代名作名画全集』2 号 (『現代名作名画全集 第 1 石井鶴三集』
月報) 六興出版社 1954.4
放庵「石井さんの挿絵」 (木村莊八「鶴三挿絵」内で紹介)
- 川崎隆章・近藤等 編『山岳講座』第 2 卷
白水社 1954.6
小杉放庵「〔短歌〕 雄阿寒の岳」
- 岸浪百草居『百草居の歌』
岸浪豊子〔発行〕 1955
放庵「後記」
- 小田切秀雄・蔵原惟人・竹内好・平野謙・野間宏 責任編集
『日本プロレタリア文学大系 序巻 日本プロレタリア文学の母胎と生誕』三一書房 1955.3
小杉未醒『陣中詩篇』より (姿絵 p.369/帰れ弟 pp.369~370/ 髑髏塔の筆者 pp.370~373/月と病兵 p.373)
- 名香山村史編纂委員会 編『名香山村史』
妙高々原町役場 1956.12
小杉放庵「〔短歌〕 妙高讃歌」
図版：《妙高山》
- 『角館の詩情』
角館図書館〔編集発行〕 1957.11
小杉放庵「〔短歌〕 角館」
- 會津八一全集編輯委員会 編『會津八一全集』内容見本
中央公論社 1958
小杉放庵「三面の到達」
- 志賀直哉・佐藤春夫・川端康成 監修『現代紀行文学全集 第七卷 山岳篇 (下)』修道社 1958.8
小杉放庵「彦山」 (『彦山』より) pp.381-391
- 志賀直哉・佐藤春夫・川端康成 監修『現代紀行文学全集 第五卷 南日本篇』修道社 1958.9
小杉放庵「四国から近江路へ」
- 『會津八一全集』第 4 卷月報第 1 号
中央公論社 1958.10
小杉放庵「秋艸道人のうた」
- 『木村莊八遺作展』
春陽会・毎日新聞社〔主催〕 日本橋白木屋〔会場〕
1959.2.17~22〔会期〕
放庵「木村さん」
- 湯沢三千男『出入無事』
俳句研究社 1959.4
小杉放庵「跋 湯沢氏を記す」

志賀直哉・佐藤春夫・川端康成 監修『世界紀行文学全集 第五卷 イタリア編』修道社 1959.4
小杉放庵「イタリアの旅」(『画筆の跡』より) pp.107-109
志賀直哉・佐藤春夫・川端康成 監修『世界紀行文学全集 第十一巻 中国編 I』修道社 1959.5
小杉放庵「満支の旅」(『草画随筆 満鮮と支那』『満州の巻』『支那の巻』より)
※初出：大阪毎日新聞 1924
志賀直哉・佐藤春夫・川端康成 監修『世界紀行文学全集 第三巻 イギリス編』修道社 1959.7
小杉放庵「倫敦通信」(『画筆の跡』より) pp.162-163
志賀直哉・佐藤春夫・川端康成 監修『世界紀行文学全集 第七巻 ドイツ編』修道社 1959.8
小杉放庵「独逸よりの断簡」(『画筆の跡』より) pp.144-146
藤本韶三 編『横山大観』
三彩社 1959.9
放庵「大観回想」 pp.48-50
志賀直哉・佐藤春夫・川端康成 監修『世界紀行文学全集 第一巻 フランス編 I』修道社 1959.9
小杉放庵「巴里にて」(『画筆の跡』より) pp.153-159/小杉放庵「フランスの田舎」(『画筆の跡』より) pp.159-167
藤原定 編『日本の風土記 北陸路』
宝文館 1959.10
小杉放庵「妙高山下」 pp.5-14
※『歌文集 山居』の「山中人語」「頸城の山」と、『歌文集 石』の「河童まつり」をひとつの随筆としてまとめたもの。
柏亭全集刊行会 編『石井柏亭の人と芸術 追憶三十人集』
平凡社 1959.11
小杉放庵「[方寸]」の頃」
志賀直哉・佐藤春夫・川端康成 監修『世界紀行文学全集 第四巻 イギリス・スペイン・ポルトガル編』修道社 1959.11
小杉放庵「スペインの旅」(『画筆の跡』より) pp.202-209
志賀直哉・佐藤春夫・川端康成 監修『世界紀行文学全集 第八巻 ドイツ・オーストリア・オランダ・ベルギー編』修道社 1960
小杉放庵「ブリュッセルにて」
志賀直哉・佐藤春夫・川端康成 監修『世界紀行文学全集 第十巻 ロシア・ソヴェト編』修道社 1960
小杉放庵「ロシアにて」
志賀直哉・佐藤春夫・川端康成 監修『世界紀行文学全集 第十三巻 樺太・朝鮮・台湾・南洋編』修道社 1960
小杉放庵「朝鮮」
小川未明 編『少年少女文学風土記⑧ ふるさとを訪ねて 新潟』
泰光堂 1960.4
小杉放庵「松の山——東頸城郡」(『石』より)
成田潔英 編『紙漉平三郎手記』
財団法人製紙博物館 1960.5
小杉放庵「岩野翁の麻紙」 pp.225-228
長尾宏也 編者代表『日本山岳風土記 5 東北・北越の山々』
宝文館 1960.7
小杉放庵「湯西谷」(『山居』より) pp.115-118
長尾宏也 編者代表『日本山岳風土記 8 中国・四国・九州の山々』
宝文館 1960.10
小杉放庵「眺望第一山」(『景勝の九州』より) pp.35-40/小杉放庵「阿蘇外輪」(『景勝の九州』より) pp.79-87
高島屋美術部五十年史編纂委員会 編『高島屋美術部五十年史』
高島屋本社 1960.10
小杉放庵「浜寺別荘」
深瀬基寛『随筆集 乳のみ人形』
筑摩書房 1960.12
口絵：小杉放庵《〔短歌〕孫歌二首》
志賀直哉 監修『世界紀行文学全集 第十九巻 海洋編』
修道社 1961
小杉放庵「海洋紀行」
横川毅一郎 編『風雅』第一集

求龍堂 1961.6
小杉放庵「赤倉山荘の雲のうた」
西宮一民 編著『新年御歌會始歌集』
住吉大社社務所 1963.1
小杉国太郎「〔短歌〕朝の日もよろこびて照る白樺の林の梢若芽だちたり」 p.398
中島健蔵 編『近代文学鑑賞講座 第7巻 国木田独歩』
角川書店 1963.3
小杉放庵「独歩回顧」
藤井英治 編『みちのく豆本 第20冊 骨の木 縮冊版』
みちのく豆本の会(山形県) 1963.5
小杉放庵「〔連句〕青麦」 pp.28-31
※1922年に沼波瓊音と詠んだ連句の再録。再録にあたり小杉による当時の思い出話も付されている。
山岡憲一 編『湯沢三千男さんの思い出』
東京重機工業株式会社内刊行会 1963.8
小杉放庵「湯沢風塵楼」
山崎斌 編著『自然の手帖——四季の草木虫魚』現代教養文庫 447
社会思想社 1963.12
小杉放庵「〔短歌〕信州路」/「山幸」
名古屋経一 編『名護屋城詞華集』
名護屋城址保存会 1963.12
小杉放庵「名護屋城趾」/「〔俳句〕鳶の背に入日さすなり秋の海」/「〔俳句〕城あとや老岐も対馬も秋の海」
男鹿史談会 編『男鹿文苑』
男鹿市制十周年記念企画委員会 1964.7
小杉放庵「民俗探訪 なまはげ」/小杉放庵「短歌 雄鹿半島」(『山居』より)
小田切進 編『明治文学全集 83 明治社会主義文学集 (一)』
筑摩書房 1965
小杉未醒『陣中詩篇』1904
辻寛一『辻寛一自選集』
辻寛一事務所 1965
昭和26年8月18日付辻寛一宛小杉放庵書簡 pp.143-144,639
西川友武『美術及工芸技術の保存』
工芸学会 1966.10
昭和18年8月1日付日本美術及工芸統制協会宛小杉放庵書簡
『越中おわら』
富山県民謡おわら保存会 1968
小杉放庵「風の盆」/「八尾四季」/「八尾八景」
※新装版：2000
秋山清・伊藤信吉・岡本潤 編『日本反戦詩集』
太平出版社 1969.6
小杉未醒「髑髏塔の筆者(抄)」(『陣中詩篇』より) pp.24-26/
小杉未醒「月と病兵」(『陣中詩篇』より) pp.27-28
上田市立山本鼎記念館 編『山本鼎の手紙』
上田市教育委員会 1971.10
昭和14年付山本鼎宛小杉放庵書簡/昭和20年12月24日付山本鼎宛小杉放庵書簡/昭和21年3月1日付山本鼎宛小杉放庵書簡/昭和21年8月28日付山本鼎宛小杉放庵書簡
志賀直哉・佐藤春夫・川端康成・小林秀雄・井上靖 監修『現代日本紀行文学全集 南日本編』ほるぷ出版 1976.8
小杉放庵「四国から近江路へ」 pp.21-26
※初出：旅 1954.3
志賀直哉・佐藤春夫・川端康成・小林秀雄・井上靖 監修『現代日本紀行文学全集 山岳編 (下)』ほるぷ出版 1976.8
小杉放庵「彦山」(『彦山』より) pp.381-391
国木田独歩全集編纂委員会 編『増訂版 定本国木田独歩全集』
第10巻 学習研究社 1978.3
小杉未醒「近時画報社時代の独歩氏」※初出：新潮 1908.7
小杉未醒「独歩氏の一面」※初出：新潮 1908.7
小杉未醒・吉江孤雁「独歩社時代」※初出：趣味 1908.8
生方たつる『邂逅の人』

光風社書店 1978.6
中口絵：小杉放庵「生方たつゑ宛書簡」
『生誕 90 年記念 木村莊八展』
東京新聞 1982.8
いなかもの放庵「いなかものは学んで江戸の趣味を知る…」
『晃嶺の百花譜 五百城文哉』
水戸市立博物館 1983.10
小杉放庵 編『文哉詩鈔』1933
會津八一『會津八一全集』第 12 卷
中央公論社 1984.5
小杉放庵・會津八一「対談 新潟の近況」pp.370-373
※初出：週刊文化 1953.8.20
岩波書店編集部 編『木下杢太郎宛知友書簡集』下巻
岩波書店 1984.8
大正 15 年 2 月 3 日付木下杢太郎宛小杉未醒書簡／「昭和 2 年
10 月 19 日付木下杢太郎宛小杉放庵書簡」
篠田桃紅 編『日本の名随筆 27 墨』
作品社 1985.1
小杉放庵「水墨」
※初出：アトリエ 1924.2
青木茂 編『明治洋画史料 懷想編』
中央公論美術出版 1985
小杉放庵「文哉先生小伝」（『文哉詩鈔』より）
小笠原孤酒『十和田国立公園の実現に奔走した人々——その周辺
に足跡を追う』我楽多文庫 1986.6
薦温泉宛小杉未醒葉書
石井鶴三『石井鶴三全集』第 6 卷
形象社 1987.3
小杉放庵「石井鶴三の写真に書いた詩 1937 年 2 月付」／昭和
12 年 7 月 15 日付宮坂一彦宛小杉放庵書簡
木村由美子『芋銭の風景』
常陸書房 1987.5
「芋銭への一銭五厘のハガキ」のうち、②小杉未醒（明治 39
年 8 月 18 日付、明治 39 年 12 月 22 日付）、⑩小松国太郎（明
治 40 年 10 月 13 日付）※放庵の本名である小杉国太郎の誤り
『日本随筆紀行 第五卷 風吹き騒ぐ平原で』
作品社 1987.10
小杉放庵「日光雑記」（『故郷』より）pp.87-90
中川一政『中川一政全文集』第 1 卷
中央公論社 1988.1
中川一政・小杉未醒「〔連句〕棕櫚の雨」
※初出：文芸春秋 1927.12
館澤冊子 編『小川芋銭 回想と研究』
古美術妙童湯島店 1988.3
小杉放庵「芋銭老を憶ふ」
※初出：東京日日新聞 1938.12.21 夕刊
九重町・九重の自然を守る会 編『美しい山と高原の九重』
九重町役場 1988.6
小杉放庵「〔推薦文〕」
※高田力蔵作品集
吉田精一 監修、滝藤満義 解説『近代作家研究叢書 103 国木田独
歩』日本図書センター 1990.3
小杉未醒「近時画報社時代の独歩氏」／小杉未醒「独歩氏の
一面」
※ともに初出：新潮 1908.7
中島理壽 編『昭和・物故の美術家たち』
大日本絵画 1990.9
小杉未醒「逝ける萬鉄五郎氏——忽然たる死」
※初出：みづゑ 268 号 1927.6
青木茂 編『明治日本画史料』
中央公論美術出版 1991.5
小杉未醒 談「洋画家の日本画観 国民性の發揮」
※初出：美術新報 10 卷 11 号（204 号）1911.9

白井史朗『昭和の茶道—忘れ得ぬ人—』
淡交社 1993.2
内本浩亮宛小杉放庵書簡 pp.44-45
『定本 吉田一穂全集』別巻
小澤書店 1993.4
小杉放庵・佐藤一英・穴戸儀一・佐佐木千之・藤田健次「小杉
放庵閑談会」
※初出：芸園 1940.7
『平福百穂をめぐる書簡と葉書 共鳴するところ』
平福一郎・平福周蔵・久子〔編集発行〕1995.10
大正 6 年 4 月 23 日付（推定）平福百穂宛小杉未醒葉書／昭和
3 年元旦付平福百穂宛小杉放庵年賀状
館林市教育委員会文化振興課 編『田山花袋記念館研究叢書 第
五巻 田山花袋宛書簡集——花袋周辺百人の書簡』館林市
1996.3
田山花袋宛小杉未醒書簡
伊狩章 監修『新潟県文学全集 第Ⅱ期第 7 卷 随筆・紀行・詩歌編
短歌・川柳編』郷土出版社 1996.10
小杉放庵「短歌」（『石』より）
芥川龍之介『芥川龍之介全集』第 16 卷
岩波書店 1997.2
小杉未醒・馬場孤蝶・泉鏡花・久保田万太郎・白井喬二・長谷川
伸・平山蘆江・長田秀雄・畑耕一・斎藤龍太郎・沢田撫松・芥川
龍之介・菊池寛「怪談会」
※初出：新小説（第 2 期）1924.4～5
串田孫一・今井通子・今福龍太 編『日本の名山 20 阿蘇山』
博品社 1998.1
小杉放庵「阿蘇外輪」（『景勝の九州』より）pp.90-101
作品社編集部 編『新編日本随筆紀行 心にふるさとがある 5
列島に咲く花』作品社 1998.4
小杉放庵「日光雑記」（『故郷』より）pp.146-152
小島晋治 監修『大正中国見聞録集成』第 17 卷
ゆまに書房 1999.10
小杉放庵『草画随筆 満鮮と支那』1934
『土佐の反骨 田岡嶺雲』
高知県立文学館 2000.10
田岡嶺雲宛小杉未醒書簡
『史料繪絹から畫紙へ——岩野家所蔵近代日本畫家・學者等への
書簡集』岩野家所蔵書簡集刊行会 2001.3
小杉からの書簡を多数収録
足立朗 編『画家足立源一郎の記録』
三好企画 2002.4
昭和 12 年 2 月付足立源一郎宛小杉放庵葉書
東雅夫 編『伝奇ノ匣 3 芥川龍之介妖怪文学館』
学習研究社（学研M文庫）2002.7
小杉未醒・馬場孤蝶・泉鏡花・久保田万太郎・白井喬二・長谷川
伸・平山蘆江・長田秀雄・畑耕一・斎藤龍太郎・沢田撫松・芥川
龍之介・菊池寛「怪談会」
※初出：新小説（第 2 期）1924.4～5
小池邦夫 編『芸術家・文士の絵手紙』
二玄社 2004.3
明治 43 年 1 月 27 日付山本鼎宛小杉未醒葉書 p.72／明治 43 年
3 月 1 日付山本鼎宛小杉未醒葉書 p.73／釈文・略歴 pp.143-144
小池邦夫 編『芸術家の年賀状』
二玄社 2004.10
明治 43 年付山本一郎宛小杉未醒年賀状／明治 45 年付杉浦非
水宛小杉未醒年賀状／大正 6 年付杉浦非水宛小杉未醒年賀状
／大正 7 年付杉浦非水宛小杉放庵年賀状／昭和 5 年付杉浦非
水宛小杉未醒年賀状
仲村顕 編『新聞記事にみる沖繩戦 —翻刻資料集—』
沖繩歴史教育研究会 2007.9
小杉放庵「琉球回想」
※初出：東京新聞 1945.6.28
東雅夫 編『文豪怪談傑作選・特別篇 鏡花百物語集』

筑摩書房（ちくま文庫）2009.7

小杉未醒・馬場孤蝶・泉鏡花・久保田万太郎・白井喬二・長谷川伸・平山蘆江・長田秀雄・畑耕一・斎藤龍太郎・沢田撫松・芥川龍之介・菊池寛「怪談会」

※初出：新小説（第2期）1924.4～5

會津八一雁魚來往研究会・公益財団法人會津八一記念館 編『雁魚來往〈一〉濱谷浩・川喜多半泥子・小杉放庵と會津八一との往來書簡』新潟市會津八一記念館 2013.3

『おわらと林 秋路——風の盆の画家』

高志の国文学館 2017.7

林秋路宛小杉放庵書簡 p.87,112/小杉放庵「〔短歌〕あしびきのやまの八尾の雪に漉く 秋路が紙に 絵かけうたかけ」p.87/小杉放庵「おわら古謡2首」p.87

サントミュージゼ 上田市立美術館 編『山本鼎 青春の絵はがき』サントミュージゼ 上田市立美術館 2017.12

No.31 明治 43 年 1 月 5 日消印山本鼎宛小杉未醒書簡 p.59/

No.32 明治 43 年 1 月 14 日消印山本鼎宛小杉未醒書簡 p.60/

No.34 明治 43 年 3 月 2 日消印山本鼎宛小杉未醒書簡 p.62

平福久子 編『平福百穂を愛した人々』

仙北市立角館町平福記念美術館 2018.10

大正 12 年 4 月 27 日付平福百穂宛小杉未醒書簡 pp.18-19

石川巧 編『幻の戦時下文学 『月刊毎日』傑作選』

青土社 2019.2

小杉放庵「よき中国人」pp.316-319

※初出：月刊毎日 2 巻 2 号 1945.2

小杉放庵「〔短歌〕北京五首」p.362

※初出：月刊毎日 2 巻 8 号 1945.8

香川県立ミュージアム・久留米市美術館・高梁市成羽美術館 編『白馬のゆくえ 小林萬吾と日本洋画 50 年』

公益財団法人日動美術財団 2020.4

1913 年 8 月 5 日付小林萬吾宛小杉未醒葉書（香川県立ミュージアム蔵）p.137

東雅夫 編『泉鏡花〈怪談会〉全集』

春陽堂書店 2020.5

小杉未醒・馬場孤蝶・泉鏡花・久保田万太郎・白井喬二・長谷川伸・平山蘆江・長田秀雄・畑耕一・斎藤龍太郎・沢田撫松・芥川龍之介・菊池寛「怪談会」

※初出：新小説（第2期）1924.4～5

細川光洋『吉井勇の旅靴——昭和初年の歌行脚ノート』

短歌研究社 2021.11

昭和 12 年 8 月 8 日付吉井勇宛小杉放庵書簡 p.366/昭和 13 年 10 月 17 日付吉井勇宛小杉放庵書簡 p.398

市川高子・小川陽子 編『生誕 110 年 齋藤三郎展』

小林古径記念美術館 2023.7

No.29 1949 年 4 月 2 日付齋藤三郎宛小杉放庵葉書（個人蔵）p.34, 86

3 定期刊行物

小杉未醒「詩人実朝」

史学界 5 巻 2 号 1903.2 pp.55-63

小杉未醒「国木田独歩宛書簡」

戦時画報 2 号 1904.3.1 p.34

特派員画家小杉氏通信「仁川海戦の前夜」

戦時画報 2 号 1904.3.1 p.42

小杉未醒通信「東郷少佐捕へらる」

戦時画報 6 号 1904.4.10 p.19

小杉未醒「特派員小杉氏の書翰」

戦時画報 8 号 1904.5.1 p.32

小杉未醒「従軍雑録」

美術新報 3 巻 16 号（65 号）1904.11

小杉未醒「従軍雑録（補遺）」

美術新報 3 巻 17 号（66 号）1904.11

小杉未醒「〔詩〕戦の罪（全 2 回）」

天鼓 1～2 号 1905.2.23, 3.27

小杉未醒「船出」

こころの華 9 巻 3 号 1905.3

小杉未醒「〔詩〕地籟人籟（幻影 鶏飼絵師 戦友の墓）」

天鼓 3 号 1905.4.15

未醒「〔詩〕地籟人籟（誰にか贈らん—嗚呼樋口大尉—/生ける骸か）」

天鼓 4 号 1905.5.15 pp.29-32

小杉未醒「〔短歌一首〕十年ぶりにて沢村と会ふて」

天鼓 4 号 1905.5.15 p.32

大夢庵「栗山記」

天鼓 4 号 1905.5.15 pp.296-300

*『詩興画趣』/『詩興漫画』

小杉未醒「〔詩〕地籟人籟（関門海峡）」

天鼓 5 号 1905.6.1

小杉未醒「〔詩〕地籟人籟（芍薬歌 新島守 小猿）」

天鼓 6 号 1905.6.15

小杉未醒「長詩 水魔」

天鼓 8 号 1905.7.15

*鹿島桜巷 編『名家模範新体詩集』1906

小杉未醒「〔詩〕月中女」

天鼓 10 号 1905.8.20

未醒・桜花「〔連句〕雲の影」

天鼓 11 号 1905.9.5 p.23

未醒「〔詩〕病吟 誘惑 濁り波」

天鼓 11 号 1905.9.5

未醒「吾小園（望の夜しるす）」

天鼓 12 号 1905.9.25

小杉未醒 ほか「〔俳句〕白洞会集」

天鼓 13 号 1905.10.10

未醒・桜巷「〔俳句〕月下小集」

天鼓 13 号 1905.10.10 p.63

小杉未醒「長詩 崑崙山」

天鼓 13,15 号 1905.10.10, 12.5

小杉未醒「俳句十五句」

天鼓 15 号 1905.12.5

小杉未醒「〔詩〕やへ潮」

天鼓 17 号 1906.2.2 p.37

小杉未醒「〔詩〕瀑背降覚」

天鼓 18 号 1906.2.20

みせい「板ツペら」

天鼓 19 号 1906.3.5

みせい「〔詩〕不浄恋」

天鼓 20 号 1906.3.20

みせい「〔俳句〕春意一調」

天鼓 20 号 1906.3.20

小杉未醒「山民語」

山岳（日本山岳会）1 巻 1 号 1906.4

みせい「恋の凱歌」

平旦 5 号 1906.4

小杉未醒「洋画乱談（全 2 回）」

報知新聞 1906.6.19,20

*絵画叢誌 230 号 1906.6

小杉未醒「文哉先生（全 3 回）」

いはらき 1906.8. 5,7,17 各 p1

*北島健「『いはらき』新聞における美術に関する記事等総目次 その二」茨城県近代美術館研究紀要 2 号 1993.3

未醒「画紀行 秋郊一日（全 2 回）」

東京日日新聞 1906.11. 8,10

*『詩興画趣』/『詩興漫画』

小杉未醒「夢遊記」

新古文林 3 巻 3 号 1907.3

*『詩興画趣』/『詩興漫画』

小杉未醒「有情非情画伝」
 趣味 2 巻 5 号 1907.5
 *『詩興画趣』/『詩興漫画』
 未醒 ほか「春雑吟」
 方寸 1 巻 1 号 1907.5
 駄頭生「無題」
 方寸 1 巻 1 号 1907.5
 ※『方寸』復刻版解説は小杉未醒が著者かとしている。
 小杉未醒「画伝五人」
 趣味 2 巻 6 号 1907.6
 *『詩興画趣』/『詩興漫画』
 未醒 ほか「白洞会句集」
 方寸 1 巻 2 号 1907.6
 小杉未醒「磯の旅絵師」
 趣味 2 巻 7 号 1907.7
 未醒 ほか「白洞会句集」
 方寸 1 巻 3 号 1907.7
 駄頭「方寸言」
 方寸 1 巻 3 号 1907.7
 ※『方寸』復刻版解説は小杉未醒が著者かとしている。
 未醒 ほか「白洞会句集」
 方寸 1 巻 4 号 1907.8
 小杉未醒「一人一境」
 趣味 2 巻 9 号 1907.9
 小杉未醒「古きスケッチの思出」
 趣味 2 巻 10 号 1907.10
 駄頭生「漫語」
 方寸 1 巻 7 号 1907.12
 ※『方寸』復刻版解説は小杉未醒が著者かとしている
 駄頭打生「絵画之批評」
 方寸 2 巻 1 号 1908.1
 ※『方寸』復刻版解説は小杉未醒が著者かとしている
 未醒「千波沼」
 方寸 2 巻 4 号 1908.5
 未醒・峽南・白羊・柏亭「太平洋画会展覧会合評」
 方寸 2 巻 5 号 1908.7
 未醒「四月の日記」
 方寸 2 巻 5 号 1908.7
 小杉未醒「近時画報社時代の独歩氏」
 新潮 9 巻 1 号 特集：国木田独歩 1908.7
 *『増訂版 定本国木田独歩全集』第 10 巻 1978/『近代作家
 研究叢書 103 国木田独歩』1990
 小杉未醒 談「独歩氏の一面」
 新潮 9 巻 1 号 特集：国木田独歩 1908.7
 *『増訂版 定本国木田独歩全集』第 10 巻 1978/『近代作家
 研究叢書 103 国木田独歩』1990
 小杉未醒・吉江孤雁「独歩社時代」趣味 3 巻 8 号 特集：文豪国木
 田独歩 1908.8
 *『増訂版 定本国木田独歩全集』第 10 巻 1978
 小杉未醒「〔アンケート〕生れ変らせると云つたら」
 趣味 3 巻 9 号 1908.9
 未醒「雲の絵」
 方寸 2 巻 7 号 1908.10
 伍助・黒眼・晃山・越人・八郎「車座（一）」
 方寸 2 巻 7 号 1908.10 ※『方寸』復刻版解説によれば、黒
 眼は石井柏亭、晃山は小杉未醒
 小杉未醒・石井柏亭・高村真夫・倉田白羊・山本鼎・坂本繁次郎・森
 田恒友・荘野宗之助「第二回公設展覧会洋画合評（十月十八日
 夜田端小杉未醒画室に於て）」方寸 2 巻 8 号 1908.11
 小杉未醒氏「四十二年の新年端書意匠（本社の問合に対する答を
 収む）」読売新聞 1908.12.30
 未醒「〔詩〕早春」
 方寸 3 巻 3 号 1909.3
 小杉未醒「常陸の海」

方寸 3 巻 3 号 1909.3
 小杉未醒「新聞雑誌の版画」
 黒白（黒白社）2 巻 2 号 1909.3
 未醒「日記の抜書き」
 方寸 3 巻 4 号 1909.5
 小杉未醒「〔アンケート〕名流と衣食住」
 読売新聞 1909.6.15
 小杉未醒「太平洋画会の展覧会（全 3 回）」
 都新聞 1909.6.18,19,21
 小杉未醒「雑誌の版画」
 黒白（黒白社）文芸革新号 1909
 ※原本未確認。同誌 6 号の広告による。
 小杉未醒「沼田行」
 黒白（黒白社）6 号 1909
 小杉未醒・石井柏亭・織田一磨・荻原守衛・倉田白羊・山本鼎・平福
 百穂・森田恒友「太平洋画会展覧会合評」方寸 3 巻 5 号 1909.7
 小杉未醒「山の恐れ 人の恐れ」
 方寸 3 巻 6 号 1909.8
 小杉未醒「美術雑話」
 美術之日本 1 巻 5 号 1909.9
 小杉未醒「姉と弟の話」
 方寸 3 巻 7 号 1909.9
 未「泥龍」
 方寸 3 巻 7 号 1909.9
 皓生「美術家の昨今（十四）小杉未醒氏」
 読売新聞 1909.9.17
 小杉未醒 談「奨励にならなくて却て弊になる」
 美術新報 8 巻 14 号（181 号）1909.10
 ※初出は読売新聞
 小杉未醒・本田穆堂・斎藤五百枝・影法師「文部省美術展覧会合評
 （全 10 回）」東京毎日新聞 1909.10. 19,20,22,23,24,25,27,28,29,
 30 各 p.1
 小杉未醒「方寸言欄 小生の議論（官設展覧会に就て）」
 方寸 3 巻 9 号 1909.12
 未醒・柏亭・白羊・鼎「信濃の旅」
 方寸 4 巻 1 号 1910.1 pp.8-15
 小杉未醒「漫画漫言」
 時事新報 1910.1
 *絵画叢誌 274 号 1910.2
 小杉未醒「故郷の記」
 方寸 4 巻 2 号 1910.2
 小杉未醒「常総行」
 方寸 4 巻 3 号 1910.4
 未醒「旅」
 趣味 5 巻 5 号 1910.5
 無署名「〔黙〕の一字だ」
 方寸 4 巻 4 号 1910.5 p.5
 ※山本鼎・倉田白羊宛小杉未醒書簡
 小杉未醒「絵はがき」
 方寸 4 巻 4 号 1910.5 p.7
 ※公田連太郎像
 無署名「一踏みの一投足にあると思ふ」
 方寸 4 巻 4 号 1910.5 p.10
 ※山本鼎宛小杉未醒書簡
 「小杉未醒より山本鼎へ」
 方寸 4 巻 4 号 1910.5 p.14
 小杉未醒「池」
 趣味 5 巻 7 号 1910.7
 小杉未醒・倉田白羊「変り絵と先進の態度（太平洋画会出品画に就
 て）」新潮 13 巻 1 号 1910.7
 小杉生「守衛君の記憶」
 方寸 4 巻 5 号 1910.7
 ※荻原守衛について
 小杉未醒「四月より五月の京都」

方寸 4 巻 6 号 1910.8
未醒「□画人○詩人」
方寸 4 巻 7 号 1910.10
小杉未醒「小豆島の端書」
方寸 4 巻 8 号 1910.12
小杉未醒「官設展覽会に就て」
方寸 4 巻 8 号 1910.12
小杉未醒「お香さんと腐食版」
方寸 5 巻 1 号 1911.1
小杉未醒「那須の湯」
方寸 5 巻 2 号 1911.3
小杉未醒「従軍回顧 吾輩の縮尻話」
冒険世界 4 巻 5 号 1911.4
小杉未醒「故青木繁（全 2 回）」
東京日日新聞 1911.4. 18,20
小杉未醒「方寸言欄 細かに尖った感情（帝国劇場とハムレット）
展覧会」方寸 5 巻 3 号 1911.7
未醒「墓石」
方寸 5 巻 3 号 1911.7
小杉未醒「赤薙の裾野」
読売新聞 1911.7.23
小杉未醒「日本画雑話（全 2 回）」
東京日日新聞 1911.8. 20,22
＊絵画叢誌 293 号 1911.9
小杉未醒氏 談「洋画家の日本画観 其一 国民性の發揮」
美術新報 10 巻 11 号（204 号）1911.9
＊青木茂 編『明治日本画史料』1991
小杉未醒「開墾場の吉蔵さんと一軒屋の爺」
読売新聞 1911.9.17
小杉未醒「絵かきの見た野球」
東京日日新聞 1911.9.19
小杉未醒「文展目に付たもの」
サンデー（サンデー社）151 号 1911.10
小杉未醒 談「「水郷」に就て」
読売新聞 1911.10.31
小杉未醒「絵師と版画彫刻師と接近すべし」
美術之日本 3 巻 10 号 1911.12
小杉未醒「日本画に対する二種の疑義」
東京日日新聞 1912.1.2
＊研精画誌 57 号 1912.1
小杉未醒「現代の美術界を見て」
多都美 6 巻 1 号 1912.1
小杉未醒 談「文展出品（その四）「豆の秋」小杉未醒氏」
萬朝報 1912.10.2
小杉未醒 談「受賞者の感想 不満の点多し」
読売新聞 1912.10.23
小杉未醒「私は観山大観が好きです」
中央公論 27 年 11 号 1912.11
小杉未醒 談「大観と未醒の握手」
東京日日新聞 1912.12.15
小杉未醒「仏蘭西に行く途上の余をして八犬伝を評せしめよ」
俳味 4 巻 3 号 1913.3
「消息 小杉未醒氏より」
俳味 4 巻 4 号 1913.4
「卓子を囲みて」
読売新聞 1913.4.15 ※1913.3.28 付小杉未醒書簡
小杉未醒「独吟百韻馬念仏」
俳味 4 巻 5 号 1913.5
小杉未醒「黄色い顔は黄色いのだ（巴里より）」
俳味 4 巻 6 号 1913.6
小杉未醒「備忘数則」
美術新報 12 巻 8 号（225 号）1913.6
小杉未醒「マチスの絵に就て」
多都美 7 巻 12 号 1913.6 p.1

小杉未醒「英国の画壇」
絵画叢誌 313 号 1913.7
＊研精美術 77 号 1913.8
小杉未醒「巴里より」
美術新報 12 巻 12 号（229 号）1913.10
小杉未醒・山本鼎「アンデパンダンしぶ林檎」
俳味 4 巻 10 号 1913.10
小杉未醒・山本鼎「〔連句〕アンデパンダン落ち椿」
俳味 4 巻 11 号 1913.11
小杉生「壁画見る旅（1～4）」
東京日日新聞 1913.11. 10,11,21,22
＊第 1 回のみ抄録：美術週報 1 巻 7 号 1913.11.23
「未醒氏の帰朝 仏国画会の現況」
読売新聞 1913.12.21
小杉未醒「欧羅巴絵行脚」
東京美術学校校友会月報 12 巻 8 号 1914.1
※初出：やまと新聞
小杉未醒「仏国に於る後期印象派の全盛」
東京美術学校校友会月報 12 巻 8 号 1914.1
※初出：国民新聞
小杉未醒「独逸を通つた時（全 4 回）」
時事新報 1914.1. 19～22
＊第 3 回分までを「独逸を通つて観じた事」として再録：
絵画清談 2 巻 2 号 1914.2
小杉未醒「泰西に於ける後期印象派」
研精美術 83 号 1914.2
小杉未醒・記者「画室対話」
美術新報 13 巻 6 号（235 号）1914.4
小杉未醒「大正博の西洋画（全 3 回）」
時事新報 1914.4. 1～3
小杉未醒 談「美術院の再興に就て」
東京朝日新聞 1914.4.24
＊美術正論 2 巻 5 号 1914.5/多都美 8 巻 9 号 1914.5 p.6/
日展史編纂委員会編『日展史』3 巻文展編三 社団法人日展
1980.12 p.484
小杉未醒「美術院の再興に就て」
絵画清談 2 巻 5 号 1914.5
＊『日本美術院百年史』4 巻 1994
小杉未醒「芸術家の見た大正博覧会 首脳者無き建築」
ナショナル（ナショナル社）2 巻 6 号 1914.6
「雑報欄 小杉未醒氏の話」
多都美 8 巻 13 号 1914.7 p.6
※ルーニ、ジョット、ラヴェンナのモザイク装飾などイタ
リア絵画について
小杉未醒「幼年時に於ける我が先生 古風にして親切な我旧師」
台湾愛国婦人 68 巻 1914.7 p.38
※五百城文哉について
さいすい「机辺雑事（一）」
美術新報 13 巻 10 号（239 号）1914.8
※著者は坂井犀水。小杉未醒の書簡を紹介している。
小杉未醒 談「興味ある地方色」
文章世界 9 巻 9 号 1914.8
＊浅枝次朗「最近に現れたる思想の評論」研精美術 90 号
1914.9
小杉未醒「夏のブルタニー」
読売新聞 1914.8.3
小杉未醒「戦争と絵画 戦争画の偽と真（全 3 回）」
時事新報 1914.9. 2,3,4
小杉未醒「〔講演筆記〕最近壇画の傾向」
審美 3 巻 10 号 1914.10
小杉未醒「情緒纏綿」
新小説（第 2 期）19 巻 10 号 特集：独逸の研究 1914.10
小杉未醒「日本画救済の一策」
読売新聞 1914.10.5

＊浅枝次朗「最近に現れたる思想の評論」研精美術 91 号 1914.10
 小杉未醒「文展の日本画（全 3 回）」
 時事新報 1914.10. 17,18,21
 ＊抄録：研精美術 92 号 1914.11
 小杉未醒「日本画と墨」
 秋田魁新報 1914.10.24
 小杉未醒「展覧会数ヶ條」
 美術新報 14 巻 1 号（242 号）1914.11
 小杉未醒 談「秋の写生地 其の三」
 みづゑ 117 号 1914.11
 小杉未醒「秋の画室より」
 みづゑ 117 号 1914.11
 小杉未醒「十人十色 小杉未醒」
 美術週報 2 巻 5 号 1914.11.1
 ※文展、二科展、日本美術院展、日本美術協会展の感想
 小杉未醒「忘れざる笑顔」
 武俠世界 4 巻 3 号 1915.2
 ※押川春浪について
 小杉未醒「〔短歌〕旅——横断旅行の時の歌（明治四十四年八月）」
 俳味 6 巻 6 号 1915.6
 小杉未醒「手製カンワ` スに就て」
 美術新報 14 巻 11 号（252 号）1915.9
 一記者「展覧会を控へつゝ 小杉未醒氏の武者絵論」
 美術之日本 7 巻 9 号 1915.9
 小杉未醒「〔アンケート〕日本画の教育方針」
 中央美術 1 巻 1 号 1915.10
 小杉未醒「大雅と南画」
 中央美術 1 巻 1 号 1915.10
 「美術院鑑別合格発表 鑑別について 小杉未醒氏曰く」
 多都美 9 巻 11-12 号 1915.12 pp.11-12
 小杉未醒「日光の写生地」
 中央美術 1 巻 3 号 1915.12
 小杉未醒「中津自性寺の大雅堂（琉球前記）」
 中央美術 2 巻 3 号 1916.3
 小杉未醒「可愛い琉球（全 2 回）」
 時事新報 1916.3. 24～25
 小杉未醒「琉球閑居録」
 中央美術 2 巻 5 号 1916.5
 小杉未醒・山城青草「琉球武俠通信」
 武俠世界 5 巻 6 号 1916.5 pp.43-46
 小杉未醒 談「日本画に就て」
 美術週報 3 巻 33 号 1916.6.4 p.5
 小杉未醒「紫紅遺作展覧会に就いての所感」
 読売新聞 1916.6.7
 小杉生「シャワ` ンスに就て」
 美術新報 15 巻 10 号（263 号）ピュキ` ス・ド・シャワ` ンス
 特別号 1916.8
 小杉生「昇君と昇君の芸術」
 美術新報 15 巻 11 号（264 号）1916.9
 ※長谷川昇について
 小杉未醒 談「院展の洋画」
 読売新聞 1916.9.17
 小杉未醒「現代名家文章大観 両文体を採る」
 日本及日本人 689 号 1916.9 p.450
 小杉未醒 談「院展の油絵」
 美術画報 39 編 11 号 1916.10
 小杉未醒「文展洋画の一瞥」
 絵画清談 4 巻 11 号 1916.11
 小杉未醒「彫刻及絵画雑感」
 美術 1 巻 1 号 1916.11
 小杉未醒「山水画（日本画部）」
 中央美術 2 巻 11 号 1916.11
 小杉未醒「名勝地保護問題」

中央美術 3 巻 2 号 1917.2
 無署名「豆えん筆欄 小杉未醒君から次ぎの手紙が来た…」
 読売新聞 1917.3.13
 小杉未醒「南画と吟味」
 中央美術 3 巻 7 号 1917.7
 小杉未醒 談「回想と感想」
 美術 1 巻 9 号 1917.7
 ＊抄録：「モロー及びユーゴオの美術館」中央美術 3 巻 8 号 1917.8
 小杉未醒 談「日本婦人の手は美しい 洋画家の観たる現代婦人」
 読売新聞 1917.8.31
 小杉未醒「芋銭子が事」
 中央美術 3 巻 9 号 1917.9
 ※小川芋銭について
 小杉未醒「文展の印象」
 太陽 23 巻 13 号 1917.11
 小杉未醒「文展の一進歩乎——形式よりは実行を要す」
 絵画清談 5 巻 11 号 1917.11
 小杉未醒「御一代絵画館の問題」
 中央美術 4 巻 1 号 1918.1
 小杉未醒 談「名士相撲短評（七日目）」
 東京朝日新聞 1918.1.18
 小杉未醒「絵画館の画」
 絵画清談 6 巻 2 号 1918.2
 小杉未醒「紫紅の芸術」
 たつみ（異画会本部）12 巻 3 号 1918.3
 ※今村紫紅について
 ＊『日本美術院百年史』4 巻 1994 p.1169
 未醒「名画解題（二二）池大雅筆 瀟湘八景」
 中央美術 4 巻 4 号 1918.4
 小杉未醒 談「棧敷から 五日目の相撲短評」
 東京朝日新聞 1918.5.17
 小杉未醒「〔アンケート〕私の好きな夏の料理」
 中央公論 33 年 9 号（360 号）1918.8 pp.61-62
 小杉未醒「美術期節前記—今秋美術展覧会批評の筆を執るに方つて—」中央公論 33 年 10 号（361 号）1918.9 p.52
 小杉未醒 談「日本美術院派の現在及将来 光明でもあり暗礁でもある」早稲田文学（第 2 次）154 号 1918.9
 ＊『日本美術院百年史』4 巻 1994
 小杉未醒 談「陰鬱な洋画が大変に多い」
 読売新聞 1918.9.8
 ※院展評
 小杉未醒「院展日本画管見」
 中央公論 33 年 11 号（362 号）1918.10 pp.33-37
 小杉未醒「美術院の洋画」
 太陽 24 巻 12 号 1918.10
 小杉未醒「文展日本画管見」
 中央公論 33 年 12 号（363 号）1918.11 pp.32-38
 小杉未醒「私の行き方」
 文章世界 13 巻 11 号 1918.11
 小杉未醒 談「名士の相撲短評（八日目）」
 東京朝日新聞 1919.1.21
 小杉未醒「〔アンケート〕法隆寺壁画を硬化するの可否」
 中央美術 5 巻 6 号 1919.6
 小杉未醒「御舟君と紫紅君」
 中央美術 5 巻 8 号 特集：速水御舟論 1919.8
 小杉未醒「〔アンケート〕美人に着せたい夏の衣装 美術家の観たる」婦人公論 4 年 8 号 1919.8
 小杉未醒 談「新設帝国美術院と大観、観山両画伯の拒絶」
 読売新聞 1919.9. 10～11
 ＊「新設帝国美術院に就て」審美 8 巻 10 号 1919.10
 小杉未醒「帝国美術院に関する所見 同じ役者が踊るのみ」
 中央美術 5 巻 10 号 1919.10
 小杉未醒「日記から（去年の関西にて）」

中央美術 5 巻 10 号 1919.10
小杉未醒「足立源一郎氏の作品」
中央美術 5 巻 10 号 1919.10
小杉未醒・荒井寛方・長谷川昇・藤井浩祐・吉田白嶺・近藤浩一路
「院展派の見たる帝展画評」東京日日新聞 1919.10.16
小杉未醒「帝展新審査員是非——長原孝太郎君 寧ろ酷だ遅し」
中央美術 5 巻 11 号 1919.11
小杉未醒「十津川紀行」
中央美術 6 巻 1 号 1920.1
*『画人行旅』
小杉未醒「槐多子」
みづゑ 180 号 1920.2
※村山槐多について
*『日本美術院百年史』4 巻 1994
小杉未醒「日本住宅の改良したき点 支那風を参酌」
中央美術 6 巻 5 号 1920.5
小杉未醒「名勝破却の危険」
中央美術 6 巻 7 号 1920.7
小杉生「泛内海行」
中央美術 6 巻 7 号 1920.7
*『画人行旅』
小杉未醒「〔アンケート〕余が愛読の紀行」
読売新聞 1920.7.28
小杉未醒「〔アンケート〕読者の眼 新聞に対する各方面の註文」
東京朝日新聞 1920.11.23
小杉未醒 著、森田恒友 画「水国雑記」
中央公論 36 年 6 号 1921.6
*『画人行旅』（森田の挿絵は省略）
小杉未醒「郊外生活者の感想 田端」
中央公論 36 年 8 号「都市と田園」号 1921.7
*『画人行旅』
小杉未醒「金沼銀沼の霊地」
改造 3 巻 8 号 1921.7
小杉未醒「庚申山記」
中央美術 7 巻 9 号 1921.9
*『画人行旅』
小杉未醒「院展の邦画を観て」
読売新聞 1921.9.11
*「院展の邦画」絵画清談 9 巻 9 号 1921.9/帝国美術絵画通信
展覧会時報 385 号 1921.10
小杉未醒「帝展の邦画を見て（全 3 回）」
読売新聞 1921.10. 28,29,31
小杉未醒「和田三造論——三造君」
中央美術 7 巻 12 号 1921.12
小杉未醒「白隠和尚の絵事（細川侯の白隠遺墨展覧会を見て）」
中央美術 8 巻 1 号 1922.1
*『画人行旅』
未醒「石井柏亭論——満吉君」
中央美術 8 巻 1 号 1922.1
小杉未醒「唐土雑感」
中央公論 37 年 1 号 1922.1
*『画人行旅』
小杉未醒「鶏の決闘」
改造 4 巻 1 号 1922.1
*『画人行旅』
小杉未醒「千九百二十二年は？（二）」
東京朝日新聞 1922.1.2
小杉未醒 談「我々は各人主義の集団である」
読売新聞 1922.1.15
小杉未醒「和歌七十六首」
中央公論 37 年 3 号（406 号）1922.3
小杉未醒「金鈴社展覧会」
中央美術 8 巻 6 号 1922.6
小杉未醒「平泉誌（夏の奥州から）」

サンデー毎日 1 年 11 号 1922.6.11
*『画人行旅』
小杉未醒「〔アンケート〕次回の仏国美術展覧会に」
中央美術 8 巻 7 号 1922.7
小杉未醒「琉球回想」
サンデー毎日 1 年 14 号 1922.7.2
*『画人行旅』
小杉未醒「壁画芸術」
東京日日マガジン（東京日日新聞附録）22 号 1922.7.16
*建築画報 13 巻 8 号 1922.8/審美 11 巻 8 号 1922.8/絵画
清談 11 巻 2 号 1923.2/「壁画」『画人行旅』/「壁画」『放庵
画談』
未醒庵「鳩」
中央美術 8 巻 8 号 1922.8
*『画人行旅』
小杉未醒「画人三題」
支那美術 1 巻 1 号 1922.8
※俾南田、猊雲林、孟亭について
*『画人行旅』
小杉未醒「南下野の夏」
サンデー毎日 1 年 21 号 1922.8.13
*『画人行旅』
小杉未醒「画人語二則」
詩と音楽 1 巻 1 号 1922.9
*「豎長の絵横長の絵」『画人行旅』
小杉未醒「院展回顧（全 5 回）」
国民新聞 1922.9.10～14
*美術之日本 14 巻 9 号 1922.9（1～3 回分のみ）/絵画清談
10 巻 10 号 1922.10（1～3 回分のみ）/審美 11 巻 10 号 1922.
10（1～4 回分のみ）/『放庵画論』/『放庵画談』
沼波瓊音・小杉未醒「雨の日（連句）」
潮音（潮音社）8 巻 10 号 1922.10
*「連句」『画人行旅』/「青麦」『骨の木』1963
未醒庵「和漢比較漫録」
東洋 25 年 10 号 1922.10
*『東洋近代美術之研究』1923/書画骨董雑誌 184 号 1923.10/
『画人行旅』/『放庵画談』
沼波瓊音・小杉未醒「春雨（連句）」
潮音（潮音社）9 巻 1 号 1923.1
*「連句」『画人行旅』
無署名「大同余録」
中央美術 9 巻 1 号 1923.1
※木村莊八宛小杉未醒書簡
小杉未醒「中華伝信録」
中央公論 38 年 1 号 1923.1
*『画人行旅』
小杉未醒「大正十二年を迎へて」
東京朝日新聞 1923.1.3
小杉未醒「春陽会について」
鐘が鳴る 1 号 1923.4
小杉未醒「古支那人の言葉」
詩と音楽 2 巻 5 号 1923.5
*『画人行旅』/『放庵画談』
小杉未醒「塗る画と描く画と」
読売新聞 1923.5.7
*審美 12 巻 6 号 1923.6
小杉未醒「グループよりグループに」
中央美術 9 巻 6 号 1923.6
小杉未醒「〔泉〕について」
みづゑ 220 号 1923.6
小杉未醒「落ちた絵通つた絵」
美術月報 4 巻 8 号（237 号）1923.6 pp.4-6
小杉未醒「日光物語」
週刊朝日 4 巻 8 号 1923.8.12

＊『旅窓読本』
 小杉未醒「〔アンケート〕人生に於ける恋愛の位置」
 婦人公論 8 年 10 号 1923.9
 未醒山人「三句余の生活」
 みづゑ 225 号 1923.11
 ＊『工房有閑』／『工房小閑』
 小杉未醒「牛久沼二日」
 中央美術 9 卷 10 号 1923.11
 ＊『工房有閑』／『工房小閑』／『爐』
 放庵未醒「人間随筆（其一）最近の芥川龍之介氏——澄江子」
 新潮 39 卷 5 号 1923.11
 小杉未醒 談「洋画に比較して日本画の方が活潑（全 2 回）」
 読売新聞 1923.12. 15～16
 未醒山人「工房小言」
 週刊朝日 4 卷 28 号 1923.12.16
 ＊『工房有閑』
 小杉未醒「水墨」
 アトリエ 1 卷 1 号 1924.2
 ＊『放庵画論』／北原義雄 編『日本画の研究』1930／『放庵画
 談』／『日本の名随筆 27 墨』1985
 放庵未醒「王摩詰の話柄」
 アトリエ 1 卷 1 号 1924.2
 小杉未醒「洛外三題」
 週刊朝日 5 卷 7 号 1924.2.10
 ＊『工房小閑』
 小杉未醒 談「春陽会展の第二回に就て」
 読売新聞 1924.2.24
 未醒山人「工房閑談（琉球名物／動物の不思議）」
 中央美術 10 卷 3 号 1924.3
 ※船越義珍について
 ＊『工房有閑』
 放庵未醒「春陽会の鑑査日（全 2 回）」
 時事新報 1924.3.16～17 各夕刊
 未醒「みづゑを思ふ」
 みづゑ 230 号 1924.4
 小杉未醒 談「府の美術館をどう使ふべきか？——帝展偏重を全
 排せよ」読売新聞 1924.4.28
 小杉未醒・馬場孤蝶・泉鏡花・久保田万太郎・白井喬二・長谷川伸・
 平山蘆江・長田秀雄・畑耕一・斎藤龍太郎・沢田撫松・芥川龍之
 介・菊池寛「怪談会（全 2 回）」新小説（第 2 期）29 卷 4～5
 号 1924.4～5
 ＊『芥川龍之介全集』第 16 卷 1997／東雅夫 編『伝奇ノ匣 3
 芥川龍之介妖怪文学館』2002／東雅夫 編『文豪怪談傑作選・
 特別篇 鏡花百物集』2009／東雅夫 編『泉鏡花〈怪談会〉
 全集』春陽堂書店 2020
 小杉未醒「苑中雑事」
 アトリエ 1 卷 3 号 1924.5
 ＊『画生活随筆』1930／『工房有閑』／『工房小閑』
 小杉未醒「遊華漫録」
 アトリエ 1 卷 5 号 1924.7
 小杉未醒「唐書と李白」
 東京朝日新聞 1924.7.12
 小杉未醒「夏の旅十二題（一）道土山眺望」
 読売新聞 1924.7.13
 小杉未醒「過去の東洋」
 アトリエ 1 卷 6 号 1924.8
 ＊『放庵画論』／『現代叢書 36 池大雅』／『放庵画談』
 小杉未醒「遠方より見てゐたる黒田氏の事業」
 アトリエ 1 卷 7 号 1924.9
 ※黒田清輝について
 ＊『放庵画論』／『放庵画談』
 小杉未醒・平福百穂「院展の絵画を観て（全 4 回）」
 国民新聞 1924.9. 4,6,7,8
 小杉未醒「勝観の盲樂人」

芸術 2 卷 14 号 1924.9
 ※大智勝観について
 小杉未醒「〔アンケート〕わが愛読の秋に関する古今東西の文章詩
 歌について」随筆（随筆社）2 卷 9 号 1924.10 pp.97-98
 秋蝶「鳶の一夜（一）未醒画伯の夜話」
 東奥日報 1924.10.29
 小杉未醒「清朝画人の話柄」
 アトリエ 1 卷 9 号 1924.11
 ＊『放庵画論』／邦画（『日本画実習帖』附録）2 卷 5 号 1935.5/
 『放庵画談』
 未醒山人「切支丹の島」
 中央美術 10 卷 11 号 1924.11
 ＊『景勝の九州』
 未醒「飛驒の高山国分寺の薬師像」
 アトリエ 1 卷 10 号 1924.12
 小杉未醒「国展の第四回を評す（全 2 回）」
 読売新聞 1924.12. 3,5
 小杉未醒「洋装と和装と 噴飯の種」
 婦人画報 231 号 1925.1
 ＊『工房有閑』
 放庵未醒「線」
 アトリエ 2 卷 1 号 1925.1
 ＊北原義雄 編『デッサンの研究』1927／『放庵画論』／『放
 庵画談』
 小杉未醒「郷土の芸術 紹介の二 右衛門四郎の木彫」
 アトリエ 2 卷 1 号 1925.1
 小杉未醒 談「今年の美術界予望（全 2 回）」
 読売新聞 1925.1.3～4
 小杉未醒「郷土の芸術 紹介の三 甲府善光寺の木仏及言虎公肖像」
 アトリエ 2 卷 2 号 1925.2
 放庵未醒抄「遊歴画家の日記」
 アトリエ 2 卷 3 号 1925.3
 ※五百城文哉について
 ＊『画生活随筆』1930／『工房有閑』／『工房小閑』／『爐』
 小杉未醒「〔アンケート〕紫煙問答 一、あなたの日々御愛用の
 タバコとその用具 二、それについての御感想」
 郊外 4 卷 4 号 1925.3
 小杉未醒「投票せうと思ふ絵」
 読売新聞 1925.3.9 月曜附録：春陽会号
 小杉放庵「画師閣立本」
 アトリエ 2 卷 4 号 1925.4
 ＊『放庵画論』／『放庵画談』
 小杉未醒「泉氏の芸」
 新小説（第 2 期）30 卷 5 号 1925.5
 ＊「泉鏡花氏の芸」『工房有閑』
 小杉画伯 談「時と所を超越して 人間と自然との融和を」
 帝国大学新聞 118 号 1925.5.25 p.5
 ※安田講堂壁画について
 小杉未醒「〔アンケート〕美術家勢調査」
 中央美術 11 卷 6 号 1925.6
 小杉未醒「聖徳太子の展覧会」
 アトリエ 2 卷 6 号 1925.6
 小杉未醒「中形浴衣の情味 浴衣と幅狭の帯」
 週刊朝日 7 卷 25 号 1925.6.7
 放庵未醒「〔短歌〕遊中華詠草」
 読売新聞 1925.6.29
 放庵「昔話二則（虎溪三笑 陶淵明）」
 アトリエ 2 卷 7 号 1925.7
 ＊「画題二則」『放庵画論』／「画題二則」『現代叢書 36 池大
 雅』／「画題二則」『放庵画談』
 放庵未醒「夜山猿怪録」
 大阪朝日新聞 1925.7.9
 ＊『一日一文』1926／『工房小閑』／芸術 16 卷 3 号 1938.1
 小杉未醒「二十八貫目の芸人」

芸術 3 巻 15 号 1925.8
 未醒山人「桂月と徐霞客」
 改造 7 巻 8 号 1925.8
 * 東邦美術 2 巻 1 号 1938.1/『工房有閑』/『工房小閑』
 小杉未醒「女」
 文芸春秋 3 巻 8 号 1925.8
 * 『工房有閑』/『工房小閑』
 小杉未醒「〔アンケート〕 諸作家の材料調査」
 中央美術 11 巻 9 号 1925.9
 小杉未醒「名作短解 ギョットの聖者昇天」
 アトリエ 2 巻 9 号 1925.9
 小杉未醒「壁画館は画廊である——新壁画の創造時代」
 芸天 20 号 1925.9
 小杉放庵「実用芸術」
 アトリエ 2 巻 9 号 1925.10
 * 『放庵画論』/『放庵画談』
 小杉未醒「瀧田君の事ども」
 サンデー毎日 4 年 49 号 1925.11.8
 ※瀧田樗陰について
 放庵居士「石仏巡礼」
 アトリエ 2 巻 12 号 1925.12
 * 『日本写生紀行』1930/『旅窓読本』
 小杉放庵「宋元の古画展」
 アトリエ 3 巻 1 号 1926.1
 * 『放庵画論』/『放庵画談』
 小杉未醒「硯と墨との話」
 新潮 23 年 1 号 1926.1
 * 『放庵画論』/『現代叢書 36 池大雅』/『放庵画談』
 小杉放庵「界方事件」
 芸術 4 巻 1 号 1926.1.5
 ※銭瘦鉄について
 小杉放庵「支那の略画」
 アトリエ 3 巻 1 号 1926.1
 弓館小鰐 著、小杉未醒 画「西遊記（全 105 回）」
 東京日日新聞 1926.1.26～5.27 夕刊
 放庵未醒「独興語」
 美之國 2 巻 2 号 1926.2 pp.26-27
 小杉未醒「希望二つ」
 聖徳太子奉讃美術展覧会会報 4 号 1926.2
 放庵「支那の新聞」
 新小説（第 2 期）31 巻 3 号 1926.3
 * 『工房有閑』
 小杉未醒 談「放庵雑話」
 芸術 4 巻 7 号 1926.3.5
 小杉未醒「展覧会前後（全 2 回）」
 時事新報 1926.3.5,12
 小杉放庵「芸術皇帝（全 2 回）」
 アトリエ 3 巻 2～3 号 1926.3～4
 * 『放庵画論』/『放庵画談』
 小杉未醒「〔アンケート〕 新時代の女性に望む資格のいろいろ」
 婦人之友 20 巻 4 号 1926.4
 小杉未醒「〔アンケート〕 あなたの二十年と婦人画報の二十年」
 婦人画報 247 号 1926.4
 放庵「春浪漁史」
 新小説（第 2 期）31 巻 4 号 1926.4
 ※押川春浪について
 * 『工房有閑』/『工房小閑』
 放庵未醒「私の出入する集會」
 美之國 2 巻 4 号 1926.4
 放庵「水彩画で生きて居た頃」
 みづゑ 254 号 1926.4
 小杉放庵「春字連想」
 週刊朝日 9 巻 15 号 1926.4.1
 * 『工房有閑』

小杉未醒「〔アンケート〕 製作に就て」
 マロニエ（マロニエ社）2 巻 3 号 1926.4
 小杉未醒「東京府美術館竣成 運用上の希望」
 中央美術 12 巻 5 号 1926.5
 小杉未醒「支那現代の南画」
 支那時報 5 巻 2 号 1926.7 pp.24-26
 小杉未醒「山村怪談」
 文芸春秋 4 巻 7 号 1926.7
 * 『工房有閑』/『工房小閑』/『爐』
 放庵未醒「〔短歌〕 朝鮮の母」
 美之國 2 巻 8 号 1926.8
 小杉放庵「慶州の古美術」
 アトリエ 3 巻 8 号 1926.8
 小杉放庵「池田大隅物語 附八幡十郎の事」
 不同調 3 巻 3 号 1926.9
 * 『工房有閑』/『工房小閑』/『爐』
 小杉放庵「刀」
 隨筆（人文会出版部）1 巻 4 号 1926.9
 * 『工房有閑』/『工房小閑』
 小杉未醒・弓館小鰐・針重敬喜「別府庭球行（全 2 回）」
 サンデー毎日 5 年 42,44 号 1926.9.26, 10.3
 放庵「洋画家の東洋回顧」
 アトリエ 3 巻 10 号 1926.10
 * 『放庵画論』/『放庵画談』
 小杉放庵「〔アンケート〕（一）私の好きな俠客は（二）私が若し
 俠客だつたら」騒人 1 巻 8 号 俠客奇談号 1926.11
 放庵「展覧会芸術」
 アトリエ 3 巻 11 号 1926.11
 * 『放庵画論』/『放庵画談』
 小杉放庵「唐朝の話柄」
 美之國 2 巻 11 号 1926.11 pp.165-169
 * 『工房小閑』
 小杉放庵「新南画旧南画」
 美術春秋 2 巻 11 号 1926.11
 * 『放庵画論』/『現代叢書 36 池大雅』/『放庵画談』
 小杉放庵「〔アンケート〕 予は何新聞を愛読するか及びその理由
 （承前）」不同調 3 巻 6 号 1926.12
 小杉放庵「九州詠草」
 美之國 3 巻 1 号 1927.1
 小杉未醒「南画の話」
 アトリエ 4 巻 1 号 1927.1
 * 『日本画の研究』1930
 小杉放庵「雪国の春」
 芸術 5 巻 1 号 1927.1.5
 * 『旅窓読本』
 小杉放庵「断篇数則」
 芸術 5 巻 3 号 1927.1.25
 小杉放庵「政道質疑」
 日本及日本人 115 号 1927.1
 * 『工房有閑』/『工房小閑』
 小杉未醒「春陽会の作家」
 美之國 3 巻 2 号 1927.2
 小杉未醒「私のバレット（21）」
 アトリエ 4 巻 2 号 1927.2
 放庵「挿絵」
 美術新論 2 巻 3 号 1927.3
 * 『放庵画論』/『放庵画談』
 放庵「紙」
 アトリエ 4 巻 4 号 1927.4
 * 『日本画の研究』1930/『放庵画論』/『現代叢書 36 池大
 雅』/『放庵画談』
 小杉放庵「奥の細道」
 芸術 5 巻 12 号 1927.4.25
 小杉放庵「〔アンケート〕 対支合評（一）予の好きな人物（二）

支那の将来に対する観測」騒人 2巻4号 1927.4
小杉放庵「春陽展雑感」
美之国 3巻4号 1927.5
*『放庵画論』/『放庵画談』
放庵未醒「独歩回顧」
改造 9巻5号 1927.5
*『近代文学鑑賞講座 第7巻 国木田独歩』1963
放庵「淡彩派」
アトリエ 4巻5号 1927.5
*『放庵画論』/『放庵画談』
「画家よりの肉筆絵葉書 楓文庫所蔵その五 小杉未醒氏」
あのお (楓文庫) 1927.5 p.2
小杉未醒「美術家側から見て羨しい大全集」
文芸時報 37号 1927.5.12
※明治大正文学大全集について
小杉未醒「飯田高原記事」
美術新論 2巻6号 1927.6
*『旅窓読本』
放庵「逝ける萬鉄五郎氏——忽然たる死」
みづゑ 268号 1927.6
*『工房有閑』/『昭和・物故の美術家たち』1990
小杉放庵「古人」
アサヒグラフ 8巻23号 (186号) 1927.6.1
放庵未醒「初夏の旅 九州漫録」
サンデー毎日 6年25号 1927.6.5
*『旅窓読本』
※挿絵の原画が画帖仕立てにされ、《九州八題》として栃木県立美術館に収蔵されている。
放庵生「作家言」
美術新論 2巻8号 1927.8
小杉放庵「九州詠草」
美之国 3巻6号 1927.8
放庵「名作展懷古」
アトリエ 4巻7号 1927.8
*「明治大正名作展懷古」『放庵画論』/「明治大正名作展懷古」『放庵画談』
放庵「支那の青年画家」
アトリエ 4巻8号 1927.9
小杉放庵「九州詠草」
美之国 3巻7号 1927.9
小杉放庵「死ぬる人々」
中央公論 42年9号 (476号) 1927.9
※青木繁・国木田独歩・芥川龍之介・沼波瓊音・村山槐多について
*「澄江堂と瓊音」『工房有閑』
小杉未醒「絵話二題 (ボブラ倶楽部 天狗角力)」
キング 3巻10号 1927.10 pp.226-227
小杉放庵「立山咏草」
旅 (日本旅行協会) 4巻10号 1927.10
放庵小杉未醒「水郷の人々」
文芸春秋 5巻11号 1927.11
*『工房小閑』
小杉放庵「奥の細道咏草」
美術新論 2巻12号 1927.12
小杉未醒・中川一政「〔連句〕棕櫚の雨」
文芸春秋 5巻12号 1927.12
*中川一政『美術の眺め』1930/『中川一政・小杉放庵二人展』2000
小杉放庵「夏の日記抄」
婦人之友 21巻12号 1927.12 p.32
小杉未醒「連歌一卷」
芸術 6巻2号 1928.1.15
放庵未醒「奥の細道を行く (全6回)」
倦鳥 (倦鳥発行所) 17巻1.3~7号 1928.1.3~7

*『奥の細道画冊』別冊 1932/『旅窓読本』1936/改稿：縮刷
新版『奥の細道画冊』1955/復刻版『奥の細道画冊』別冊 1972
小杉未醒「青々先生の画」
倦鳥 (倦鳥発行所) 17巻7号 1928.7 p.38
※森古泉宛小杉未醒書簡、松瀬青々について
放庵半禿「酒の歌」
美之国 4巻1・2合併号 1928.2
放庵「私の油絵のかき方」
春陽会雑報 (第6回展覧会) 2号 1928
小杉放庵「越中雑信」
アトリエ 5巻4号 1928.4
*『旅窓読本』
小杉放庵「〔アンケート〕近頃私が愛読して居るもの 各方面諸名家の回答 (その九)」読売新聞 1928.4.13
小杉放庵「〔短歌〕冬より春」
美之国 4巻5号 1928.5
放庵「読余」
アルト (紀伊国屋書店) 1号 1928.5
*『工房有閑』/『工房小閑』
小杉放庵「工房有閑 (全3回)」
東京朝日新聞 1928.5. 2~4
*『工房有閑』/『工房小閑』
小杉放庵「春陽会員の作風」
芸術 6巻13号 1928.5.5
小杉放庵「春展雑感」
美之国 4巻6号 1928.6
*「再び春陽展雑感」『放庵画論』/「再び春陽展雑感」『放庵画談』
小杉未醒「羅摩物語」
アトリエ 5巻6号 1928.6
放庵 ほか「〔俳句集〕晩春初夏」
中央美術 14巻6号 1928.6
小杉放庵「大都市の建築——木造建築は早晚跡を絶たう」
東洋建築材料商報 18年7月号 (309号) 1928.7
小杉放庵 ほか「〔俳句集〕涼味横溢」
中央美術 14巻7号 1928.7
小杉未醒 ほか「〔俳句集〕瀧しぶき」
中央美術 14巻8号 1928.8
小杉放庵「旅の歌廿首」
美之国 4巻8号 1928.8
放庵「破門の弟子」
アトリエ 5巻8号 1928.8
*『工房有閑』/『工房小閑』/『爐』
小杉放庵「〔アンケート〕遠い夢 近い夢——蟻の天下」
婦人之友 22巻9号 1928.9
放庵「硯と墨」
アトリエ 5巻12号 1928.12
*北原義雄 編『日本画の研究』1930/「再び硯と墨」『放庵画論』/「再び硯と墨」『放庵画談』
小杉放庵「奥の細道を行く」
倦鳥 (倦鳥発行所) 1928
※未見。阿部喜三男『詳考 奥の細道』(山田書院, 1959) p.47による。
小杉放庵「荒唐」
文芸春秋 7巻1号 1929.1
*『工房有閑』
小杉放庵「唐宋元明展」
アトリエ 6巻1号 1929.1
*『放庵画論』/『放庵画談』
小杉未醒「〔アンケート〕わが家の家宝」
婦人画報 282号 1929.1
小杉未醒・木下謙次郎・小松謙次郎・中條精一郎・北大路魯卿・下村宏・岡本一平・石川六郎・中川陽太郎・妹尾太郎「食道楽座談会 美味を聴く (全10回)」東京朝日新聞 1929.1. 14~23

- 放庵「六本指の才子」
アトリエ 6巻2号 1929.2
- 小杉放庵「夜長話」
美之國 5巻2号 1929.2
- 小杉放庵「五月の言葉」
美之國 5巻5号 1929.5
- 小杉未醒 談「趣味を語る 晩学の庭球」
サンデー毎日 8年23号 1929.5.19
- 小杉放庵「勝負」
美之國 5巻6号 1929.6
- 小杉放庵「〔短歌〕庭にて歌ふ」
相聞 1巻1号 1929.6
- 小杉放庵「南山半日」
東京朝日新聞 1929.6.4
*『草画随筆 満鮮と支那』
- 小杉放庵「羽後の国を行く（全7回）」
東京日日新聞 1929.6.29,30、7.2,4,5,6,7
*『旅窓読本』
- 小杉放庵「〔短歌〕出羽五首」
相聞 1巻2号 1929.7
- 小杉放庵「秋田の旅にて歌へる」
美之國 5巻8号 1929.8
- 小杉放庵「阿蘇島原（全2回）」
芸術 7巻21～22号 1929.8.5,15
*『旅窓読本』
- 小杉放庵「〔短歌〕九州山水」
相聞 1巻4号 1929.9
- 小杉放庵「現代世相展望（二一）ラヂオとテニス」
東京朝日新聞 1929.9.21
- 小杉未醒 談「婦人欄 すらりと均整されて伸びた四肢としまつた肉、柔かい骨組」読売新聞 1929.10.7
- 小杉未醒「絵の旅 彦山（全7回）」
大阪毎日新聞 1930.1.5～11
*福岡（東西文化社）39～42号 1930.2～5/『彦山』
- 小杉放庵「〔短歌〕英彦山」
スバル 2巻2号 1930.2
- 小杉放庵「南風楼説奇」
サンデー毎日 9年6号 1930.2.2
*『旅窓読本』
- 小杉放庵「今昔位付け」
春陽会雑報 第八回展覧会第一号 1930.4
- 小杉放庵「〔短歌〕旅にして歌ふ」
スバル 2巻4号 1930.4
- 小杉放庵「唐手伝」
文芸春秋 8巻6号 1930.6
*『工房有閑』/『工房小閑』/空手研究社 編『空手研究 第1輯』1939
- 小杉放庵「新緑を懐ふ」
サンデー毎日 9年25号 1930.6.1
*『工房有閑』
- 小杉未醒 談「私の修学時代」
美術新論 5巻7号 1930.7
- 小杉放庵「飛行機」週刊朝日 18巻13号 1930.9.21
*『工房小閑』
- 小杉放庵「〔短歌〕近江の秋」
スバル 2巻11号 1930.11
- 小杉放庵「逢坂山」
浮世絵新誌 14号 1931.1
*『琵琶湖をめぐる』
- 放庵「曲翠一家」
アトリエ 8巻1号 1931.1
*『琵琶湖をめぐる』
- 小杉放庵「白峰（「四国山水録」の一）」
芸術 9巻3号 1931.1.25
- *『旅窓読本』
- 小杉放庵「香宗雑記（上）（「四国山水録」の二）」
芸術 9巻4号 1931.2.5
*『旅窓読本』
- 小杉放庵「香宗雑記（下）（「四国山水録」の三）」
芸術 9巻5号 1931.2.15
*『旅窓読本』
- 小杉放庵「浦戸（「四国山水録」の四）」
芸術 9巻6号 1931.2.25
*『旅窓読本』
- 小杉放庵「曾遊の地を語る 伊吹山」
美之國 7巻2号 1931.2
*『琵琶湖をめぐる』
- 小杉放庵「展覧会の財政」
春陽会雑報 第九回展覧会第一号 1931.4
- 小杉生「巴里の民国画家」
アトリエ 8巻4号 1931.4
- 小杉放庵「竹生島の一夜」
美術新論 6巻4号 1931.4
*『琵琶湖をめぐる』
- 小杉未醒「私の鼯鼠集」
モダン日本 2巻4号 1931.4
- 放庵「画題解説 竹林七賢」
アトリエ 8巻5号 1931.5
*『草画随筆 満鮮と支那』
- 小杉放庵「画室めぐり『娘の画像』」
国際写真情報 10巻5号 1931.5 頁ノンブルなし
- 放庵「画題解説 寒山拾得」
アトリエ 8巻6号 1931.6
*『草画随筆 満鮮と支那』
- 放庵「画題解説 瀟湘八景」
アトリエ 8巻7号 1931.7
*『草画随筆 満鮮と支那』
- 小杉放庵「〔短歌〕土佐の海」
スバル 3巻2号 1931.7
- 放庵「画題解説 列仙」
アトリエ 8巻8号 1931.8
*『草画随筆 満鮮と支那』
- 小杉放庵「山中温泉の空想」
春泥 18号 1931.8
- 小杉放庵「〔短歌〕日光山詞」
スバル 3巻9号 1931.9
- 小杉放庵・堂本印象・橋本閑雪・平福百穂・小川芋銭・結城素明・中川一政・津田青楓 画、村松梢風 著「唐詩選絵巻」
サンデー毎日 10年40号 1931.9.6
*村松梢風『続本朝画人伝』1936
- 小杉未醒「古美術と新美術」
美術新論 7巻1号 1932.1
- 小杉放庵「九州南北（全20回）」
福岡日日新聞 1932.1.1 朝刊、1月5,7,12,13,19,20,23,24,26日、3月29,30,31日、4月1,2,3,5,6,7,8日各夕刊
①ひれふる山 ②伝説 ③呼子 ④月見船 ⑤七ツ釜 ⑥名護屋城趾 ⑦阿久根の鶴 ⑧桜島 ⑨吾平山陵 ⑩桜島⑪志布志 ⑫志布志 ⑬枇榔嶋 ⑭山宮 ⑮油津 ⑯耶馬溪秘境 ⑰耶馬溪秘境の二 ⑱耶馬溪秘境の三 ⑲柳河水郷の一 ⑳柳河水郷の二
*『旅窓読本』/「⑥名護屋城趾」のみ再録：『名護屋城詞華集』1963
- 小杉未醒「私の絵」
美術新論 7巻2号 1932.2
- 小杉放庵「民謠」
文芸春秋 10巻2号 1932.2
- 小杉未醒「伝統打破の気運と東洋美術の精髓」
台湾日日新報 1932.2.22
- 小杉未醒 談「春陽会展に就て」

美之国 8 卷 6 号 1932.6
小杉未醒 ほか「〔俳句集〕盛夏集」
アトリエ 9 卷 8 号 1932.8
小杉放庵・前田青邨・中村大三郎・橋本閑雪・堂本印象・富田溪仙・
石井鶴三「万葉集絵巻」サンデー毎日 11 年 44 号 1932.9.18
小杉放庵「萬瀑洞の一日（朝鮮金剛山日記）」
美術新論 7 卷 12 号 1932.12
小杉放庵 談「水墨に親しみて」
美之国 8 卷 12 号 1932.12
小杉放庵「〔講演筆記〕近世の南画」
学友会誌（帝国美術学校校友会）2 号 1932.12
小杉放庵「〔アンケート〕世界からなくしたいもの」
婦人之友 27 卷 1 号 1933.1
小杉放庵「冬は雪国（一）がんがら穴」
東京朝日新聞 1933.2.15
*『日本の十和田湖と青森の山水』
小杉放庵「冬は雪国（二）三十六湖」
東京朝日新聞 1933.2.16
*『日本の十和田湖と青森の山水』
小杉放庵「冬は雪国（三）荷馬車の客」
東京朝日新聞 1933.2.17
*『日本の十和田湖と青森の山水』
小杉放庵 談「谿君の論を読めば」
アトリエ 10 卷 4 号 1933.4
※谿伊之助について
小杉放庵「平野人森田恒友（全 2 回）」
都新聞 1933.4. 12～13
*美術新論 8 卷 5 号 1933.5/『工房小閑』/森田恒友『画生活
より』1939
放庵「森田恒友氏追悼の記 平野人の水墨」
アトリエ 10 卷 5 号 1933.5
小杉未醒 談「水墨画の製作と鑑賞」
美之国 9 卷 5 号 1933.5
小杉放庵「噂の春陽会」
アトリエ 10 卷 6 号 1933.6
小杉放庵「〔俳句〕安土寺留別」（田澤騎士選「美之国俳壇 晩春初
夏」のうち）美之国 9 卷 6 号 1933.6
小杉放庵「林間独酌の人」
短歌研究 2 卷 7 号 1933.7
※吉井勇について
小杉放庵「安土山日記」
短歌研究 2 卷 7 号 1933.7
*『現代随筆全集』第 9 卷 1935／『工房小閑』1934
小杉放庵「旅 いくぢの浜」
読売新聞 1933.7.14
小杉放庵・石井鶴三・堂本印象・小川芋銭・川端龍子・橋本閑雪・
前田青邨「〔奥の細道〕画譜」サンデー毎日 12 年 40 号
1933.9.3
吉井勇 歌、小杉未醒 画「佐渡スケッチ 外海府 二つ甕の石門」
改造 15 卷 9 号 1933.9 p.94
吉井勇 歌、小杉未醒 画「佐渡スケッチ 両津の鴨湖」
改造 15 卷 9 号 1933.9 p.95
小杉放庵「〔俳句〕哭白田居士（田澤騎士選「初冬情趣」のうち）」
美之国 9 卷 12 号 1933.12
※平福百穂について
放庵「歌人百穂」
みづゑ 346 号 1933.12
小杉放庵「秋田詠草」
秋田魁新報 1934.1.9 夕刊
小杉放庵「草山（放庵歌集より）」
美之国 10 卷 2 号 1934.2
放庵「我が好む画人」
アトリエ 11 卷 2 号 1934.2
※横山大観、福田平八郎について

小杉放庵「秋田の炬燵」
芸術 12 卷 6 号 1934.2.25
*『旅窓読本』
小杉放庵「秋田おばこの歯と手」
中央美術 復興 8 号 1934.3
小杉放庵「〔アンケート〕私の健康法」
美術 9 卷 4 号 1934.4
放庵「水墨平野人」
春陽会雑報 第拾貳回展覧会号 1934.4
※森田恒友について
*抄録：アトリエ 11 卷 7 号 1934.7
放庵「転向」
春陽会雑報 第拾貳回展覧会号 1934.4 p.5
小杉放庵「満洲古譚（全 2 回）」
芸術 12 卷 10～11 号 1934.4. 5,15
*『草画随筆 満鮮と支那』/『爐』
放庵「画題解説 飲中八仙」
アトリエ 11 卷 7 号 1934.7
小杉放庵「籠鳥記」
新潮 31 年 7 号 1934.7
*『工房小閑』
放庵「画題解説 飲中八仙」
アトリエ 11 卷 8 号 1934.8
小杉放庵「竹田翁二三」
中央美術 復興 15 号 1934.10
小杉放庵「風景を壊ふ横暴者」
国論（国論社）1934.11
小杉未醒「〔アンケート〕心を撲たれた南画」
南画鑑賞 4 卷 1 号 1935.1
小杉放庵「壁画の描き方」
芸術日本 3 卷 2 号 1935.2
小杉放庵「刀剣」
塔影 11 卷 2 号 1935.2
放庵「モデル」
春陽会雑報 第 13 回展覧会号 1935.4
小杉放庵「略筆一過」
阿々土 別巻 2 1935.4
放庵「谷の新緑」
サンデー毎日 14 年 23 号 1935.5.5
小杉放庵 談「帝国美術院改組の問題（全 2 回）」
都新聞 1935.5.30～31
小杉未醒「僕は参与官ではない」
美之国 11 卷 6 号 1935.6
※帝展改組について
小杉放庵「〔アンケート〕思ひ出の旅 あこがれの地」
大阪朝日新聞 1935.6.20 p.5
小杉放庵「硯墨論」
中央公論 50 年 7 号（572 号）1935.7
小杉放庵「ひのえまたの人」
婦人之友 29 卷 7 号 1935.7
*『旅窓読本』※再録にあたり文末に短歌が追加されている
小杉放庵「新帝展 一日一人」
東京朝日新聞 1935.7.2
小杉放庵「『藤島武二画集』」
東京朝日新聞 1935.7.7
小杉放庵 談「夏の女を語る（6）世界一の夏美人は印度の女に限
る」東京毎夕新聞 1935.7.17 p.3
小杉放庵「私の文展始末 「水郷」「豆の秋」」
美之国 11 卷 8 号 1935.8
小杉放庵「北辺游歴雑詠」
美之国 11 卷 10 号 1935.10
小杉放庵「陸路の男鹿半島」
旅と伝説 8 年 10 号（94 号）1935.10
放庵「酒談」

アトリエ 13 巻 1 号 1936.1
 * 美術クラブ 14 号 1938.1/日本醸造協会雑誌 34 巻 8 号 1939.8
 小杉放庵「〔短歌〕九州閩武放送その他」
 遍路（遍路社）2 巻 1 号 1936.1
 小杉放庵「山中秋意」
 アトリエ 13 巻 2 号 1936.2
 小杉放庵「〔アンケート〕富士山にケーブルカー架設の可否」
 国立公園 8 巻 2 号 1936.2 p.13
 小杉放庵「〔短歌〕従軍記者回想の歌」
 遍路 2 巻 2 号 1936.2
 * 『歌文集 山居』収録に際し、収録されなかった短歌、歌い直された短歌、新たに歌われた短歌がある。
 放庵「〔短歌〕山花集」
 遍路 2 巻 2 号 1936.2
 小杉放庵「早春賦」
 改造 18 巻 3 号 1936.3
 放庵「〔短歌〕題花鳥画冊」
 阿々土 11 号 1936.3
 小杉放庵「私の晩酌」
 実業の日本 39 巻 6 号 1936.3
 放庵「団体」
 春陽会雑報 第 14 回展覧会号 1936.4
 小杉放庵半禿「寒巖さんを憶ふ」
 美之国 12 巻 5 号 1936.5
 ※石川寒巖について
 小杉放庵「〔短歌〕四国山陽」
 遍路 2 巻 4 号 1936.6
 小杉放庵「ダブルス必勝法」
 婦人之友 30 巻 8 号 1936.8
 小杉放庵「墨のはなし」
 塔影 12 巻 9 号 1936.9
 小杉放庵・藤島武二・石川寅治・桑重儀一・安井曾太郎・小柴錦侍・金山平三・成田隆吉・牧野虎雄・島津一郎・薬師寺主計・片岡銀蔵・田中松太郎・阿以田治修・大久保作次郎・柚木久太「満谷国四郎追悼座談会（速記録一部抜萃）」美術 11 巻 9 号 1936.9
 小杉放庵「鳥屋場の数日」
 野鳥 3 巻 9 号 1936.9
 * 『春陽会随筆五人』1940/『爐』
 小杉放庵「支那の武器など」
 文芸春秋 14 巻 9 号 1936.9
 小杉放庵・牧野虎雄・藤森順三「美術評論座談会（其四）放庵・虎雄放談会」美術評論 5 巻 6 号 1936.9
 小杉放庵「〔短歌〕満洲」
 遍路 2 巻 8 号 1936.12
 小杉放庵「諸国見聞記」
 週刊朝日 31 巻 6 号 1937.1.17
 小杉放庵・織田萬・登張竹風・中村清二・藤島武二・本多静六「春らしい閑談会」文芸春秋 15 巻 2 号 1937.2
 横川毅一郎「芸談を聴く（3）小杉放庵氏」
 アトリエ 14 巻 3 号 1937.3
 小杉放庵「〔アンケート〕私の疲労回復法」
 実業の日本 40 巻 7 号 1937.4
 小杉放庵「宇都宮回想（全 3 回）」
 都新聞 1937.7. 17～19
 * 帝国美術（帝国美術社）2 巻 8 号 1937 /『春陽会随筆五人』1940/『爐』
 小杉放庵「近遊処々」
 サンデー毎日 16 年 37 号 1937.7.25
 小杉放庵「満州に行く（全 2 回）」
 東邦美術 1 巻 6～7 号 1937. 7～8
 * 『草画随筆 満鮮と支那』
 小杉放庵「事変の数日」
 遍路（遍路社）3 巻 5 号 1937.9

小杉放庵「〔短歌〕羽前の山水」
 遍路（遍路社）3 巻 5 号 1937.9
 小杉放庵「北平回想」
 ホーム・ライフ（大阪毎日新聞社）3 巻 10 号 1937.10 p.56
 小杉放庵 談「支那断片」
 塔影 13 巻 11 号 1937.11
 ※戦争画について
 * 『画室の言葉』1939
 小杉放庵「四十から変った人」
 美之国 13 巻 11 号 1937.11
 ※岸浪百草居について
 小杉放庵「南京を思ひ出す」
 文芸春秋 15 巻 14 号 1937.11
 * 「南京」『支那紀行』1940
 小杉放庵「頸城の山」
 風景（風景協会）4 巻 12 号 1937.12
 * 『歌文集 山居』/『日本の風土記 北陸路』1959
 小杉放庵「日露従軍画家の回想」
 美術時代 2 巻 1 号 特集：明治の戦争画 1938.1
 小杉放庵「墨」
 美之国 14 巻 1 号 1938.1
 小杉放庵「山西江南七首」
 改造 20 巻 1 号 1938.1
 小杉放庵「養生」
 芸術 16 巻 1 号 1938.1.5
 * 『工房有閑』/『工房小閑』
 小杉放庵「流るゝ縄」
 美之国 14 巻 3 号 1938.3
 放庵 談「陶枕山水」
 アトリエ 15 巻 3 号 1938.3
 * 『春陽会随筆五人』1940
 小杉放庵「書に就いて 一字千金」
 美術時代 2 巻 2 号 1938.3
 小杉放庵「こんなオリンピックが見たい」
 東京朝日新聞 1938.3.30
 小杉放庵「関東風物点描 おだしろの原 栃木」
 美之国 14 巻 4 号 1938.4
 * 『春陽会随筆五人』1940
 小杉放庵「省三氏の個展」
 読売新聞 1938.4.2 夕刊
 ※山崎省三について
 小杉放庵「閑古鳥」
 婦人之友 32 巻 5 号 1938.5
 小杉放庵・足立源一郎・石井鶴三・岸浪百草居・中川一政「五画伯風景放談」旅（日本旅行倶楽部）15 巻 6 号 1938.6 pp.96-104
 小杉放庵「所感片々」
 南画鑑賞 7 巻 7 号 1938.7
 ※池大雅について
 小杉放庵「尾瀬の七月」
 週刊朝日 34 巻 6 号 1938.8
 小杉放庵「曾遊佐渡」
 風景（風景協会）5 巻 8 号 1938.8
 小杉放庵「水から朝鮮への連想」
 通信協会雑誌 360 号 1938.8
 小杉放庵・矢野橋村・管楯彦〔出席者〕、高山辰三・松村徹三〔雑誌社〕「墨人会座談会」美術と趣味 3 巻 8 号 1938.8
 小杉放庵 談「芋銭老を憶ふ」
 東京日日新聞 1938.12.21 夕刊
 * 美術 14 巻 2 号 1939.2/『小川芋銭 回想と研究』1988/『日本美術院百年史』7 巻 1998
 放庵「白羊伝（全 2 回）」
 アトリエ 16 巻 1～2 号 1939.1～2
 ※倉田白羊について
 * 『春陽会随筆五人』1940/『放庵画談』

放庵「芋銭伝（全2回）」
美之国 15 卷 2～3 号 1939.2～3
※小川芋銭について
*『歌文集 山居』/『放庵画談』1980
吉井勇・小杉放庵・柳原緑風・石川幸三郎・西村醉香・吉井友春「吉井勇放庵緑風座談会」銀座（銀座社）7 卷 4 号 1939.4 pp.15-16
放庵「白羊伝の終篇」
近代風景 28 号 1939.5
※倉田白羊について
放庵「桃」
近代風景 28 号 1939.5
小杉放庵「雅号の由来」
東京朝日新聞 1939.5.27 夕刊
小杉放庵「〔短歌〕芋銭をなげく」
文芸日本（文学と美術社）1 号 1939.6
小杉放庵・朝倉文夫・荒木十畝・内田清之助・兼堂清佐・清棲幸保・黒田長禮・杉村楚人冠・鷹司信輔・西澤笛畝・坊城俊良・堀内讃位・柳田国男・山階芳麿・中西悟堂「野鳥清談（野鳥の会創立満五周年記念座談会）」野鳥 6 卷 6 号 1939.6
小杉放庵 談「丸坊主の弁 長髪は蛮烟瘴霧」
週刊朝日 36 卷 3 号 1939.7.16
小杉放庵「日本の夏の暑さ」
美術評論 8 卷 4 号（63 号）1939.8
小杉放庵「湯西谷」
風景（風景協会）6 卷 9 号 1939.9
*『歌文集 山居』/『故郷』※改稿あり
小杉放庵「馬堤曲について」
阿々土 28 号 1939.10
※珊瑚会出品作について
小杉放庵 ほか「諸家推讃の言葉」
阿々土 28 号 1939.10
小杉放庵「国木田独歩」
中央公論 54 年 10 号（625 号）1939.10
小杉放庵「白羊寺海印寺」
造形芸術 2 卷 1 号 1940.1
*『歌文集 山居』
小杉放庵「益齋像」
造形芸術 2 卷 3 号 1940.3
小杉放庵「爐」
婦人之友 34 卷 3 号 1940.3
小杉放庵「會津博士の歌」
美之国 16 卷 7 号 1940.7
※會津八一について
小杉放庵・佐藤一英・宍戸儀一・佐佐木千之・藤田健次「小杉放庵閑談会」芸園 9 卷 6 号 1940.7
*『定本 吉田一穂全集』別巻
小杉放庵 談「山童——私の郷里（16）日光」
婦人之友 34 卷 9 号 1940.9
*抄録：『歌文集 山居』
小杉放庵「揚子江の詩蹟」
月刊茶わん 10 卷 10 号（117 号） 1940.10
放庵「〔短歌〕古事記を読みて歌ふ」
美術と趣味 5 卷 11 号 1940.11
小杉放庵「石」
美之国 17 卷 1 号 1941.1
小杉放庵「〔アンケート〕近頃快心の事」
婦人之友 35 卷 1 号 1941.1
小杉放庵「西湖の春」
風景（風景協会）8 卷 5 号 1941.5
小杉放庵「〔短歌〕旅中の柳」
文芸春秋 19 卷 6 号 1941.6
小杉放庵「赤倉より」
野鳥（日本野鳥の会）8 卷 8 号 1941.8

小杉放庵「開荒」
文芸春秋 19 卷 9 号 1941.9
*『随筆 帰去来』
小杉放庵「開墾読後」
橄欖 20 卷 9 号 1941.9
小杉放庵「三十一字雑言」
画論 1 号 1941.9
小杉放庵「佐藤博士の俳句」
建築世界 35 卷 9 号 1941.9 グラフ頁
※佐藤功一について
小杉放庵「我が修業時代（十三歳から二十三歳まで）」
新若人 2 卷 7 号 1941.10 pp.162-169
*栗本昭 編『わが若き日』（東京講演会出版部 1943）に「十三から二十三まで」として収録。デアル調からデスマス調へ改稿されている。
小杉放庵「砲弾と泰然」
日本美術 1 卷 1 号 1942.5
小杉放庵「独歩社の頃」
婦人画報 462 号 1942.8
小杉放庵「〔短歌八首〕工房独語」
中央公論 57 年 9 号（661 号）1942.9 p.113
小杉放庵「新赤倉雑事」
風景（風景協会）9 卷 10 号（97 号）1942.10
小杉放庵「水と茶」
サンデー毎日 22 年 2 号 1943.1.17
小杉放庵「二首の連想——愛国百人一首から」
日本美術 2 卷 2 号 1943.2
小杉放庵「新八景の回想」
風景（風景協会）10 卷 2 号（101 号） 特集：「新日本八景」選後所感 1943.2
小杉放庵「赤壁の賦を読みつゝ」
古美術（茶わん改題誌）13 卷 6 号（149 号）1943.6
*『随筆 帰去来』
小杉放庵「不同舎の人々（一）」
日本美術 2 卷 8 号 1943.8 pp.37-38
*『随筆 帰去来』/『放庵画談』
小杉放庵「虫干し」
政界往来 14 卷 9 号 1943.9
小杉放庵「不同舎の人々（二）」
日本美術 2 卷 9 号 1943.10pp.47-49
*『随筆 帰去来』/『放庵画談』
小杉放庵「山居——鳥、草木、月」
生活美術 3 卷 10 号 1943.10
小杉放庵「凜然たる芭蕉翁」
画論 26 号 1943.10
*『芭蕉研究論稿集成』第 2 卷 1999
小杉放庵「不同舎の人々（三）」
日本美術 2 卷 10 号 1943.11 pp.41-43
*『随筆 帰去来』/『放庵画談』
小杉放庵「テニスの自画像」
日本庭球 2 卷 12 号（223 号）1943.12
小杉放庵「〔短歌〕鷺の宮神楽」
短歌研究 13 卷 2 号 1944.2
小杉放庵 談「服装は復古する 共栄園へもモンベ新出」
読売新聞 1944.3.15
小杉放庵「原色版口絵について 金太郎」
美術 3 号 1944.3・4 合併号
小杉放庵「元史の元寇」
東亜文化園 3 卷 9 号 1944.9
小杉放庵「国術館」
文芸春秋 22 卷 12 号 1944.12
小杉放庵「よき中国人」
月刊毎日 2 卷 2 号 1945.2
*石川巧 編『幻の戦時下文学 『月刊毎日』傑作選』2019

小杉放庵「〔短歌〕戦ひを思ふ」
 乗合船 1 輯 1945.5
 小杉放庵「〔短歌六首〕本土に迫る」
 新潟日報 1945.6.14 p.2
 小杉放庵「琉球回想」
 東京新聞 1945.6.28
 *『新聞記事にみる沖縄戦 翻刻資料集』2007
 小杉放庵「〔短歌六首〕田父吟」
 新潟日報 1945.7.2 p.2
 小杉放庵「〔短歌〕北京五首」
 月刊毎日 2 巻 8 号 1945.8
 *『歌文集 石』※異同あり/石川巧 編『幻の戦時下文学 月刊毎日』傑作選』2019
 小杉放庵「東京と山居」
 秋田魁新報 1945.10.29
 *『随筆 帰去来』
 小杉放庵「〔短歌〕疎開の孫」
 光（光文社）1 巻 3 号 1945.12
 *『歌文集 石』
 小杉放庵「阿武隈川」
 月刊にひがた（新潟日報社）1 巻 1 号 1946. 1
 *『随筆 帰去来』
 小杉放庵「佐渡八首」
 新潟短歌 1 巻 1 号 1946.2
 小杉放庵「良寛和尚」
 文芸冊子（上越文化懇話会）1 年 2 冊 1946.2
 *『随筆 帰去来』
 小杉放庵「旅のなげ」
 光（光文社）2 巻 3 号 1946.3
 *『随筆 帰去来』
 小杉放庵「爐」
 随筆四季（白井書房）第一輯春之部 1946 年春
 *『随筆 帰去来』
 小杉放庵「短歌五首」
 短歌研究 3 巻 2 号 1946.3
 小杉放庵「民謡発掘」
 月刊にひがた（新潟日報社）1 巻 4 号 1946.4
 *『随筆 帰去来』
 小杉放庵「山居二十首」
 乗合船 2 輯 1946.5
 小杉放庵「五月の春」
 北方風物（札幌市・北日本社）1 巻 5 号 1946.5
 *『随筆 帰去来』
 小杉放庵「兼山の縄」
 日本短歌（日本短歌社）15 巻 4 号 1946.5
 *『随筆 帰去来』/『放庵画集』1960/『放庵画談』
 小杉放庵「美術日本」
 新世代（新世代社）1 巻 2 号 1946.6
 *『随筆 帰去来』/『放庵画集』1960/『放庵画談』
 小杉放庵「草の味」
 自然と四季（日新書院）1 巻 1 号 1946.6
 *『随筆 帰去来』
 小杉放庵「上州二日」
 新生日本（大阪新聞社）221 号 1946.6
 *『随筆 帰去来』
 小杉放庵「〔短歌七首〕石の歌」
 新潟短歌 1 巻 4 号 1946.5・6 合併号
 小杉放庵「葉書照会」
 新生日本（大阪新聞社）222 号 1946.7
 小杉放庵「石上人語」
 三彩 1 号 1946.9 pp.29-30
 小杉放庵「〔短歌〕山居の秋」
 美之国 復刊 1 号 1946.12
 小杉放庵「茶事」
 文芸春秋 25 巻 1 号 1947.1
 *『随筆 帰去来』
 小杉放庵「へそかぼちゃ」
 朝日新聞 1947.3.18
 *『随筆 帰去来』
 小杉放庵「〔アンケート〕一、あなたが好意を持たれる政治家は？
 二、その理由」文芸冊子（上越文化懇話会）2 年 3 冊 1947.4
 小杉放庵「鎌」
 女性公論 1947.3・4 合併号
 *『随筆 帰去来』
 小杉放庵「草苅歌四首」
 農村文化（社団法人農山漁村文化協会）26 巻 2 号 1947.3・4
 合併号
 小杉放庵「手習ひ」
 オール美術 9 号 1947.5
 *『随筆 帰去来』/羽後公論 152 号 1963.10/『放庵画談』
 小杉放庵「亡友帖」
 三彩 9 号 1947.7
 ※森田恒友・小川芋銭・倉田白羊・山本鼎・牧野虎雄について
 *『随筆 帰去来』
 小杉放庵「老八首」
 短歌雑誌 1 巻 2 号 1947.8
 小杉放庵「〔アンケート〕反射能欄 我々がしたがひ行つてゐる習
 俗の中で、直ちに廃めたいものは、或は保存したいものは
 …？」玄想（養徳社）1 巻 5 号 1947.8
 柴田天馬 著、小杉放庵 画「詳訳 西遊記」
 苦楽 2 巻 9 号 1947.9
 小杉放庵「〔短歌〕はぐさ」
 農民短歌（新潟県・新日本農民歌人連盟）1 巻 6 号 1947.12
 小杉放庵「〔短歌〕東京の感傷」
 道程（新潟県・道程社）1 号 1948.1
 小杉放庵「酒の歌十二首」
 手帖（甲文社）第 2 冊 1948.1
 小杉放庵「〔アンケート〕歌壇の新人は誰か」
 真人（真人社）23 巻 1 号（241 輯）1948.1
 小杉放庵「雪三首」
 新潟短歌 2 巻 1 号 1948.1
 小杉放庵「消息」
 新潟短歌 2 巻 1 号 1948.1
 小杉放庵「石」
 美術探求 4 号 1948.2
 *『爐』/『放庵画談』
 小杉放庵「消息」
 新潟短歌 2 巻 2 号 1948.2
 小杉放庵「顔」
 馬酔木 27 巻 4 号 1948.4
 *『爐』/『放庵画談』
 「小杉放庵先生よりのうれしい便」
 にいがた文化（三輪産業株式会社文化部）3 巻 4 号 1948.4
 小杉放庵「莠」
 真日本（大阪市・真日本社）3 巻 1 号（10 号） 1948.5
 小杉放庵「切断面」
 随筆人 15 輯 1948.5
 *『爐』/『放庵画談』
 小杉放庵「鳥の歌」
 野鳥 13 巻 3 号 1948.5・6 合併号
 小杉放庵「鼎伝」
 アトリエ 259 号 1948.7
 ※山本鼎について
 小杉放庵「〔短歌〕赤くら高原四季」
 月刊にいがた（新潟日報社）3 巻 32 号 1948.8
 小杉放庵「裏日光」
 国立公園 復刊 1 号 1948.8
 小杉放庵「〔アンケート〕好きな土地と季節、植物、俳句（三）」

藍（藍香社）3巻2号 1948.11
小杉放庵「定規」
三彩 25号 1948.12
＊『爐』／『放庵画集』／『放庵画談』
小杉放庵「髯」
美術探求 3巻1号 1949.1
＊『爐』
小杉放庵「〔短歌〕新春詠草欄 元旦口宣」
婦人世界（ロマンス社）3巻1号 1949.1
小杉放庵「〔アンケート〕私の夢」
サンデー毎日 28年1・2号 1949.1. 2・9 合併号
小杉放庵「山居四首」
新潟短歌 3巻4号（24号）1949.4
小杉放庵「今でも惜しく」
三彩 31号 特集：今村紫紅 1949.6
＊『日本美術院百年史』4巻 1994
小杉放庵「〔アンケート〕初恋の地」
旅（日本交通公社）23巻6号 1949.6
「小杉放庵を囲む「芭蕉を語る会」」
北陸（上越文化懇話会）4年2冊 1949.8
小杉放庵「南画文人画」
三彩 34号 1949.9
＊『爐』／『放庵画談』
小杉放庵「鼻緒と空腹」
中央公論 65年1号 1950.1
小杉放庵「わが師匠 剣道指南・八幡十郎先生」
アサヒグラフ 1330号 1950.2.15
小杉放庵「遊女も寝たり」
馬酔木 29巻3号 1950.3
＊『歌文集 石』
小杉放庵「禿頭黒頭」
春陽会帖 第27回展号 1950.4
小杉放庵「日本の婦人」
美術手帖 32号 1950.7
小杉放庵「秋田の湖神・山神」
旅（日本交通公社）24巻11号 1950.11
＊「湖神山神」『歌文集 石』
小杉放庵「南画展」
三彩 50号 1951.1
＊『爐』／『放庵画談』
小杉放庵「私はこうしてしつけられた 山中の一軒屋」
教育創造（高田教育研究会）4巻2号 1951.2
＊『爐』
小杉放庵「墨と筆」
春陽帖 第28回展号 1951.4
＊『歌文集 石』／『放庵画談』
小杉放庵「山水奉仕客奉仕」
国立公園 復刊18号 1951.5
＊『故郷』
小杉放庵「永福居士へ御返事」
文芸春秋 30巻1号 1952.1
＊『爐』／『中川一政・小杉放庵二人展』2000
小杉放庵「母の強さ」
キング 28巻6号 1952.6
小杉放庵「河童まつり」
婦人之友 46巻8号 1952.8
＊『歌文集 石』／『日本の風土記 北陸路』1959
小杉放庵「〔短歌〕あけろ山村（三首） 秋田（三首） 山居（二首）」
書林の友（新甲島）4号 1952
小杉放庵「海北友松のこと」
芸術新潮 4巻1号 1953.1
小杉放庵 絵、生方たつゑ 歌「雪の未来」
短歌研究 10巻1号 1953.1 p.39
※画中に小杉の短歌あり

小杉放庵「一つ目」
東京新聞 1953.1.3
小杉放庵「〔アンケート〕1.過ぐる半世紀の歴史の中にどんな進歩
のあとを見出されますか 2.来るべき半世紀にどんな期待を
寄せられますか」婦人之友 47巻4号 1953.4
小杉放庵「八年目」
春陽会帖 第30回展号 1953.4
＊『歌文集 石』
小杉放庵・石井鶴三・足立源一郎・中川一政・加山四郎・高田力蔵・
三雲祥之助・倉田三郎・木村荘八「座談会 春陽会三十年を顧
みて」春陽会帖 第30回展号 1953.4
小杉放庵「夏草や」
俳句（角川書店）2巻5号 1953.5
小杉放庵「病に処する」
俳詩と画（文は人なり会）8巻5号
追悼：岸浪百草居 1953.5
＊『歌文集 石』
小杉放庵・會津八一「対談 新潟の近況」
週刊文化（新潟県高田市・週刊文化新聞社）1953.8.20
＊『會津八一全集』第12巻 1984
小杉放庵「〔短歌〕山荘閑」
新潟短歌 7巻11号 1953.11
小杉放庵「鼓村の話」
高志人（富山県・高志人社）19巻3号 1954.3
※鈴木鼓村について
小杉放庵「四国から近江路へ」
旅（日本交通公社）28巻3号 1954.3
＊『爐』／『現代紀行文学全集 第五巻 南日本篇』1958／『現
代日本紀行文学全集 南日本編』1976
放庵「春陽チーム」
春陽帖 第31回展号 1954.4
＊『爐』
「小杉放庵」（高田力蔵「九州と春陽会」のうち）
春陽帖 第31回展号 1954.4
小杉放庵「まんざらこの話」
朝日新聞 1954.7.18
＊『爐』
放庵「八頭身」
新潟短歌 8巻8号（87号）1954.8
「酒仙告知板 日本画家 小杉放庵氏」
アサヒグラフ 1584号 1955.1.5
小杉放庵「正月の羽織」
短歌 2巻2号 1955.2
放庵「歌六つ」
春陽帖 第32回展号 1955
小杉放庵「あだ名」
書道考 1955.4
小杉放庵「金太郎」
婦人之友 49巻9号 1955.9
小杉放庵「温泉の話」
政界往来 21巻9号 1955.9
小杉放庵「弓の話」
新論 1巻4号 1955.10
小杉放庵「山の暮し」
三彩 68号 1955.10
小杉放庵「怨詞」
新潟短歌 9巻10号（101号）1955.11
小杉放庵「山居のくいもの」
読書春秋 6巻12号 1955.12
小杉放庵「秋の歌（十首）」
禪文化（花園大学禪文化研究所）1巻3号 1955.12
小杉放庵「盗墓」
書道考 1956.2
小杉放庵「佛地日光」

日光山輪王寺 5 号 1956.4
 * 日光山輪王寺 20 号 1963.11/日光山輪王寺 25 号 1966.11
 小杉放庵「なまけもの」
 春陽帖 第 33 回展号 1956.4
 小杉放庵「赤倉たより」
 イソラベラ 11 号 1956.8
 小杉放庵「硯墨」
 三彩 79 号 1956.9
 小杉放庵「酒の歌」
 酒（酒の友社）4 巻 8 号 1956.9
 小杉放庵「芭蕉西行」
 大日光 7 号 1956.10
 小杉放庵「至道無難禪師集と公田翁」
 帰一（帰一協会）3 号 1956
 公田連太郎「語る人」小杉放庵・湯沢三千男・矢次一夫「聞く人」
 「禅道夜話 公田連太郎翁を囲む会」新国策（国策研究会）
 5 巻 2 号 1957.1
 小杉放庵「茶煙露語欄 消息（湊八枝宛）」
 新潟短歌 11 巻 1 号 1957.1
 小杉放庵「東京でおたより拝受…」
 新潟短歌 11 巻 2 号 秋艸道人會津八一追悼号 1957.2
 小杉放庵「十便図賞嘆」
 南画研究 1 巻 1 号 1957.3
 ※小杉未醒『アルス美術叢書 9 大雅堂』1926 からの再録
 小杉放庵「〔アンケート〕仕事と休息——いつも新鮮な生活をする
 ために」婦人之友 51 巻 4 号 1957.4 p27
 小杉放庵「高橋城司君へ」
 イソラベラ 15 号 1957.4
 小杉放庵「澄んだ静かさ」
 三彩 87 号 1957.5
 ※小林古径追悼
 小杉放庵「石のごとく水のごとく」
 イソラベラ 17 号 1957.8
 小杉放庵「孫共の歌」
 婦人之友 51 巻 10 号 1957.10
 小杉放庵「こんとん」
 墨のらくがき 4 巻 12 号（41 号）1957.12
 小杉放庵「〔短歌〕山居春秋」
 大法輪 25 巻 1 号 1958.1
 小杉放庵・記者「老作家旧談 放庵雑談」
 近代美術研究 1 巻 1 号 1958.2
 小杉放庵「雲のうた」
 春陽帖 第 35 周年記念号 1958.4
 小杉放庵「大観回想（全 2 回）」
 三彩 98,100 号 1958.4,10
 * 藤本韶三 編『横山大観』1959
 小杉放庵「諸家近信」
 野を歩む者 84 号 1958.5
 小杉放庵「ふるさと山」
 大日光 11 号 1958.10
 徳川夢声・小杉放庵「徳川夢声連載対談 問答有用（第 398 回）」
 小杉放庵「週刊朝日 63 巻 51 号（2047 号）1958.11.30
 小杉放庵「山姥」
 婦人之友 53 巻 1 号 1959.1
 小杉放庵「〔短歌〕山居日月」
 春陽帖 第 36 回展号 1959
 小杉放庵「日長うして少年の如く」
 大日光 12 号 1959.5
 小杉放庵「石」
 文芸たかだ 2 号 1959.7
 小杉放庵「酒と子と」
 萌春 69 号 1959.7
 小杉放庵「蛙七首」
 大法輪 26 巻 8 号 1959.8 pp.36-37

小杉放庵「おもろき歌（全 3 回）」
 信濃毎日新聞 1959.8.12～14
 小杉放庵「よかつたですな」
 みゆき（みゆき会）157 号 1959.10
 小杉放庵「便り」
 帰一（帰一協会）13 号 1959
 小杉放庵「〔短歌〕故人帖」
 春陽帖 第 37 回展号 1960.4
 小杉放庵「〔短歌〕山の春」
 大日光 14 号 1960.5
 小杉放庵「殺生」
 大法輪 27 巻 9 号 1960.9 pp.50-52
 小杉放庵「〔短歌〕山荘・夢」
 短歌研究 17 巻 9 号 1960.9 pp.122-123
 小杉放庵・池上浩山・富安風生・内本紅蓼・佐々木康人「芸林長語—
 放庵先生にものを聞く会—（一）」若葉（若葉社）377 号 1961.3
 pp.34-39
 小杉放庵・池上浩山・富安風生・内本紅蓼・佐々木康人「芸林長語—
 放庵先生にものを聞く会—（二）」若葉（若葉社）378 号 1961.4
 pp.34-38
 小杉放庵「〔短歌〕望郷感傷」
 大日光 16 号 1961.5
 小杉放庵「吉井勇氏の事ども」
 文学散歩（雪華社）8 号 1961.8
 小杉放庵「〔愛日抄〕寸描」
 若葉（若葉社）34 巻 8 号（382 号）1961.8
 小杉放庵「山居賦十二首」
 大法輪 28 巻 10 号 1961.10 pp.48-49
 小杉放庵「〔短歌〕山荘春秋」
 師と友 14 巻 1 号（147 号）1962.1
 放庵「石の歌八首」
 春陽帖 第 39 回展号 1962.4
 小杉放庵「〔短歌〕春日山居の賦」
 大日光 18 号 1962.5
 小杉放庵「問われるまゝに（1）安明荘」
 朝日新聞 1962.6.1
 小杉放庵「問われるまゝに（2）ふるさと」
 朝日新聞 1962.6.2
 小杉放庵「問われるまゝに（3）五百城先生」
 朝日新聞 1962.6.4
 小杉放庵「問われるまゝに（4）森田恒友」
 朝日新聞 1962.6.5
 小杉放庵「問われるまゝに（5）陶淵明」
 朝日新聞 1962.6.6
 小杉放庵「問われるまゝに（6）酒徒」
 朝日新聞 1962.6.7
 小杉放庵「問われるまゝに（7）天狗の面」
 朝日新聞 1962.6.8
 小杉放庵「公田翁のこと」
 帰一（帰一協会）20 号 1962.11
 小杉放庵「〔短歌〕3 月のうた」
 美術グラフ 12 巻 3 号 1963.3
 小杉放庵「〔短歌〕山居春閑」
 師と友 15 巻 3 号（161 号）1963.3
 小杉放庵「旅の歌十首」
 春陽帖 第 40 回展号 1963.4
 小杉放庵「天狗堂」
 大日光 20 号 1963.5
 小杉放庵「赤倉歌抄」
 大日光 21 号 1963.10
 小杉放庵「山びとの歌へる」
 春陽帖 第 41 回展号 1964.4
 小杉放庵「〔短歌〕日光歳時記（一）春」
 大日光 24 号 1965.5

長坂吉和「付注 会津八一書簡集—松井敬宛—（二）」
書論 19号 1981.11 pp.174-188
※1945.7.23 付松井敬宛小杉放菴書簡、1945.8.38 付松井敬宛
小杉放菴書簡
白井史朗「忘れ得ぬ人（11）内本宗韻 その二」
淡交 45巻5号 1991.5 pp.127-132
※年代不明内本宗韻宛小杉放庵書簡
* 白井史朗『昭和の茶道—忘れ得ぬ人—』1993
神山壯・大木礼子「荒井寛方への書簡」
氏家喜連川 歴史と文化 19号 2020.6 pp.81-75
※年代不明 8月6日付小杉未醒書簡
石川賢「所蔵資料研究—作家の手紙— 小杉放庵から池上浩山人宛
書簡（一）」
日本近代文学館 318号 2024.3 pp.12-13
石川賢「所蔵資料研究—作家の手紙— 小杉放庵から池上浩山人宛
書簡（二）」
日本近代文学館 319号 2024.5 p.16

Ⅱ 画集・展覧会図録・収蔵品図録

1 小杉が生前に刊行した画集

『東海道五十三次絵巻』
横山大観・下村観山・今村紫紅・小杉未醒
金尾文淵堂 1915.9
『未醒画贖』
飯田呉服店美術部 1917.10
『未醒邦画集』
中央美術協会 1922
『小杉放庵画集』
アトリエ社 1932.6
『放庵水墨』
日本橋三越本店〔会場〕1932.10
放庵「昭和七年十月三越本店の簡展図録に題す」
※第1回個展図録
『放菴水墨画冊』
日本橋三越本店〔会場〕1933.11
放庵「昭和八年十一月三越本店の簡展図録に題す」
※第2回個展図録
『放菴墨画 第三冊』
日本橋三越本店〔会場〕1934.10
放庵「挨拶文」
※第3回個展図録
『放菴画譜』
大阪高島屋〔会場〕1935.5
※大阪個展図録
『放菴花鳥冊』
日本橋三越本店〔会場〕1936.1
放庵「〔短歌〕題花鳥画冊」
※第4回個展図録
『放庵花鳥選』
日本橋三越本店〔会場〕1937.1
放庵「〔短歌〕題花鳥画冊四首」
※第5回個展図録
『木心放菴展観図録』
吉田白嶺・小杉放菴
大塚巧藝社〔発行〕大阪長堀橋高島屋〔会場〕1937.6
『放菴近作』
大阪高島屋画廊〔会場〕1939.2
※大阪個展図録
『近作十二』
大阪高島屋画廊〔会場〕1941
『放菴画選』
日本美術出版株式会社 1948.3

『放菴画伯十二ヶ月画帖』
日本漁網船具株式会社 1957.11
『小杉放菴』
朝日新聞社企画部〔編集発行〕1960.4
放庵「半世紀以上」/放庵画歴
※小杉放菴画業 60年展図録
『放庵画集』
三彩社 1960.6
小杉放庵「半世紀以上」「山人吟やく」「美術日本」「定規」
「兼山の縄」
『江南画冊』
栗原四郎〔発行〕東峰書院〔発売〕1960.12
別冊：小杉放庵「江南の回想」
* 中央公論美術出版（水谷清監修）1962.6
『春陽会三長老四季画帖』
石井鶴三・小杉放菴・中川一政
日本漁網船具株式会社〔編集発行〕1961.12
『平櫛田中・熊谷守一・小杉放菴 三合會展』
大阪なんば高島屋美術部画廊 1964.1

2 小杉をメインとする展覧会図録・目録・画集

『近代作家の回顧 小杉放庵・木村荘八・前川千帆・藤井浩祐』
国立近代美術館 1965
略歴・主要作品/出品目録
『小杉放庵遺作展』
万葉洞 1965.10
中川一政「放庵さんの事」/水谷清「今日好天」/出品目録
『小杉放菴』
出光美術館 1971
今泉篤男「小杉放菴の絵」/略歴
『脱俗の画人 小杉放庵展』
日本橋高島屋 1972.7
中川一政「脱俗の画人」*『中川一政・小杉放菴二人展』2000
小杉放庵画歴
『特別展示 小杉放菴展』パンフレット
出光美術館 1974.7
『小杉放菴水墨展』
万葉洞 1975.3
中川一政「小杉放庵水墨展」/小杉放庵略歴
『仙境に遊ぶ脱俗の画家 小杉放菴展』
栃木県立美術館 1978.2
小杉放菴「問われるまゝに」(再録)/小杉一雄「父 放庵居士」
無署名「作品解説 一日光東照宮境内（出光美術館蔵） 3—
べぼうの木（栃木県立美術館蔵） 4—婦人立像（栃木県立美
術館蔵） 5—水郷（東京国立近代美術館蔵） 6—スペイン風
景（出光美術館蔵） 8—アルハンブラの丘（出光美術館蔵）
9—ブルターニュ風景（個人蔵） 10—湖畔（個人蔵） 11—潮
来（個人蔵） 12—飲馬（個人蔵） 13—なかぐすくの丘（栃
木県立美術館蔵） 14—或る日の空想（個人蔵） 15—山幸彦
（ブリヂストン美術館蔵） 16—出関老子（出光美術館蔵）
18—採葉（大阪市立大学医学部付属病院蔵） 19—婦耕（個人
蔵） 20—敵島風景（個人蔵） 21—馬（個人蔵） 22—採果（み
のり）（個人蔵） 23—乳糜供養（個人蔵） 24—帰牧図（出光
美術館蔵） 26—山童嬉遊（太陽神戸銀行蔵） 25—羅摩物語
（東京国立近代美術館蔵） 27—山人（個人蔵） 28—鍾馗（個
人蔵） 30—飲中八仙（個人蔵） 31—秋二種（個人蔵） 33—
東海道五十三次絵巻（東京国立博物館蔵） 34—列仙屏風（個
人蔵） 35—桃源漁郎絵巻（個人蔵） 36—水荘訪客（個人蔵）
37—柳陰吹笛（個人蔵） 39—白衣婦人（出光美術館蔵） 40
—水辺（個人蔵） 41—採石（個人蔵） 42—田家訪客（個人
蔵） 43—楽人と踊子（個人蔵） 44—耶馬溪図（早雪）（栃木
県立美術館蔵） 45—雲山（出光美術館蔵） 46—田父醉帰（出

光美術館蔵) 47—托鉢僧図(個人蔵) 48—洗馬(日光東照宮蔵) 49—胡馬(蒙古馬)(出光美術館蔵) 50—芭蕉行脚之図(個人蔵) 51—奥の細道帖(個人蔵) 52—奥の細道一千住(個人蔵) 53—奥の細道一殺生石(個人蔵) 54—奥の細道一田一枚(個人蔵) 55—奥の細道一立石寺(栃木県立美術館蔵) 56—奥の細道一尿前(個人蔵) 58—前後赤壁賦(個人蔵) 59—前赤壁賦(個人蔵) 60—養鯉(出光美術館蔵) 61—平旦(個人蔵) 62—漁楽(個人蔵) 63—漁樵問答(山種美術館蔵) 64—荘子(出光美術館蔵) 65—白雨(出光美術館蔵) 66-71—寒山拾得(すべて個人蔵) 72—良寛(個人蔵) 73—陶淵明(個人蔵) 75—四睡(個人蔵) 76—小林面壁(個人蔵) 78—黄初平(出光美術館蔵) 79—虎溪三笑(個人蔵) 81—老子(個人蔵) 82—文覚と頼朝(個人蔵) 83—頼山陽(個人蔵) 84—田植(個人蔵) 85—獅子舞(個人蔵) 86—蟹角力(山種美術館蔵) 87—花咲爺(個人蔵) 88—金太郎(出光美術館蔵) 89—金太郎(個人蔵) 92—金太郎遊行(個人蔵) 93—大伴卿讃酒(出光美術館蔵) 94—天のうずめの命(出光美術館蔵) 95—瘤取(出光美術館蔵) 97—本朝道釈(出光美術館蔵) 98—続本朝道釈(出光美術館蔵) 99—古事記八題(出光美術館蔵) 100—西遊十題(出光美術館蔵) 101—曾遊江南画冊(出光美術館蔵) 102—四季画讃(出光美術館蔵) 103—閑庭(個人蔵) 104—石上閑人(個人蔵) 105—山中秋意(個人蔵) 107—松下一閑人(個人蔵) 108—山人楽(個人蔵) 109—仙人煉丹(個人蔵) 110—石庭(個人蔵) 111—山中一閑人(個人蔵) 112—海南画冊(土佐風景)(東京国立近代美術館蔵) 113—石上(摠見寺蔵) 115—梢の春(日光二荒山神社蔵) 116—山厨(出光美術館蔵) 117—あけび(個人蔵) 118—南枝早春(出光美術館蔵) 122—銀鶏春光(出光美術館蔵) 124—月に竹(個人蔵) 126—盃中四季(個人蔵) 129—山翁奉仕(日光小学校蔵) 130—浦島の顔(個人蔵) 131—静物(個人蔵) 136—法華経普門品偈(個人蔵) 137—その他画帖類 138—スケッチ類 上野憲示「小杉放菴その心の軌跡」/矢口國夫「洋画家・小杉未醒」/竹山博彦「交誼の人々——近事画報社から「方寸」時代」/小杉放菴「放菴歌集(昭和15年〜)」/小杉放菴印譜/小杉放菴落款/竹山博彦 編「小杉放菴略年譜」/竹山博彦 編「参考文献」/出品目録

『小杉放菴・板谷波山・高井白陽』

出光美術館 1980.1

今泉篤男「小杉放菴の作品」

小杉一雄 監修、上野憲示 編『小杉放菴の俳画手本 奥の細道』
溪水社 1980.6

上野憲示「小杉放菴と『奥の細道』」/小杉放菴略年譜

『小杉放菴展』

株式会社高島屋東京店美術部 1982.7

図版:1—井泉図/2—老子/3—おどる良寛/4—春風一枝/5—竹取翁/6—漁翁有酒/7—採薬図/8—若鶏/9—林處子/10—西行法師/11—良寛和尚/12—竹取物語/13—群鳥図/14—閑庭/15—新柳/16—短冊/17—少林技撃/18—北窓(義皇上人)/19—梅花(四季の画詩 双幅のうち)/20—詩(四季の画詩 双幅のうち)/21—あざみとかえる(四季の画詩 双幅のうち)/22—詩(四季の画詩 双幅のうち)/23—山ぶどう(四季の画詩 双幅のうち)/24—詩(四季の画詩 双幅のうち)/25—早雪(柿と鳥)(四季の画詩 双幅のうち)/26—詩(四季の画詩 双幅のうち)/27—映し絵図/28—観音閣/29—開国功臣像/30—柞蚕番/31—帰馬図/32—一行歌(夕暮)/33—行雲流水/34—四季のうた(石)/35—書簡

小杉放菴画歴

小杉一雄 編『放菴花鳥手控』

求龍堂 1983.4

小杉一雄「放菴絵事」/小杉放菴略年譜/参考文献

河北倫明 編『小杉放菴画集』

日本経済新聞社 1987.6

河北倫明「近代美術史上の小杉放菴」/小杉一雄「放菴居士略

伝」/竹山博彦 編「小杉放菴略年譜」/竹山博彦 編「参考文献目録」

小杉一雄 監修『妙高山下 石上の人 小杉放菴』

芳山堂・古心堂画廊 刊行年記載なし

小杉一雄「妙高山下 石上の人」/小杉放菴略年譜

『近代の南画 遊心の世界——百穂・放菴・恒友・浩一路』

山種美術館 1993.7

草薙奈津子「小杉放菴——和魂を貫いた近代人」/鶴田汀 編
「小杉放菴略年譜」/鶴田汀 編「小杉放菴関係文献目録(抄)」

田中正史・鈴木日和 編『開館記念 小杉放菴展』

小杉放菴記念日光美術館 1997.10

小杉一雄「開館に寄せて」/田中正史「小杉放菴——その生涯と画業」/小杉放菴年譜/主要文献目録/出品作品〔目録〕

内藤正人 編『小杉放菴——その人と作品』

出光美術館 1997.12

田山花袋記念館特別展『小杉放菴と近代文学一独歩・花袋との親交』館林市教育委員会文化振興課 1999.10

『中川一政・小杉放菴二人展』

真鶴町立中川一政美術館 2000.9

入江観「放菴と一政」

中川一政「折り折りの人 小杉放菴」※再録

中川一政「脱俗の画人」※再録

中川一政「蛙」※再録

小杉放菴「永福居士へ返事」※再録

中川一政・小杉放菴「棕櫚の雨」※再録

新井人志「一政と放菴の関係・ある一つの視点」/新井人志「中川一政について」

田中正史 編『出光コレクションによる小杉放菴の春・夏・秋・冬』

小杉放菴記念日光美術館 2002

田中正史「出光コレクションによる小杉放菴の春・夏・秋・冬」

小笠原史・田中正史 編『出光コレクションによる小杉放菴の風景』

小杉放菴記念日光美術館 2003

小笠原史「出光コレクションによる小杉放菴の風景」

田中正史 編『出光コレクションによる小杉放菴の名品撰』

小杉放菴記念日光美術館 2004

古田亮「小杉放菴 大雅堂への憧憬」

田中正史 編『出光コレクションによる小杉放菴の人物』

小杉放菴記念日光美術館 2005

鈴木日和「出光コレクションによる小杉放菴の人物」

田中正史 編『開館10周年記念 小杉放菴展』

小杉放菴記念日光美術館 2007.10

『近代日本画のロマン 小杉放菴と大観——響きあう技とところ』
財団法人出光美術館 2009.2

略年譜/田中正史「放菴と大観」/出光佐千子「小杉放菴と大観——響きあう技とところ」

出光佐千子 作品解説「2—日光東照宮」「3—スペイン風景」「4—スベイングラナダ娘」「5—湖畔」「6—新緑写意」「7—自画像」「8—秋景」「9—初秋」「10—江村秋意」「11—洞庭秋月」「12—柳下人物」「13—陽光」「14—白鷗」「15—南枝早春」「16—芭蕉翁・良寛和尚」「17—金時」「18—荘子」「19—太宰師大伴旅人卿讃酒像」「20—天のうづめの命」「21—湧泉」「22—六歌仙(小野小町)」「23—六歌仙(喜撰法師)」「24—奥の細道十二題」「25—西行法師」「26—四季(夏)・河童」「27—みちばたの石」「30—風景習作(小杉放菴記念日光美術館蔵)」「31—風景習作(小杉放菴記念日光美術館蔵)」「32—小諸の山田」「33—神詣」「34—東海道五十三次絵巻第五巻(横山大観・下村観山・今村紫紅・小杉菴合作、東京国立博物館蔵)」「37—雲山」「40—帰院」「42—香久山」「44—醉李白」「45—北馬南船帖(横山大観記念館蔵)」「46—秋色山水長巻」「47—牧童」「48—南嶋帖」「50—七夕」「51—白衣婦人」「52—虎溪三笑」「53—三笑」「54—寒山拾得」「56—高士自適」「57—釣秋」「58—洞裡長春」「59—竹裡館」「60—老子」「61—黄初平」「62—後赤壁賦(小杉放菴記念日光美術館蔵)」「63—田父醉帰」「64—金太郎」「65—出関老子」「66—鎮西画冊」「67—山水十二趣」

「68—古事記八題」「69—西遊記絵詞」「70—西遊十題」「71—紙すきの村絵巻」「72—水郷黄昏」「73—瀟湘夜雨」「74—竹」「75—梅花小禽」「76—梅花小禽」「81—染付人物文八角皿」「82—『画人行旅』」「83—『放庵画論』」「84—硯墨草稿」※所蔵先表記のないものはすべて出光美術館蔵

田中正史 編『越前和紙の魅力 小杉放菴と岩野平三郎』

小杉放菴記念日光美術館 2012

田中正史「越前和紙の魅力 岩野平三郎と麻紙と小杉放菴と」/岩野平三郎への書簡に見る小杉放菴の紙への思い

出光佐千子 編『没後 50 年 小杉放菴 〈東洋〉への愛』

公益財団法人出光美術館 2015.2

出光佐千子「小杉放菴の〈東洋〉への愛」pp.6-15/出光佐千子「コラム①漱石を驚かせた「水郷」」p.34/「コラム②洋画家・未醒の到達点——東京大学大講堂壁画」p.50/「コラム③池大雅との出会い」p.72/「コラム④出光佐三との縁」p.132/「コラム⑤麻紙の放菴・放菴の麻紙」p.148/田中正史「小杉未醒の「東洋回顧」」pp.150-153

出光佐千子 作品解説〔出品目録兼〕「1—日光東照宮」p.154、「3—牛久沼」p.154、「4—漫画十題」pp.154-155、「5—婦人立像（栃木県立美術館蔵）」p.155、「7—自画像」p.155、「9—スペイン風景」pp.155-156、「10—スペイングラナダ風景」p.156、「11—アルハンブラの丘（栃木県立美術館蔵）」p.156、「12—湖畔」p.156、「13—飲馬（小杉放菴記念日光美術館蔵）」p.156、「14—神詣」p.156、「15—秋景」p.157、「17—初夏山雨」p.157、「18—湧泉」p.157、「19—炎帝神農採薬図（大阪市立大学医学部附属病院蔵）」p.157、「20—羅摩物語（東京国立近代美術館蔵）」pp.157-158、「22—洞庭秋月」p.158、「24—瀟湘夜雨」p.158、「26—竹裡館」pp.158-159、「28—夏山」p.159、「29—溪雲」p.159、「31—初秋水村図巻」p.159、「32—大雅堂瀟湘八景扇面小皿（小杉放菴画・板谷波山作陶、田端文士村記念館）」pp.159-160、「33—染付人物文八角皿」p.160、「34—ブルターニュ風景（個人蔵）」p.160、「35—ブルターニュの村の八月（栃木県立美術館蔵）」p.160、「36—或る日の空想（個人蔵）」p.160、「37—南嶋帖」pp.160-161、「38—古野山」p.161、「39—帰院」p.161、「40—秋色山水長巻」p.161、「41—高士自適」p.161、「42—釣秋」pp.161-162、「44—湖山春色（小杉放菴記念日光美術館蔵）」p.162、「45—黄初平（小杉放菴記念日光美術館蔵）」p.162、「46—白雲幽石図（小杉放菴記念日光美術館蔵）」47—莊子 pp.162-163、「48—洞裡長春」p.163、「49—さんたくろす」p.163、「50 春風有詩（小杉放菴記念日光美術館蔵）」51—酔李白」p.163、「52—天のうづめの命」pp.163-164、「53—古事記八題」p.164、「54—太宰師大伴旅人卿讃酒像」p.164、「55—老子・黄初平」pp.164-165、「56 金太郎 57—花咲翁」p.165、「58—湿婆神舞踊」p.165、「59—帰牧」p.165、「60—金太郎遊行（泉屋博古館分館蔵）」p.165、「61—出関老子」pp.165-166、「62—帰耕 63—田父醉帰」p.166、「64—金時遊行」p.166、「65—奥の細道十二題」p.166、「66—奥の細道那須野」pp.166-167、「参考出品 5—『景勝の九州』」p.167、「67—鎮西画冊」p.167、「68—山水八種」p.167、「69—山水十二趣」pp.167-168、「70—泛内海画冊」p.168、「71—白鷗」pp.168-169、「72—山夜友あり 素描 3—コノハズク（小杉放菴記念日光美術館蔵）」p.169、「73—珠鷗 素描 4—ホロホロチョウ（小杉放菴記念日光美術館蔵）」p.169、「77—銀鷄春光」p.169、「78—山中秋意 素描 5—ヤマドリ（小杉放菴記念日光美術館蔵）」素描 6—ヤシオモミジ（小杉放菴記念日光美術館蔵）」pp.169-170、「79—梅花小禽 素描 7—サルノコシカケ（小杉放菴記念日光美術館蔵）」p.170、「80—梅花小禽 素描 8—ウメ（つきがせ）（小杉放菴記念日光美術館蔵）」p.170 ※所蔵先表記のないものはすべて出光美術館蔵

出光佐千子編『略年譜』

棕橋彩香 編『藍より青く——小杉一雄とその師父、會津八一と小杉放菴』早稲田大学會津八一記念博物館 2019.11

肥田路美「小杉一雄先生の学問」pp.5-8/棕橋彩香「會津八一と小杉一雄——『乾坤ノート』からみる師弟関係」pp.37-40/

星山晋也「『高名な画家』小杉一雄先生」pp.49-56/〔再録〕小杉一雄・青木茂・丹尾安典「小杉放菴——その画境を語る」pp.60-62 ※初出：『アート・トップ』1989.9/小杉一雄年譜 pp.75-76/小杉一雄著作目録 pp.77-79

図版：No.1 小杉放菴《高石》個人蔵 p.10/No.2 小杉放菴《河童水球》個人蔵 p.11/No.3 小杉放菴《裾野のわらんべ》個人蔵 p.12/No.4 小杉放菴《かへらさる》早稲田大学會津八一記念博物館蔵 p.13/No.5 會津八一・小杉放菴宛書簡(1951.3.17 付) 早稲田大学會津八一記念博物館蔵 p.14/No.6 會津八一・小杉放菴宛書簡(1952.1.9 付) 早稲田大学會津八一記念博物館蔵 p.15/No.8 『放菴画譜』/No.43 小杉一雄《箱書きなど控え帳》早稲田大学會津八一記念博物館蔵 p.59/No.43 小杉一雄《「かへらさる」箱書き》早稲田大学會津八一記念博物館蔵 p.59/No.45 小杉放菴《正太郎》個人蔵 p.63/No.46 小杉放菴《童話花咲翁》早稲田大学高等学院蔵 p.64/No.47 小杉放菴《童話金太郎》早稲田大学高等学院蔵 p.65/参考資料 《童話金太郎》《童話花咲翁》関連 小杉一雄宛小杉放菴書簡（小杉放菴記念日光美術館蔵）p.66

3 その他の画集・全集・展覧会図録

鹿島淑男 編『漫画百趣』

日高有倫堂 1910.1

鹿島桜巷 編『漫画春秋』

日高有倫堂 1910.7

鹿嶋桜巷 編『即興画詩』

東京国民書院 1911.9

島田勇吉 編『現代俳画集 春之部』

俳画堂 1915

島田勇吉 編『現代俳画集 秋之部』

俳画堂 1917.4

図版：小杉未醒《紅葉》頁ノンブルなし

島田勇吉 編『現代俳画集 冬之部』

俳画堂 1917.7

図版：小杉未醒《寒月》頁ノンブルなし

北原義雄 編『現代諸家スケッチブック 第一集』

阿蘭陀書房 1917.8

図版：小杉未醒《揚子江スケッチの一》《揚子江スケッチの二》

川端龍子・中川紀元 編『素描選集』

中央美術社 1925.6

図版：小杉未醒《きふね》p.8

北原義雄 編『東西素描大成 第 15 卷 現代日本作家之部 洋画家篇』上巻 アトリエ社 1930.6

図版：小杉未醒《後赤壁図巻（部分）》

下中彌三郎 編『世界美術全集 別巻第二巻 壁画篇（下）』

平凡社 1932.1

図版：小杉未醒《帝国大学講堂壁画》

石井伯亭「近代壁画概説」/木村莊八「講堂壁画 小杉放庵作」

北原義雄 編『現代人物画選集 アトリエ原色版画集』9

アトリエ社 1933.7

図版：小杉放庵《娘》

下中弥三郎 編『名作挿画全集』第 9 卷

平凡社 1936.4

北原義雄 編『現代洋画大全集』第 12 卷

アトリエ社 1936.10

図版：小杉放菴《娘》

北原義雄 編『現代素描全集』第 8 卷

アトリエ社 1937.7

図版：小杉放庵《天稚彦》

『現代日本画大全集』第 6 卷

アトリエ社 1938

図版：小杉放菴《青鸞》

北原義雄 編『原色版 現代日本画大全集 別冊』第1巻
アトリエ社 1938.5
図版：小杉放菴《山中秋意》
『傷痍軍人慰問画寄附目録』陸軍省恤兵部 1939
今福武雄 編『紀元二千六百年記念昭和日本画大鑑』上巻
東亜美術院 1940.6
図版：小杉放庵《朴の芽》
陸軍省報道部 編『大陸戦史 画と文』
陸軍画報社 1941.3
図版：小杉放菴《太湖石と兵隊（蘇州城所見）》
矢野文夫 編『昭和日本人山図会』
邦画社 1941.6
図版：小杉放菴《黒髪山》
作家及び作品 小杉放庵 pp.19-20
山崎斌 監修『月明先人集』
草木屋出版部 1944.3
図版：小杉放菴《僧西行》
芳川起 編『日本画傑作年鑑』昭和18年度
美術春秋社 1944.7
図版：小杉放菴《小夜の中山》
隈元謙次郎 編『近代日本美術全集 第三巻 洋画篇（上）』
東都文化交渉株式会社 1954
図版：小杉未醒《水郷》
座右宝刊行会 編『現代日本美術全集』第5巻
角川書店 1955.10
湯沢三千男「小杉放庵」
菊地芳一郎『戦後美術史の名作 日本画篇』
時の美術社 1967.2
図版：小杉放庵《寒山拾得》昭和33年度作 pp.54-55
菊地芳一郎「作家小論 各作家戦後の歩み 小杉放庵」p.209
『日本美術院洋画部の画家たち』
奈良県文化会館 1972.5
無署名「日本美術院洋画部について」/日本美術院洋画部関係
年表
図版：1—小杉未醒《スペイン風景》/1—小杉未醒《或る日の
空想》/3—小杉未醒《乳麿供養》/4—小杉未醒《湖陰》/
河北倫明『原色日本の美術 第26巻 近代の日本画』
小学館 1972.8
「作家・作品解説 小杉放庵 瘡取（出光美術館蔵）」
＊『原色日本の美術』第30巻 近代の日本画 小学館 1980.11
『三越創業三〇〇年記念 近代巨匠特選画集』
株式会社三越美術部 1972.11
図版：小杉放庵《花咲爺々》
井上靖・河北倫明・高階秀爾・田中一松 監修『ほるぶ「日本の名画」
8 近代日本画2』ほるぶ出版 1975
内山武夫「作品解説 小杉放庵 銀鶏春風（出光美術館蔵）」/
内山武夫「小杉放庵—1 屈託のない東洋的境地を逍遙」/内山
武夫「作品解説 小杉放庵 西行と桜（出光美術館蔵）」/内山
武夫「小杉放庵—2 枯淡で飄逸な画境」
井本農一・岡田利兵衛・鈴木進 監修、座右宝刊行会 編『俳人の
書画美術 第12巻〈別巻Ⅱ〉明治の画人』集英社 1980.7
カラー図版：No.20 小杉放菴《奥の細道 大聖寺》（個人蔵）/
No.21-30 小杉放菴《奥の細道画冊》（個人蔵）/No.31 小杉放菴
《木瓜》（出光美術館蔵）
鈴木進「続俳画について」pp.77-86
鈴木進「作品解説 No.20 小杉放菴《奥の細道 大聖寺》/No.21-
30 小杉放菴《奥の細道画冊》/No.31 小杉放菴《木瓜》」pp.91-
94
参考資料：小杉放菴「奥の細道を行く」（『奥の細道画冊』よ
り、一部割愛）pp.106-117
下中邦彦 編『名作挿絵全集 第一巻 明治篇』平凡社 1980.7
「小杉放庵」pp.78-79
『茨城の美と心——絵画の系譜』
茨城新聞社 1982.10

藤本陽子「作品解説 小杉放庵《水郷》（東京国立近代美術館蔵）」p.118/相田公平「茨城美術の展開」pp.169-171/藤本陽子
「作家紹介 小杉放庵」p.194
井上靖・河北倫明 監修、酒井忠康 編『日本水彩画名作全集 7 名
作選Ⅱ（大正）』第一法規出版株式会社 1982.10
カラー図版：No. 5 小杉未醒《潮来》（個人蔵）/No.6 小杉未醒
《湖蔭》
無署名「作品解説：No. 5 小杉未醒《潮来》（個人蔵）、No.6 小
杉未醒《湖蔭》」pp.81-82
三輪英夫「画家紹介 小杉未醒」p.90
河北倫明 監修『現代日本絵巻全集16 東海道五十三次合作絵巻Ⅰ』
小学館 1982.11
別冊解説：細野正信『東海道五十三次合作絵巻の周辺（一）』
河北倫明 監修『現代日本絵巻全集17 東海道五十三次合作絵巻Ⅱ』
小学館 1983.6
別冊解説：細野正信『東海道五十三次合作絵巻の周辺（二）』
河北倫明 監修『現代日本絵巻全集18 東海道五十三次合作絵巻Ⅲ』
小学館 1983.12
別冊解説：細野正信『東海道五十三次合作絵巻の周辺（三）』
河北倫明 監修『現代の水墨画 九 名作選Ⅰ 明治・大正・昭和』
講談社 1984.6
図版：No.55 小杉放庵《裏見瀧 奥の細道帖（全三十八面の内）》
個人蔵/No.56 小杉放庵《岩城野 奥の細道帖（全三十八面の
内）》個人蔵/No.57 小杉放庵《越後路 奥の細道帖（全三十八
面の内）》個人蔵/No.58 小杉放庵《永平寺 奥の細道帖（全三
十八面の内）》個人蔵/No.59-60 小杉放庵《海南画冊（全十八
面の内）》東京国立近代美術館蔵/No.61 小杉放庵《今日好天》
個人蔵
各作品解説あり（すべて中村溪男）頁ノンブルなし
作家略伝：小杉放庵（草薙奈津子）頁ノンブルなし
小倉忠夫 編著『近代日本洋画素描大系 2 大正』講談社 1984.10
カラー図版：No.18 小杉放菴《猫》個人蔵/No.19 小杉放菴《ぶ
な》個人蔵/No.20 小杉放菴《蔵々村》個人蔵/No.21 小杉放菴
《ぶどうの葉》個人蔵/No.22 小杉放菴《挽馬》個人蔵
三輪英夫「作家略歴 小杉未醒」頁ノンブルなし
小倉忠夫「作品解説 小杉未醒」頁ノンブルなし
『写真集 栃木県の文化財』
下野新聞社 1986.12
図版：p.140 小杉放菴《寒山拾得図》個人蔵/p.140 小杉放庵
《前後赤壁の賦図》個人蔵/p.144 小杉放菴《仙人煉丹図》個
人蔵/p.144 小杉放菴《陶淵明図》個人蔵/p.145 小杉放菴《花
咲爺図》/p.145 小杉放菴《達磨図》個人蔵/p.148 小杉放菴《松
下一閑人図》個人蔵/p.177 小杉放菴《ひよこ図》個人蔵/p.181
小杉放菴《野鳥図》個人蔵/p.182 小杉放菴《山翁奉仕図》日
光市蔵
各図版頁に作品解説あり
相賀徹夫 編『明治・大正・昭和の仏画仏像 2 昭和編〔Ⅰ〕』
小学館 1987.1
作品図版：No.57 小杉放庵《白衣大士（部分）》（耕三寺博物館
蔵）
尾崎真人「作家・作品解説 No.57 小杉放庵 白衣大士（耕三寺
博物館蔵）」p.120
久保尋二 監修・著『越佐の画人』
新潟日報事業社出版部 1987.7
「画人小伝 小杉放庵」
『日本画の遺産——明治・大正・昭和の物故作家たち』
マリア書房編集発行 1987.8
カラー図版：No.91 小杉放庵《竹林漁夫図》（滋賀県立近代美
術館蔵）/No.92 小杉放庵《海南画冊》（東京国立近代美術館蔵）
/No.93 小杉放庵《椿》（東京国立近代美術館蔵）
竹山博彦「作家解説 小杉放庵」p.81
『小山正太郎と「仙台の桜」 近代日本洋画の夜明け展』
新潟県美術博物館 1988.10
『日本油彩画の独自性を求めて』

東京都美術館 1989.3
松木寛「日本油彩画の独自性を求めて」/島田康寛「日本の洋画ということについて」/無署名「作家解説 小杉放菴」
大智経之 監修『近代日本画でたどる「おくの細道」』
朝日新聞東京本社企画第一部 1989.3
大智経之「近代日本画でたどる「おくの細道」」
『近代日本画にみる奥の細道』
山形美術館 1989.4
小杉一雄「放庵居士と奥の細道——『奥の細道画冊』の由来」/島田康寛「放菴、龍子、竹喬の画業と「奥の細道」」/小杉放菴略年譜
『「昭和の日本画—〇〇選」展』
朝日新聞東京本社企画第一部 1989.10
草薙奈津子「作品・作家解説 小杉放庵 30—山中秋意（出光美術館蔵）」
『墨・いのち・百人展 北岡技芳堂創業四十周年記念』
北岡技芳堂 1990.5
図版：小杉放菴《今日好天》p.17
河北倫明 監修『昭和の日本画 100 選』
朝日新聞社 1991.3
尾崎正明「作家・作品解説 小杉放庵 37—山中秋意（出光美術館蔵）」
長谷川てい・平山郁 編『平野の詩人 森田恒友とその時代』
埼玉県立近代美術館 1991.11
山本修之助 編『佐渡の書』
新潟日報事業社出版部 1991.12
無署名「書人小傳 小杉放庵」/山本修之助・渡辺秀英「作品解説 小杉放庵 81 真野のうらみ 82 佐渡七首」
細野正信・大智経之 監修『小さな画面に広がる心と香り——近代日本画の巨匠—〇〇人展』朝日新聞社 1992.1
高階秀爾・陰里鉄郎・田中日佐夫 編著『日本美術全集 第 22 巻 近代の美術Ⅱ洋画と日本画』講談社 1992.4
林洋子「図版解説 小杉未醒筆 25—東京大学安田講堂内壁画」
小田切進 特別監修、関口安義・宮坂覺 監修『もうひとりの芥川 龍之介』産経新聞社 1992.9
図版：No.2-58 小杉未醒《山幸彦》（石橋美術館蔵）p.56/No.2-59 小杉未醒《山人》p.57/No.2-60 小杉未醒《柳陰吹笛》p.57/No.2-61 小杉未醒《瀟湘》p.57/No.2-62 小杉未醒《出関老子》p.57
小杉一雄「番頭さんに間違えられた芥川さんと『モダンゴーストストーリーズ』」p.57
『近代日本美術を築いた巨匠展』
常葉美術館 1992.10
無署名「作家・作品解説 小杉未醒 1—水郷（東京国立近代美術館蔵） 3—出関老子（出光美術館蔵） 4—湧泉（出光美術館蔵）」p.89
金原宏行・林和男・長山貞之『近代日本画史を俯瞰するⅣ 大正期の日本画—一九一二年—一九二六年—』
茨城県近代美術館 1993.1
図版：小杉未醒《白衣婦人》出光美術館蔵 p.32／小杉未醒《楽人と踊子》茨城県近代美術館蔵 p.33
作家略歴及び作品評：無署名「小杉放菴」p.123
『近代の文人画展』
宮城県美術館 1993.9
酒井哲朗「近代の文人画——新たな伝統の形成」pp.4-9
図版：小杉未醒《水荘訪客図》福島県立美術館蔵 p.29／小杉放菴《春秋屏風》新潟県立近代美術館蔵 pp.72-73／小杉未醒《なかぐすくの丘》栃木県立美術館蔵 p.84
作家略歴 無署名「小杉放菴」p.124
『院展を再興した仲間たち』
井原市立田中美術館 1993
本間正義「再興院展の時」/無署名「略歴 小杉放菴（未醒）」カラー図版：11—小杉放菴《椿》（東京国立近代美術館蔵）単色図版：12—小杉放庵《松下の人》（駿府博物館蔵）13—

小杉放菴《青鸞》（東京国立近代美術館蔵）14—小杉放菴《木餅主》（駿府博物館蔵）
細野正信・松浦あき子 監修『日本美術院 大正の熱き風』
朝日新聞東京本社 1994.1
細野正信「大正の新芸術樹立に向かって」pp.128-144/松浦あき子「作家略歴・作品解説 横山大観・小杉放菴合作 九—三保の松浦・天女の図（個人蔵）」pp.147-148/山梨絵美子「作家略歴・作品解説 小杉未醒 七—三・黄初平（日光市蔵） 七—四—或る日の空想（個人蔵） 七—五—出関老人（出光美術館蔵）」pp.163-164
館林市教育委員会文化振興課 編『田山花袋記念館研究叢書 第三巻 花袋周辺作家の書簡集—』館林市 1994.3
明治 39 年 7 月 1 日付田山花袋宛国木田独歩書簡 p.379
※龍土会に小杉未醒らと出席する返信
同書簡解説：小林一郎「同伴作家・国木田独歩」pp.203-204
『近代の精華——平福百穂とその仲間たち』
秋田県立近代美術館 1994.9
宮武弘・増渕鏡子・伊藤匡・佐治ゆかり 編『日本画の風景—人と自然の 200 年—』福島県立美術館 1994.9
図版：小杉未醒《水荘訪客》福島県立美術館蔵
増渕鏡子「第 2 部 画家たちの異郷」
無署名「作家解説 小杉放庵」
『茨城・栃木・群馬三県交流展 北関東の文人画』
茨城県近代美術館・栃木県立美術館・群馬県立近代美術館 1995.2
竹山博彦「Behind Utopia 文人画という絵画の問題について」/金原宏行「近代文人画の今日的な意義」/竹山博彦「作家解説 小杉放菴」
『栃木県の近代美術』
栃木県立美術館 1995.10
竹山博彦「栃木県の近代美術」/竹山博彦「作家解説 小杉放菴」/杉村浩哉「作家解説 小杉放菴」
『N I H O N G A : Transcending The Past (近代日本画の一世紀 1868-1968)』The Saint Louis Art Museum/The Japan Foundation 1995.12
松岡正剛 企画『天使と天女 天界からのメッセージ』
岡崎市美術博物館 1996.7
図版：横山大観・小杉未醒《三保の松原・天女の図》（個人蔵）
東京国立近代美術館・国立西洋美術館 編『東京国立近代美術館・国立西洋美術館所蔵作品による 交差するまなざし——ヨーロッパと近代日本の美術』
東京国立近代美術館・国立西洋美術館 1996.7
図版：No.51 小杉未醒《水郷》東京国立近代美術館蔵 pp.82-83
蔵屋美香「章解説 2 装飾性—色や形の新しい秩序を求めて」p.73/蔵屋美香「装飾の系譜—壁画から壁面へ」pp.74-79
作品解説：尾崎正明「小杉未醒《水郷》東京国立近代美術館蔵」p.82
『大正画人ネットワーク——田口掬汀が拓いた「中央美術」』
秋田県立近代美術館 1996.8
図版：36—小杉未醒《風神雷神》新潟県立近代美術館蔵/37—小杉未醒《耶馬溪図》栃木県立美術館蔵/62—小杉未醒《黄初平》日光市蔵/63—小杉未醒《泉》日光市蔵
太田和夫「作家略歴 小杉放菴」
『和紙と日本画展——岩野平三郎と近代日本画の巨匠たち』
福井県立美術館 1997
『前田兎・田山花袋・窪田空穂——雑誌「文章世界」を軸に』
山梨県立文学館 1997.4
東京国立博物館 編『日本美術院創立—〇〇周年記念特別展 近代日本美術の軌跡』財団法人日本美術院 1998.3
古田亮「院展の芸術、その戦前までの軌跡」
古田亮「作品解説 小杉未醒 89—山幸彦（石橋財団石橋美術館蔵） 90—或る日の空想（個人蔵）」
『茨城県近代美術館所蔵作品選 小川芋銭』

茨城県近代美術館 1998.3
藤本陽子「小川芋銭」 ※小杉、芋銭、杉田兩人の交友について
図版：小川芋銭 [画] 小杉放菴 [跋文] 《眼食帖》1937 年頃
pp.74-75, 99
『日本美術院創立一〇〇年 横山大観と院展の画家たち』
財団法人足立美術館 1998.8
林誠 編『丸山晚霞と日本の水彩画の流れ』
長野県信濃美術館 1998.10
田中正史・鈴木日和 編『東京国立近代美術館所蔵名品撰 風景の
近代』小杉放菴記念日光美術館 1998.10
田中正史「風景の近代」
『もうひとつの美術史——画家と額縁』
西宮市大谷記念美術館 1999.2
中井康之「作品解説 71 小杉未醒 農夫（小杉放菴記念日光美
術館蔵）」
百周年記念展実行委員会 編『日本美術院百周年記念展』
財団法人日本美術院 1999.3
『創作版画の誕生——近代を刻んだ作家たち』
渋谷区立松濤美術館 1999.4
『東アジア/絵画の近代——油画の誕生とその展開』
静岡県立美術館 1999.4
浜崎礼二「作家・作品解説 小杉未醒 165—水郷（東京国立近
代美術館蔵）、166—黄初平（小杉放菴記念日光美術館蔵）」
富田智子・浅倉祐一郎 編『扇面といふかたち——その風流と機知
を求めて』三鷹市美術ギャラリー 1999.8
『自然に遊び、自然に謳う——近代南画展』
群馬県立近代美術館 1999.9
谷内克聡「作家・作品解説 小杉放菴」
田中正史・鈴木日和 編『甦る日光・社寺を描いた水彩画』
小杉放菴記念日光美術館 1999
田中正史「日光の社寺を描いた水彩画について」
東京藝術大学大学美術館・東京新聞 編『日本画の 100 年』
東京新聞 2000.4
古田亮「作品解説 小杉放菴 25—《椿》東京国立近代美術館
蔵 | 小杉放菴 26—《青鸞》東京国立近代美術館蔵」
佐々木奈美子 企画『ナビ派と日本』
新潟県立近代美術館 2000.9
図版：Ⅲ-3-8—小杉未醒《日本風景版画 第七集 琉球之部》
郡山市立美術館蔵
無署名「作家略歴 小杉未醒」
『墨戯——魅惑の水墨画』
岡山県立美術館 2002.10
図版：120—小杉未醒《長夏深柳》栃木県立美術館蔵/121—小
杉未醒《三笑》小杉放菴記念日光美術館蔵/122—小杉未醒《春
風有詩》小杉放菴記念日光美術館蔵/123—小杉放菴《海南画
冊》東京国立近代美術館蔵/124—小杉放菴《水亭》小杉放菴
記念日光美術館蔵/125—小杉放菴《蒼海》小杉放菴記念日光
美術館蔵
無署名「作品解説 小杉放菴」
橋本慎司・竹山博彦 編『近代歴史画と羽石光志』
栃木県立美術館 2002.10
橋本慎司「作家略歴 小杉放菴」
財団法人奈良県万葉文化振興財団 編『歴史画のゆくえ——近代
日本絵画の名品でたどる万葉の世界』奈良県立万葉文化館
2002.10
平岡照啓「作品解説 22 小杉放菴 浦島（小杉放菴記念日光美
術館蔵）」
青木茂 監修、東京文化財研究所 編『近代日本アート・カタログ・
コレクション 春陽会』048～051・全4巻 ゆまに書房 2002.11
『きらめく光 日本とヨーロッパの点表現』
静岡県立美術館 2003.2
図版：31—小杉未醒《水荘訪客》小杉放菴記念日光美術館蔵
/32—小杉未醒《東照宮・陽明門と鼓楼》小杉放菴記念日光美
術館蔵

村上敬「作家・作品解説 31 小杉未醒 水荘訪客（小杉放菴記
念日光美術館蔵）」
千葉瑞夫・平澤広・菊池桂・田中正史 編『第八〇回展記念 春陽会
——草創の画家たち』萬鉄五郎記念美術館・小杉放菴記念日
光美術館 2003.4
田中正史『『方寸』から春陽会へ——小杉未醒を中心に』
静岡県立美術館・府中市美術館・長野県信濃美術館・岡山県立美術
館 編『もうひとつの明治美術——明治美術会から太平洋画
会へ』もうひとつの明治美術展実行委員会 2003.7
村上敬・林誠「作家・作品解説 小杉未醒 水郷（東京国立近代
美術館蔵） 神橋（小杉放菴記念日光美術館蔵）」
『旅と画家——近現代日本画家のみたもの』
群馬県立近代美術館 2003.9
鶴見香織「作家・作品解説 小杉放菴」
東京藝術大学大学美術館・東京都現代美術館・セゾン現代美術館
編『再考：近代日本の絵画——美意識の形成と展開』
セゾン現代美術館 2004.4
加藤弘子「第9章〈東洋〉と〈日本〉」
『近代日本絵画にみる「自然と人生」 風景の発見、そしてその中
へ』神奈川県立近代美術館 2004.9
久保寺紀江「作品解説 小杉未醒 180 水郷（東京国立近代美
術館蔵）/山梨俊夫「作品解説 119 小杉未醒編纂『十人写生
旅行 瀬戸内海 小豆嶋』/是枝開「作家略歴 小杉未醒（放菴）」
増淵鏡子・堀宜雄 編『田園の夢』
福島県立美術館 2004.10
『田山花袋記念文学館特別展 花袋著書の装幀と挿絵——程原コ
レクションを軸に』館林市教育委員会文化振興課 2004.10
『祈りのすがた——下野の仏画』
栃木県立博物館 2005.10
本田論「作品解説 7 文殊菩薩騎獅像（小杉放菴記念日光美術
館蔵）」 ※小杉が愛蔵していた室町時代の仏画について
中西進・大矢鞆音 監修、奈良県立万葉文化館 ほか編『平成「梅花
の宴」展——近・現代の日本画にみる』
NHK きんきメディアプラン 2006.10
図版：89—小杉放菴《梅花遊禽》（小杉放菴記念日光美術館蔵）
無署名「作家・作品解説 8 小杉放菴 梅花遊禽（小杉放菴記念
日光美術館蔵）」
橋本慎司 編『とちぎ美術探訪』
栃木県立美術館 2006.10
竹山博彦「栃木県絵画の近代」pp.12-15/竹山博彦「作品解説
小杉放菴 山寺有酒（小杉放菴記念日光美術館蔵）」p.42/竹山
博彦「作品解説 小杉放菴 蒼海（小杉放菴記念日光美術館蔵）」
p.43/竹山博彦「作品解説 小杉未醒 列仙（小杉放菴記念日光
美術館蔵）」p.44-45/竹山博彦「作品解説 小杉放菴 松下人（栃
木県立美術館蔵）」p.83/ 橋本慎司「出品作家解説 小杉放菴」
p.104
古田亮 ほか編『揺らぐ近代 日本画と洋画のはざまに』
東京国立近代美術館 2006.11
古田亮「小杉放菴、揺らぐ画家像」
NHK プロモーション 編『慈覚大師 円仁とその名宝』
NHK プロモーション 2007.4
本田論「作品解説 53 文殊菩薩騎獅像（小杉放菴記念日光美
術館蔵）」 ※小杉が愛蔵していた室町時代の仏画について
埼玉県立近代美術館・北九州市立美術館・財団法人ひろしま美術
館・山梨県立美術館 編『田園讃歌——近代絵画にみる自然と
人間』読売新聞東京本社・美術館連絡協議会 2007.10
図版：No.III-65 小杉未醒《ブルターニュの村の八月》
（栃木県立美術館蔵）p.219
作品解説：大越久子「No.III-65 小杉未醒《ブルターニュの
村の八月》（栃木県立美術館蔵）」p.219
作家略歴：大越久子「小杉未醒」p.295
森芳功 編『日本画——和紙の魅力を探る』
徳島県立近代美術館 2007.11
森芳功「Ⅲ 「和紙」への意識と「日本画」一昭和初期を中心

に」pp.52-59
図版：No.25—小杉放庵《漁村夕陽》小杉放庵記念日光美術館蔵/No.26—小杉放庵《竹雨》小杉放庵記念日光美術館蔵/No.27—小杉放庵《緑蔭対局》小杉放庵記念日光美術館蔵/No.28—小杉放庵《一茶》小杉放庵記念日光美術館蔵
岩野家書簡 pp.134-137/森芳功「作家略歴 小杉放庵」p.141
飯尾由貴子 編『南画って何だ?! 近代の南画——日本のこころと美』兵庫県立美術館 2008.4
飯尾由貴子「『南画って何だ?!』近代の南画をめぐる一考察」pp.232-248/速水豊「南画と洋画のディアレクティーク?!」pp.249-258
作家解説：飯尾由貴子「小杉放庵（未醒）」pp.116-117
図版：小杉未醒《水荘訪客》小杉放庵記念日光美術館蔵 p.116／小杉未醒《窓辺佳人図》小杉放庵記念日光美術館蔵 p.117
『明治の洋画 解説から鑑賞へ』茨城県近代美術館 2008.8
吉田衣里「作品解説 76 小杉未醒 ベぼうの木（栃木県立美術館）」
林宏子 編『福田たね 青木繁のロマン』芳賀町総合情報館 2008.10
柏村祐司「福田たね・青木繁出会いの序章——福田たねを育てた人々・福田豊吉と五百城文哉」
『素朴美の系譜 江戸から大正・昭和へ』渋谷区立松濤美術館編集発行 2008.12
図版：No.III-7 小杉未醒《仙童採葉》栃木県立美術館蔵 p.54/No.III-8 小杉未醒《水牛》栃木県立美術館蔵 p.54/No.III-9 小杉放庵《立石寺》栃木県立美術館蔵 p.55/No.III-10 小杉放庵《虎溪三笑》栃木県立美術館蔵 p.55
辻智美 編『神戸の美術家 亀高文子とその周辺』神戸市立小磯記念美術館 2009.8
鯨井秀伸 編『小川芋銭と珊瑚会の画家たち』愛知県美術館・日本経済新聞社・テレビ愛知 2010.4
鯨井秀伸「小川芋銭補論——珊瑚会の前後」
佐藤志乃 監修『明治神宮鎮座九十年記念展 横山大観』明治神宮 2010.10
佐藤志乃「横山大観の明治以後——大衆文化との接点」図版：No.23 小杉未醒・横山大観《飛天・霊峰富士》個人蔵 pp.46-47
佐藤志乃「目録・作品解説：No.13 横山大観《荒川絵巻（長瀬之巻、赤羽之巻）》株式会社ヤマタネ蔵」pp.85-86/「目録・作品解説：No.23 小杉未醒・横山大観《飛天・霊峰富士》個人蔵」p.89
辻惟雄 監修『日本の美術Ⅴ 水墨画Ⅱ』美術年鑑社 2010.10
図版：小杉放庵《漁樵問答》（山種美術館蔵）p.91
櫛淵豊子「作品解説 小杉放庵《漁樵問答》」p.91
植田彩芳子「『水墨画の系譜』掲載作家略歴（日本作家）小杉放庵」p.517
芳賀徹 監修、千葉真智子 編『桃源万歳！東アジア理想郷の系譜』岡崎市美術博物館 2011.4
千葉真智子「桃源郷とユートピアの交錯——田園に見出された桃源郷のトボス」
千葉真智子「解説 小杉放庵 6—五柳先生（出光美術館蔵）45—桃源郷行（小杉放庵記念日光美術館蔵）46—洞裡長春（出光美術館蔵）47—桃源春色（小杉放庵記念日光美術館蔵）55—南嶋帖（出光美術館蔵）56—なかぐすくの丘（栃木県立美術館蔵）57—牧童（出光美術館蔵）58—秋色山水長巻（出光美術館蔵）」
佐藤志乃 監修、明治神宮宝物殿 編『和紙に魅せられた画家たち 近代日本画の挑戦』明治神宮 2011.10
荒井経「日本画と和紙——壁面用紙の系譜」/佐藤志乃「大正期の紙本墨画と岩野平三郎」
佐藤志乃「作品解説 51 小杉放庵 対石説法（小杉放庵記念日光美術館蔵）」

田中修二 監修『近代日本彫刻集成 第2巻 明治後期・大正編』国書刊行会 2012.1
迫内祐司「作品解説 小杉未醒 V-11 薬師如来像（小杉放庵記念日光美術館蔵）」/迫内祐司「作家紹介 小杉未醒」
山本祐子 企画・構成『名古屋博物館開館 35 周年記念特別展 芭蕉 一広がる世界、深まる心—』『芭蕉展』実行委員会 2012.9
カラー図版：No.175 小杉放庵《芭蕉翁》出光美術館蔵 p.126/No.176 小杉放庵《奥の細道 那須野》出光美術館蔵 p.126/No.177 小杉放庵《芭蕉像》出光美術館蔵 p.127/No.178 小杉放庵《奥の細道 市振》出光美術館蔵 p.127
山本祐子「作品解説・釈文 175 芭蕉翁 小杉放庵画」p.180/「作品解説・釈文 176 奥の細道 那須野 小杉放庵画」pp.180-181/「作品解説・釈文 177 芭蕉像 小杉放庵画」p.181/「作品解説・釈文 178 奥の細道 市振 小杉放庵画」p.181
村田隆志・茨木恵美 監修『再発見 日本の書画の美——暮らしに息づく山形・長谷川コレクション』神戸新聞社 2012.9
図版：No.58 小杉未醒《悟空求道図》
作家・作品解説：茨木恵美「No.58 小杉未醒《悟空求道図》」pp.89-90
中野正人・掛川まどか 編『壬生のサムライと日光の至宝——“NIKKOブランド”の開拓者」壬生町立歴史民俗資料館 2013.2
田中正史「『日光の社寺を描いた水彩画』と守田兵蔵」
東京藝術大学大学美術館・東京新聞 編『夏日漱石の美術世界』東京新聞・NHK プロモーション 2013.3
泰井良「作品解説 小杉未醒 IV-13 水郷（東京国立近代美術館蔵）」
『横山大観展 良き師、良き友』横浜美術館・朝日新聞社 2013.10
八柳サエ「横山大観—天心の教え、盟友らとの交わりと共に」八柳サエ「作品解説 横山大観・小杉未醒 47—黄初平・趙内（個人蔵）」/八柳サエ「作品解説 小杉未醒 85—月下梅林（小杉放庵記念日光美術館蔵）86—水荘訪客（小杉放庵記念日光美術館蔵）87—晩鐘（宇都宮美術館蔵）88—柳下美人図（宮城県美術館蔵）」/太田雅子「作品解説 小杉未醒 82—飲馬（小杉放庵記念日光美術館蔵）」/佐藤志乃「作品解説 横山大観・下村観山・今村紫紅・小杉未醒合作 48—東海道五十三次絵巻（東京国立博物館蔵）」/佐藤志乃「作品解説 小杉未醒 53—北馬南船帖（横山大観記念館蔵）83—列仙屏風（小杉放庵記念日光美術館蔵）84—葛由仙人（小杉放庵記念日光美術館蔵）p.266 108—桃源漁郎絵巻（小杉放庵記念日光美術館蔵）109—三笑（小杉放庵記念日光美術館蔵）123—後赤壁賦（小杉放庵記念日光美術館蔵）125—洗馬（横山大観記念館蔵）」/佐藤志乃「作品解説 五世清水六兵衛作・小杉未醒絵付 156—青華鉢（横山大観記念館蔵）」
上蘭四郎・徳山亜希子・山田美佐子・河合志徳 編『「日本画家が描いた西洋風景—滞欧作を中心として—」笠岡市立竹斎美術館・稲沢市荻須記念美術館 2013.10
図版：No.4—小杉未醒《ブルターニュの村の八月》栃木県立美術館蔵
徳山亜希子「作家略歴 小杉放庵（未醒）」
杵沢耕介・中村貴絵・迫内祐司 編『山崎省三・村山槐多とその時代』読売新聞社・美術館連絡協議会 2013.11
迫内祐司「小杉未醒周辺の青年画家たち——村山槐多と水木伸一を中心に」
古田亮 監修、東京都美術館 ほかに編『日本美術院再興一〇〇年 特別展「世紀の日本画」』NHK・NHKプロモーション・朝日新聞社 2014.1
田中正史「作家略歴・作品解説 小杉未醒 飲馬（小杉放庵記念日光美術館蔵）山幸彦（石橋財団石橋美術館蔵）」
北澤憲昭 責任編集『日本美術全集 第17巻 前衛とモダン』小学館 2014.6
カラー図版：No.34 小杉未醒《水郷》（東京国立近代美術館蔵）
角田拓朗「図版解説 34 小杉未醒 水郷（東京国立近代美術

館蔵)」p.234
飯尾由貴子 ほか編『東京・ソウル・台北・長春 官展にみる近代美術』福岡アジア美術館・府中市美術館・兵庫県立美術館・美術館連絡協議会 2014.2
小林真結「作家・作品解説 28 小杉未醒 黄初平（小杉放菴記念日光美術館蔵）」p.258
『滑川ゆかりの画家たち 水墨美術館所蔵品による』滑川市立博物館 2014.10
日野原清水 編『ほっこり美術館』横須賀美術館 2015.4
図版：1-67—小杉放菴《金太郎遊行》（栃木県立美術館蔵）無署名「出品作家略歴 小杉放菴」
金炫淑 監修『日韓近代美術家のまなざし——「朝鮮」で描く』福岡アジア美術館・岐阜県美術館・北海道立近代美術館・神奈川県立近代美術館・都城市立美術館・新潟県立万代島美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会 2015.4
作品図版：出品番号 I-8 小杉放庵《井泉図》（個人蔵）p.48,286 作家解説：ラワンチャイクン寿子「小杉放庵」p.327
小勝禮子・鈴木さとみ・志田康宏 編『戦後 70 年：もうひとつの 1940 年代美術——戦争から、復興・再生へ 美術家たちは何を考え、何を描いたか』栃木県立美術館 2015.10
図版：No.30 小杉放菴《江南画冊》（小杉放菴記念日光美術館寄託）p.28/No.96 小杉放菴《金太郎遊行》（栃木県立美術館蔵）p.61/No.97 小杉放菴《山翁奉仕》（小杉放菴記念日光美術館蔵）p.61
コラム：迫内祐司「小杉放菴の平和観について」p.109 作品解説：迫内祐司「No.30 小杉放菴《江南画冊》1940 年」p.104/「No.96 小杉放菴《金太郎遊行》1944 年」p.110/「No.97 小杉放菴《山翁奉仕》1944 年」p.110
作家解説：迫内祐司「小杉放菴」p.126
土方明司・江尻潔 監修『画家の詩、詩人の絵』青幻舎 2015.10
図版：No.1-I 小杉未醒《飲馬》（小杉放菴記念日光美術館蔵）p.19,228/No.1-II 小杉未醒《高初平》（小杉放菴記念日光美術館蔵）p.228/No.1-III 小杉未醒《牧童》（小杉放菴記念日光美術館蔵）p.228
再録文献：小杉未醒「破瓢の書に酬ふ」p.18
安藤里恵「作家解説：小杉未醒」p.228
『おわらと林 秋路——風の盆の画家』高志の国文学館 2017.7
「2 画家との親交：秋路と小杉放庵」p.87,112
文京ふるさと歴史館 編『季節のうた—歌人 窪田空穂 生誕一四〇年・没後五〇年—』文京区 2017.10
「ゆかりの人びと 小杉放菴」p.53,56
図版：小杉放菴《石》窪田新一氏蔵 p.53/昭和 35 年 10 月 1 日付窪田空穂宛小杉放菴書簡 p.53,56
辻瑞生・忠あゆみ・福西みゆき 編『横堀角次郎と仲間たち——草土社の細密画から、郷里赤城山の風景まで』アーツ前橋 2018.3
図版：No.37 小杉放庵《秋果童子》（群馬県立館林美術館蔵）p.72/No.38 小杉放庵《母子採果》（小杉放菴記念日光美術館蔵）p.72
作家解説：小杉放庵（未醒）p.72
公益財団法人會津八一記念館 編『中村屋サロンと會津八一〜サロンにつどったアーティストたち〜』新潟市會津八一記念館 2018.6
図版：No.49 會津八一《村莊雜事》（新潟市會津八一記念館蔵）pp.62-63 ※會津の肉筆歌集に、小杉放菴・錢瘦鉄・安宅安五郎・香取秀真・斎藤茂吉が書画を寄せたもの。
喜嶋奈津代「作品解説 No.49 會津八一《村莊雜事》」pp.88-89
迫内祐司・清水友美 編『創立 99 年 日本美術の精華 日本芸術院所蔵作品名品展』小杉放菴記念日光美術館 2018.7
図版：No.30 小杉放庵《金太郎遊行》（栃木県立美術館蔵、特別出品）

迫内祐司「小杉放菴と芸術院」
『開館 30 周年記念展 中川一政美術館の軌跡』真鶴町立中川一政美術館 2018.9
図版：No.8 小杉放菴《泉（断片）》小杉放菴記念日光美術館蔵 p.17/No.9 小杉放菴《泉（断片）》小杉放菴記念日光美術館蔵 p.17
作家紹介：小杉放菴 p.74
『総合情報館開館 10 周年記念特別展 かぐわしき一雅の世界—』芳賀町 2018.10
図版：小杉放菴《一壺酒》p.16/小杉放菴《芭蕉翁》p.17
志賀秀孝・大澤真理子 編『おかえり美しき明治』府中市美術館 2019.9
図版：小杉未醒《日光》府中市美術館蔵 p.216
迫内祐司「コラム 明治の〈土産絵〉」p.225
大澤真理子「作家略歴 小杉未醒（放菴）」p.231
公益財団法人横山大観記念館・朝日新聞社 企画『大観邸 画業と暮らしと交流』求龍堂 2019.3
図版：No.60 小杉未醒《北馬南船帖》横山大観記念館蔵
出光美術館 編『奥の細道 330 年』出光美術館 2019.8
図版：No.49 小杉放菴《芭蕉翁・良寛和尚》出光美術館蔵 p.72/No.50 小杉放菴《奥の細道 谷中》出光美術館蔵 p.73/No.51 小杉放菴《奥の細道十二題》出光美術館蔵 pp.74-75/No.52 小杉放菴《奥の細道 那須野》出光美術館蔵 p.76/No.53 小杉放菴《立石寺》出光美術館蔵 p.77/No.54 小杉放菴《芭蕉翁》出光美術館蔵 p.78/No.55 小杉放菴《芭蕉詩境》出光美術館蔵 p.78
作品解説：笠嶋忠幸・金子馨「No.49 小杉放菴《芭蕉翁・良寛和尚》出光美術館蔵 p.100/No.50 小杉放菴《奥の細道 谷中》出光美術館蔵 pp.100-101/No.51 小杉放菴《奥の細道十二題》出光美術館蔵 pp.100-101/No.52 小杉放菴《奥の細道 那須野》出光美術館蔵 pp.100-101/No.53 小杉放菴《立石寺》出光美術館蔵 pp.100-101/No.54 小杉放菴《芭蕉翁》出光美術館蔵 pp.100-101/No.55 小杉放菴《芭蕉詩境》出光美術館蔵 p.101
『下野路を往く松尾芭蕉』大田原市黒羽芭蕉の館 2019.10
図版：No.4 小杉放菴《おくのほそ道》/図版：No.5 小杉放菴《芭蕉行脚之図》
資料解説：新井敦史「No.4 小杉放菴《おくのほそ道》」pp.35-36/「No.5 小杉放菴《芭蕉行脚之図》」p.36
吉岡知子・鴨原悠・増渕鏡子・紺野朋子 編『森田恒友展』埼玉県立近代美術館・福島県立美術館 2019.11
図版：5-30-1〜2—森田恒友 画、小杉放菴 賛《水郷図（春・冬）》
吉岡知子・増渕鏡子 編「森田恒友 書簡翻刻」
谷川雅夫 監修『手紙の書』奈良教育大学谷川研究室 2020.3
図版：No.40 小杉放庵「遠藤氏宛書状短冊」p.21
香川県立ミュージアム・久留米市美術館・高梁市成羽美術館 編『白馬のゆくえ 小林萬吾と日本洋画 50 年』公益財団法人日動美術財団 2020.4
図版：No.45 小杉未醒《水郷》（東京国立近代美術館蔵）p.60 佐々木奈美子「バリの画学生——黒田清輝と小林萬吾の現代美術」pp.133-135
窪美西嘉子「異国にて——葉書から見える画家たちの青春」pp.136-137
作家・作品解説：鹿間里奈「小杉未醒 No.45《水郷》」p.148
左近充直美・菊屋典子・伊藤香織 編『生誕 150 年 大下藤次郎と水絵の系譜』島根県立石見美術館・群馬県立館林美術館 2020.10
図版：No.276 小杉未醒《神橋》（小杉放菴記念日光美術館蔵）p.61/No.279 小杉未醒《東照宮・陽明門と鼓楼》p.61
神尾玲子「出品作家略歴 小杉未醒（放菴）」p.89
左近充直美「出品目録・作品解説 No.276 小杉未醒《神橋》」p.110

橋本慎司 編『栃木における南画の潮流——文晁から魯牛まで』
栃木県立美術館 2021.1
図版：No.108 小杉未醒《石切山》（小杉放菴記念日光美術館蔵）
p.96/No.109 小杉未醒《水荘訪客》（小杉放菴記念日光美術館蔵）
p.96/No.110 小杉未醒《石切山》（小杉放菴記念日光美術館蔵）
p.97/No.111 小杉未醒《月下梅林》（小杉放菴記念日光美術館蔵）
p.97/No.118 小杉未醒《前赤壁》（小杉放菴記念日光美術館蔵）
p.98/No.113 小杉未醒《雨》（小杉放菴記念日光美術館蔵）
p.98/No.114 小杉放庵《墨竹蠅螂図》（小杉放菴記念日光美術館蔵）
p.98
橋本慎司「南画から近代南画への道のり——関東画壇を中心として」pp.14-31
出品画家略歴・作品解説：橋本慎司「小杉放菴 No.108《石切山》/No.109・110《水荘訪客》/No.111《月下梅林》/No.112《前赤壁》/No.113《雨》/No.114《墨竹蠅螂図》」pp.138-139
梶岡秀一・毎日新聞社 編『発見された日本の風景——美しかりし明治への旅』毎日新聞社 2021.9
図版：No.31 小杉未醒《日光東照宮陽明門》（個人蔵）p.30/No.33 小杉未醒《日光》（個人蔵）p.31
田中正史「描かれた日光と五百城文哉」pp.186-190
作家解説：志賀秀孝「小杉未醒」p.198
志賀秀孝・小林真結 編『孤高の高野光正コレクションが語るただいま やさしき明治』府中市美術館 2022.5
図版：No.343 小杉未醒《日光東照宮陽明門》（高野コレクション）
p.117/No.344 小杉未醒《日光》（高野コレクション）
p.117
迫内祐司 編『華厳社——下野の画人たち』
小杉放菴記念日光美術館 2022.9
迫内祐司「昭和初期における栃木県美術の一側面——野州美術会・華厳社・下野美術展覧会」pp.6-13
図版：No.12 小杉放庵《観世音菩薩》（小杉放菴記念日光美術館蔵）
p.32/No.13 小杉放庵《芍薬》（小杉放菴記念日光美術館蔵）
p.35/No.14 小杉放庵《闘球図》（個人蔵）p.33/No.15 小杉放庵《林処士像》p.34/No.16 小杉放庵《寒山入壁図》（小杉放菴記念日光美術館蔵）
p.36/No.17 小杉放庵《墨竹蠅螂図》（小杉放菴記念日光美術館蔵）
p.37/No.18 小杉放庵《水亭》（小杉放菴記念日光美術館蔵）
p.38/No.19 小杉放庵画・山中蘭徑 賛《折脚鑑》（小杉放菴記念日光美術館蔵）
p.39
再録資料 pp.82-92
華厳社会員列伝：迫内祐司「小杉放庵 [放菴]」pp.102-103
作品解説：迫内祐司「No.12 小杉放庵《観世音菩薩》（小杉放菴記念日光美術館蔵）/No.13 小杉放庵《芍薬》（小杉放菴記念日光美術館蔵）/No.14 小杉放庵《闘球図》（個人蔵）/No.15 小杉放庵《林処士像》/No.16 小杉放庵《寒山入壁図》（小杉放菴記念日光美術館蔵）/No.17 小杉放庵《墨竹蠅螂図》（小杉放菴記念日光美術館蔵）/No.18 小杉放庵《水亭》（小杉放菴記念日光美術館蔵）/No.19 小杉放庵 画・山中蘭徑 賛《折脚鑑》（小杉放菴記念日光美術館蔵）」pp.116-118
三谷紘平・松岡李奈 編『岩石の王国—耶馬溪はなぜ国名勝になったのか—』
中津市歴史博物館 2023.1
図版：No.41 田山花袋 文・小杉未醒 画『耶馬溪紀行』（中津市歴史博物館蔵）
p.42/No.49 田山花袋・小杉放菴写真（田山花袋記念文学館蔵）/No.55 小杉未醒 筆・田山花袋 賛《深耶馬紅葉溪》（田山花袋記念文学館蔵）
p.46/No.56 小杉未醒 筆・田山花袋 賛《耶馬溪渡船》（中津市歴史博物館蔵）
p.46/No.57 小杉未醒 筆・田山花袋 賛《羅漢時より遠望》（中津市木村記念美術館蔵）
p.47/No.58 小杉未醒 筆・田山花袋 賛《うつくし溪》（筑紫亭蔵）
p.47/No.59 小杉未醒 筆・田山花袋 賛《中津城址水亭》（筑紫亭蔵）
p.47/No.60 小杉放庵《耶馬溪図巻》（個人蔵）
p.48/No.61-65 《小杉放菴日記》（小杉放菴記念日光美術館蔵）
p.50/No.70 《小川果仙宛小杉未醒書簡》（個人蔵）
p.52/No.73 小杉放庵 筆・国府犀東 賛《平田古城八景》（個人蔵）
p.55/

No.74 小杉放庵 筆・国府犀東 賛《岳抽水滌帖》（個人蔵）p.55
国立西洋美術館・TBS テレビ編『憧憬の地 プルターニューモネ、ゴーガン、黒田清輝らが見た異郷』
TBS テレビ 2023.3
図版：No.131 小杉未醒《入江の一角（プルターニュ風景）》（小杉放菴記念日光美術館蔵）/No.132 小杉未醒《牛》（小杉放菴記念日光美術館寄託）/No.133 小杉未醒《プルターニュ村の八月》（栃木県立美術館蔵）/No.134 小杉未醒《楽人と踊子》（茨城県近代美術館蔵）
柳沢秀行「日本人画家のプルターニュ」pp.33-40
出品作品リストおよび主要作家作品解説：竹本芽依「小杉未醒（放菴）」p.219/柳沢秀行「cat.131-134 小杉未醒《入江の一角（プルターニュ風景）》《牛》《プルターニュ村の八月》《楽人と踊子》」p.220
田所夏子・原小百合 編『創造の現場—映画と写真による芸術家の記録』
公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館 2023.9
図版：No.40 小杉未醒《山幸彦》（アーティゾン美術館蔵）p.71/No.41 小杉未醒《採果童子》（アーティゾン美術館蔵）p.70
作家解説：田所夏子「小杉未醒（放庵、放菴）」p.70
一般社団法人春陽会ほか 編『春陽会誕生 100 年 それぞれの闘い』
株式会社アルテヴァン 2023.9
図版：No.1-1-1 小杉未醒《双馬図》（小杉放菴記念日光美術館蔵）
p.30/No.2-1-1 小杉放庵《母子採果》（小杉放菴記念日光美術館蔵）
p.70/No.2-1-2 小杉放庵《羅摩物語》（東京国立近代美術館蔵）
p.70/No.3-1-2 小杉放庵《松下人》（栃木県立美術館蔵）
p.96
木本文平「春陽会誕生への序奏」pp.14-18
木村理恵子「戦前期の春陽会の『日本人の絵画』への志向——同時代の批評から」pp.177-179
鈴木幸野「長野における春陽会の研究会活動—鹿苑会を磁場として」pp.180-182
作家・作品紹介：木村理恵子「小杉放菴」p.202
上田市立美術館、東御市梅野記念絵画館・ふれあい館 編『上田クロニクル —上田・小県洋画史 100 年の系譜—』
上田クロニクル展実行委員会 2024.1
図版：No.27 小杉未醒《農民美術デザイン画 煙草入れ》上田市立美術館蔵
p.29/No.37 小杉未醒《水亭獨坐》佐久市立近代美術館蔵
p.33/No.38 小杉放庵《浴童》佐久市立近代美術館蔵
p.33
小笠原正・日向大季「上田クロニクル —上田・小県洋画史 100 年の系譜—」pp.6-15
小笠原正・日向大季 編「上田小県地域美術史年譜」pp.105-108
主要作家紹介：大塚菜々美「小杉未醒（放菴）」p.110
佐々木奈美子・平石昌子 編『日本が見たドニ | ドニの見た日本』
久留米市美術館 2024.8
図版：No.75 小杉未醒《婦人立像》（栃木県立美術館蔵）p.90
作品解説：佐々木奈美子「No.75 小杉未醒《婦人立像》（栃木県立美術館蔵）」p.90
作家解説：長嶋圭哉「作家解説 小杉未醒」p.173

4 収蔵品図録・コレクション展図録

伊達巽 編『明治神宮聖徳記念壁画集』
明治神宮社務所 1961.2
『秘められたコレクション 日本洋画史展』
日動画廊 1975.6
加藤僖一 編『良寛記念館』
考古堂書店 1975.10
河北倫明 監修『山種美術館 近代日本画百選』
財団法人山種美術財団 1976.7
図版：62 小杉放庵《漁樵問答》

飯島勇「画題解説」
『足立美術館所蔵 近代の日本画 第4集』
足立美術館 1976
『栃木県立美術館所蔵品 1972-1982 I』
栃木県立美術館 1983.3
『東京芸術大学芸術資料館 蔵品目録 絵画Ⅱ』
東京芸術大学芸術資料館 1983.3
『中野美術館作品選』
中野美術館 1984
足立美術館学芸部 編『足立美術館名品一〇〇選』
財団法人足立美術館 1988.9
『出光美術館蔵品図録 小杉放菴』
出光美術館 1989.8
『福島県立美術館収蔵作品図録 1984-1989』
福島県立美術館 1990.3
根崎光男・堀越徳雄 編『野間コレクション 近代日本画の名作展』
練馬区立美術館 1991.4
郵政省簡易保険局 監修『扇——簡易保険創業 75 周年記念 扇子
原画集』財団法人簡易保険加入者協会 1991.10
『尾道市立美術館蔵品目録 1992』
尾道市立美術館 1992.3
財団法人横山大観記念館 監修『横山大観記念館所蔵品目録』
鉦鼓洞 1993.3
『修善寺町所蔵 近代日本画—巨匠たちの青春—』
修善寺町 1993.3
『新潟県立近代美術館所蔵品目録』新潟県立近代美術館 1993.7
佐藤道信 監修、桐原浩・宮下東子 編『「野間コレクションとその
時代」展 近代市民社会の美術と蒐集家』
新潟県立近代美術館 1993.9
『秋田県立近代美術館所蔵作品図録』
秋田県立近代美術館 1994
鹿沼市文化財保護審議会 編『鹿沼市の文化財——文化の再発見
と心の継承』鹿沼市教育委員会 1995.2
『日光東照宮美術館 東照宮旧社務所・朝陽閣の障壁画』
日光東照宮社務所〔編集発行〕1995.5
『収蔵品図録 1995』
長谷川町子美術館 1995.12
『Ishibashi Collection 1996』
財団法人石橋財団・石橋財団ブリヂストン美術館・石橋財団
石橋美術館 1996.4
大森哲也・江尻潔・竹山博彦・木村理恵子 編『栃木県立美術館所蔵
名品展』足利市立美術館 1996.6
『駿府博物館所蔵名品図録』
財団法人駿府博物館 1996.6
『茨城県近代美術館所蔵作品図録』
茨城県近代美術館 1997.3
『宇都宮美術館収蔵作品選』
財団法人うつのみや文化の森宇都宮美術館 1997.3
『小杉放菴記念日光美術館 所蔵作品目録』
小杉放菴記念日光美術館 1997.10
『高崎タワー美術館所蔵作品図録Ⅰ』
高崎タワー美術館 1998.6
加藤儋一 編著『良寛記念館と出雲崎』
考古堂書店 1999.1
＊改訂2版 2009.6
細野正信・佐藤光信 監修『ロシア国立東洋美術館所蔵 首藤コレ
クション 幻の日本画名品展』
「幻の日本画名品展」事務局 1999.6
黒羽町芭蕉の館特別企画展運営委員会 編『開館 10 周年記念
黒羽町芭蕉の館コレクション展』黒羽町教育委員会 1999.6
『桑山美術館所蔵品選』
財団法人桑山清山会桑山美術館 2000.4
『松本コレクション 150 選』
財団法人大川美術館 2000.7

図版：小杉放菴《金太郎（キジとウサギ）》p.30
『青梅市立美術館蔵品目録（2）』
青梅市立美術館 2000.11
『宇都宮美術館収蔵作品総目録 2000』
宇都宮美術館 2001.3
『明治神宮 聖徳記念絵画館壁画』
明治神宮外苑 2001.3
『松本市美術館所蔵品目録 2002』
松本市美術館 2002.4
『五島美術館コレクション 近代の日本画』
五島美術館 2002.4
『小杉放菴記念日光美術館 所蔵作品撰』
小杉放菴記念日光美術館 2002.7
田中正史「小杉放菴の生涯と画業」/田中正史・鈴木日和 編
「小杉放菴年譜」/田中正史・鈴木日和 編「主要文献目録」
『泉屋博古館 名品選』
財団法人泉屋博古館 2002.10
原田佳子『巖島平成絵馬鑑』
巖島平成絵馬鑑刊行会 2003.3
図版：小杉放庵《社頭眺望》1933 年 p.65
作家・作品解説 小杉放庵《社頭眺望》p.117
『東京国立近代美術館所蔵品目録 絵画』
東京国立近代美術館 2004.3
財団法人出光美術館 編『出光コレクション誕生一〇〇周年 蒐集
家・出光佐三のころ』同館発行 2004.6
内藤正人「映し出す日本のころ——画家放菴との魂の交流」
内藤正人「作品解説 小杉放菴 52—太宰師大伴旅人卿讃酒像」
p.77/「作品解説 小杉放菴 53—天のうづめの命」p.78/「作品
解説 小杉放菴 54—梅花小禽」p.80/「作品解説 小杉放菴 55
—南枝第一春」p.82/「作品解説 小杉放菴 56—溪のほとり」
p.83/「作品解説 小杉放菴 57—踊る良寛」p.84/「作品解説 小
杉放菴 58—金太郎」p.85
『富山県水墨美術館所蔵 近代の水墨画——墨色の魅力』
茨城県天心記念五浦美術館 2004.7
根崎光男 監修『美のながれ 講談社野間記念館名品図録』
財団法人野間文化財団 2005
川口直宜 編『泉屋博古館分館 近代洋画名品撰—住友コレクショ
ン—』
泉屋博古館分館 2006.11
カラー図版：No.20 小杉放菴《金太郎遊行図》p.28
作家解説：小杉未醒（放庵）p.68
『出光美術館名品展Ⅱ』
財団法人出光美術館編集発行 2006.11
カラー図版：No.116 小杉放菴《出関老子》p.138/No.117 小杉
放菴《湧泉》p.139/No.118 小杉放菴《天のうづめの命》p.139
内藤正人「作品解説 116 出関老子 小杉放菴」p.166/「作品
解説 117 湧泉（いずみ）小杉放菴」p.166/「作品解説 118 天
のうづめの命 小杉放菴」p.166
『豊田市美術館 所蔵作品目録 国内作家編』
豊田市美術館 2006.3
『伊豆市所蔵美術品図録〈日本画〉』
伊豆市 2007.3
『茨城県近代美術館所蔵作品撰』
茨城県近代美術館 2008
『出光コレクション名品展 近代日本の巨匠たち』
財団法人出光美術館 2008.9
出光佐千子「清雅な美による共鳴——出光佐三と放菴・波山」
pp.69-70
出光佐千子「作品解説 小杉放菴 46—山中秋意」p.82/「作品
解説 小杉放菴 47—春禽・秋溪」p.82/「作品解説 小杉放菴
48—さんたくろす」p.83/出「作品解説 小杉放菴 49—良寛和
尚」p.83/「作品解説 小杉放菴 50—金時遊行」p.83
『創立百三十周年記念 美術品図録』
栃木県立宇都宮高等学校 2008.10

『高島屋史料館所蔵名品展』
 泉屋博古館 2009.7
 『開館 20 周年記念 黒羽芭蕉の館コレクション展』
 大田原市黒羽芭蕉の館 2009.10
 『府中市美術館所蔵品目録 [追補]』
 府中市美術館 2010.9
 『古川美術館 名品選』
 古川美術館 2011.10
 『群馬県立館林美術館所蔵品目録』
 群馬県立館林美術館 2012.3
 新潟市美術館 編『ふるさと燦爛 育まれた作家たち～旧 B S N
 新潟美術館所蔵品を中心に』旧 B S N新潟美術館所蔵品展実
 行委員会 2012.4
 木本文平 監修、土生和彦 編『富山県水墨美術館名品展 墨色の
 輝き』碧南市藤井達吉現代美術館 2013.1
 『郡山市立美術館所蔵品目録 2012』
 郡山市立美術館 2013.3
 『佐久市立近代美術館 開館 30 周年記念 所蔵名品撰 (時代)』
 佐久市立近代美術館 2013.5
 『田山花袋記念文学館』
 館林市教育委員会文化振興課 2015.3
 図版：小杉未醒 画・田山花袋 詩賛《耶馬溪》1927 年
 『美を愉しむこころ 福島美術館ガイドブック』
 社会福祉法人共生福祉会福島美術館 2015.11
 図版：小杉放菴《雉》p.33
 『新潟県出雲崎町 良寛記念館 所蔵品図録』
 良寛記念館 2017.3
 モノクロ図版：小杉未醒《竹の林》p.114
 カラー図版：小杉放菴《良寛詩意》p.134
 各頁に無署名の作品解説、作家解説あり
 木本文平 監修『片山照子・繁コレクション目録』
 碧南市藤井達吉現代美術館 2019.3
 『細見美術館 華麗なる日本画コレクション名品選』
 細見美術館 2021.3
 カラー図版：小杉放菴《松下閑談》p.62
 作家略歴：小杉放菴 p.167
 末武さとみ 編『吉澤コレクションを読み解く—江戸から近代、「関
 東南画の庭」で—』
 佐野市立吉澤記念美術館 2023.1
 カラー図版：No.38 小杉未醒《瀧十題》p.37
 太平有希野「作品解説 38 瀧十題」p.84

Ⅲ 小杉放菴の関連文献

1 単行図書 | 評伝

木村重夫『小杉放菴——隠遁画家の生涯と画業』
 造形社 1960.11
 小林茂兵衛 編著『放庵先生と私』
 私家版 1964.11
 長谷川好三「序」
 大津平八郎「放庵先生」
 小林茂兵衛・長谷川好三「対談 放庵先生と私」
 小杉放庵「和歌遺詠」※歌集『爐』より抄出
 小林茂兵衛「杉田さんと「ときわ会」」※前田香径『杉田雨
 人』1961 より再録
 寺内恒夫『小杉放庵の生涯と宇都宮』
 私家版 1967.3
 野中退蔵『小杉放庵——生涯と芸術』
 未来社 1979.10
 石川正次『小杉放菴の原風景 そして小杉放菴記念日光美術館は
 こうして創られた』文芸社 2000.9
 石川正次『いしぶみの語るらく——小杉放菴の歌碑』

雁塔舎 2005.1
 金仙奇『小杉未醒研究——明治三十年代の詩について』(邦文)
 제이앤씨 2009.3 ※武庫川女子大学 1999 年度博士論文
 川村伸秀『詳伝 小杉放菴 近代日本を生きた画家とその交流』
 筑摩書房 2025.8

2 単行図書 | 小杉への言及があるもの

国木田治子 編『独歩書簡』
 新潮社 1910.5
 明治 38 年 4 月 7 日付小杉未醒宛国木田独歩書簡 pp.243-244/
 明治 38 年 8 月 17 日付小杉未醒宛国木田独歩書簡 pp.253-
 254/明治 39 年 9 月 3 日付吉江孤雁宛国木田独歩書簡 pp.265-
 266/明治 39 年付小杉未醒宛国木田独歩書簡 pp.269-270/1906
 年付小杉未醒宛国木田独歩書簡 pp.270-272/明治 39 年付小
 杉未醒宛国木田独歩書簡 pp.272-273/明治 40 年 6 月 24 日付
 小杉未醒宛国木田独歩書簡 pp.274-275/明治 40 年 8 月 26 日
 付小杉未醒宛国木田独歩書簡 pp.276-278/明治 40 年 9 月 8 日
 付小杉未醒・杉田雨人宛国木田独歩書簡 pp.280-281/明治 40
 年 27 日付小杉未醒宛国木田独歩書簡 pp.285-286/明治 40 年
 28 日付国木田治子宛国木田独歩書簡 p.286/明治 40 年 10 月
 9 日付小杉未醒宛国木田独歩書簡 pp.290-292/明治 40 年 28
 日付小杉未醒宛国木田独歩書簡 pp.295-296/明治 40 年 11 月
 2 日付小杉未醒宛国木田独歩書簡 p.299/明治 40 年 11 月 17
 日付小杉未醒宛国木田独歩書簡 pp.300-301/明治 40 年 20 日
 付杉田雨人宛国木田独歩書簡 pp.301-302
 横山健堂『趣味と人物』
 中央書院 1913.10
 「立秋」/「書斎より」
 ＊縮刷版：1914.9
 ※渡欧中の小杉から送られてきた短歌が紹介されている。
 押川春浪『怪風一陣』
 本郷書院 1914.6
 「(二八) 未醒画伯一命を棒に振らんとす」
 横山健堂『鉛筆だより』
 春陽堂 1914.6
 「「ポプ天」遠征記」
 田山花袋『一日の行楽』
 博文館 1918.2
 「湊の杉田氏の別荘」pp.339-342
 島崎藤村『エトランゼエ』
 春陽堂 1922.9
 川路柳虹『現代日本美術界』
 中央美術社 1925.9
 「春陽会の人々」
 大町桂月『桂月全集』第 12 巻雜篇 [詩歌 俳句 書翰 小品]
 興文社内桂月全集刊行会 1926.10
 「雑誌を贈られて (1909 年 6 月 25 日付田岡嶺雲宛書簡)」
 pp.91-92
 「八甲田探賞 (1922 年 8 月 25 日付石川寅吉宛書簡)」p.318
 時事新報社政治部 編『手紙を通じて』
 宝文館 1929
 「国木田独歩氏より小杉未醒画伯へ 傷ましき病文士の依頼」
 大町桂月『桂月全集』別巻
 興文社内桂月全集刊行会 1929.10
 「山は富士、湖は十和田」p.99-107/「蕨の神秘境」pp.107-112
 「蕨温泉」pp.112-122/「蕨温泉籠城記」pp.122-149/「裸男日
 記 三」pp.526-527/「日記 九」p.731/「日記 十一 第二の東
 京湾、十和田、八甲田」pp.737-749/「日記 二十四」pp.925-
 926/「甲州日記ノ (四)」pp.1004-1011/「甲州補遺 大正十三
 年夏」pp.1012-1016/「鹿澤温泉日記」pp.1024-1030/「蕨日記」
 pp.1030-1042/「蕨日記 一」pp.1049-1069/「書翰 大正十三年
 六月十九日 中村条吉氏へ」p.1511/「書翰 大正十三年七月一

日 中村桑吉氏へ」 p.1512
田中貢太郎「桂月先生の人と文章」pp.1757-1797/大町文衛「父の最後の冬籠り」 pp.1821-1833/大町芳文「桂月全集別巻を上梓するに際して」跋文 pp.4-8
* 日本図書センター 1980.1
遠藤健三郎 編『栃木県百名家録』
下野新聞株式会社 1933.10
「小杉未醒君 洋画界の泰斗・春陽会の創立者——東洋固有の思想を信念とす」
増田龍雨『龍雨俳話』
宝文館 1933.7
「棕櫚の雨（小杉未醒・中川一政両吟）遊評」 pp.144-156
大町桂月『桂月紀行文集』
春陽堂 1933
「薦温泉 二、小杉未醒画伯の薬師如来」
高村真夫 編『小山正太郎先生』
不同舎旧友会 1934.9
吉井勇『歌集 人間経』
政経書院 1934.10
「巻四 さすらひの旅路にありて詠みける歌」
* 『定本 吉井勇全集』第2巻
河東碧梧桐『煮くたれて』
双雅房 1935.11
「画人投影」
* 『河東碧梧桐全集』第14巻
沼波瓊音『瓊音全集 第四巻 和歌俳句篇』
瓊音全集刊行会 1935
「〔詩〕未醒を憶ふ」 pp.441-444
※初出は『大疑の前』
吉井勇『娑婆風流』岡倉書房 1935
「酒客列伝」
* 『定本 吉井勇全集』第7巻
中川一政『旅窓読本』
学芸社 1936
「山菜と岩」/「武蔵野日記」
吉井勇『わびずみの記』
政経書院 1936
「傷心抄 春待つ心」 ※小杉・中川一政の連句「棕櫚の雨」について/「奈読美曾乃書 続癡人の言葉 生きたる屍」/「溪鬼荘記」 ※小杉・伊野部恒吉（酒麻呂）との佐渡旅行など/「相聞居歌話 榮前独語 小杉放庵の歌」
* すべて『定本 吉井勇全集』第7巻
書画骨董普及会 編『古今趣味の書画骨董』
大洋社出版部 1938.5
「第五編 現代画家逸話集——未醒芸妓の味ひを知る」
吉井勇『天彦』
甲鳥書林 1939.10
「洛中洛外」
* 『定本 吉井勇全集』第2巻
小川芋銭『芋銭子文翰全集』下巻
中央公論社 1940.2
明治40年8月20日付小杉未醒宛小川芋銭書簡/昭和4年8月17日付小杉放庵宛小川芋銭書簡
吉井勇『歌集 風雪』
八雲書林 1940.10
「放庵の絵に題す」
* 『定本 吉井勇全集』第2巻
吉井勇『洛北随筆』甲鳥書林 1940
「鏡花先生追憶」
* 『定本 吉井勇全集』第7巻
吉井勇『遠天』
甲鳥書林 1941.5
「〔短歌〕比叡諸相」/「〔短歌〕酒鬼図」
* 『定本 吉井勇全集』第2巻

佐藤垢石『たぬき汁』
墨水書房 1941.9
「夫婦狸」
西原重治 編輯監修、斎藤金七 編輯主任『西川光二郎遺著 入神第一』子供の道話社 1941.11
西川文子「思ひ出の記」 pp.208-220
※1906年3月小杉が住んでいた本郷林町の家に西川家が転居してきた話。
木村重夫『現代日本画家論』
多摩書房 1942.2
「小杉放庵論」
吉井勇『わが歌日記』
甲鳥書林 1942.2
「林間閑吟図」/「安土の寺」/「酒鬼図」
* 『定本 吉井勇全集』第2巻
吉井勇『歌随筆 雷』
天理時報社 1942.4
「佐渡の荒波」* 『定本 吉井勇全集』第8巻/「箭島経島」
* 『定本 吉井勇全集』第8巻/「林間閑吟」* 『定本 吉井勇全集』第7巻/「酒麻呂」* 『定本 吉井勇全集』第7巻/「病中口占」* 『定本 吉井勇全集』第7巻
吉井勇『相聞居随筆』
甲鳥書林 1942.5
「相聞居随筆 安土行」* 『定本 吉井勇全集』第8巻/「相聞居随筆 溪鬼荘を思ふ」* 『定本 吉井勇全集』第7巻/「放庵素描」* 『定本 吉井勇全集』第7巻/「歌人放庵」* 『定本 吉井勇全集』第7巻/「李長吉」※小杉の『唐詩及唐詩人』について * 『定本 吉井勇全集』第7巻/「筑紫雜記 鎮西画冊」
* 『現代日本紀行文学全集 南日本編』1976/「歌行脚短信」
* 『定本 吉井勇全集』第8巻
吉井勇『歌集 霹靂』
一条書房 1943.1
「山居」 * 『定本 吉井勇全集』第2巻
斎藤弔花『国木田独歩と其周圍』
小学館 1943.3
「独歩と未醒（放庵）」
* 復刻版：牧野出版 2000.5
吉井勇『歌境心境』
湯川弘文社 1943.1
「酒麻呂」 * 『定本 吉井勇全集』第7巻
「放庵の歌業」 * 『定本 吉井勇全集』第7巻
「落漠誰家子」 * 『定本 吉井勇全集』第8巻
吉井勇『百日草』
桜井書店 1943
「安土懷古」 * 『定本 吉井勇全集』第8巻
「洛北消息（一）」 * 『定本 吉井勇全集』第8巻
「放庵哭兒の歌」
水原秋櫻子 編『吟行読本』
日新書院 1943
水原秋櫻子「赤城の一夜」
※小杉放庵、岸浪百草居、中川一政らと赤城山で過ごした話
* 『水原秋櫻子俳句と随筆集 第三巻 鳥影花影』1974
石井鶴三 著、中島謙吉 編『改訂増補版 凸凹のおぼけ』
二見書房 1943.11
「放庵流小太刀の由来」
※春陽会雑報 第九回展覧会第一号 1931.4
吉井勇『旅塵』
櫻井書店 1944.2
「鎮西画冊」/「佐渡旅情」
* 『定本 吉井勇全集』第2巻
吉井勇『歌集 玄冬』
創元社 1944.6
「金北山」
* 『定本 吉井勇全集』第3巻

- 吉井勇『新日本歌集 金泥』
八雲書店 1945.11
「こころ足る」
＊『定本 吉井勇全集』第3巻
- 吉井勇 選『現代名歌選』
養徳社 1945.12
「小杉放庵」 pp.132-133
＊『定本 吉井勇全集』第4巻
- 吉井勇『流離抄』
創元社 1946.12
「迦樓羅篇 小杉放庵君に」/「山居の友 再び小杉放庵君に」
/「放庵来」/「遍路行」/「酒鬼の歌」/「癡人独語」
＊すべて『定本 吉井勇全集』第3巻
- 佐藤垢石『望妖記』
右文社 1947.2
「夫婦狸」
- 吉井勇『歌境心境』
弘文社 1947
「酒麻呂」/「放庵の歌業」/「歌人放庵」/「放庵素描」
＊『定本 吉井勇全集』第7巻
- 中西悟堂『鳥を語る』
星書房 1947.6
「或る日の放庵画室」
＊中西悟堂『定本野鳥記 第五巻 人と鳥』1964
- 岸浪百艸居『画魚談叢』
富国出版社 1948.5
「魚鳥とびある記」 pp.29-43 ※初出：『つり人』1946.8
「鰻饒舌」 pp.44-69
- 斎藤昌三『少雨荘交游録』
梅田書房 1948.12
「三、浪人時代——小杉放庵画伯」 p.30
- 木村荘八『東京の風俗』
毎日新聞社 1949.2
「小杉放庵」
- 河原義和『現代の日本画家』
美術主義評論社 1951.7
「小杉放庵論」
- 横山大観『大観画談』
大日本雄弁会講談社 1951.8
「再興日本美術院」
- 佐藤垢石『隨筆天狗談』
華頂書房 1953.2
「じゃが豆」
- 吉井勇『東京・京都・大阪 よき日古き日』
中央公論社 1954
「落漠抄」＊『定本 吉井勇全集』第8巻
＊平凡社（平凡社ライブラリー581）2006.7
- 富木友治 編『大威徳山』
北仙民友社 1954.6
- 河原義和『現代日本画の百撰印譜』
美術主義評論社 1954.7
「小杉放庵」
図版：小杉放庵《いそひよ》
- 読売新聞社 編『新・人物風土記』第2巻
読売新聞社 1955.4
「栃木県の巻」
- 湯沢三千男『天井を蹴る』
日本週報社 1956.1
- 吉井勇『歌集 形影抄』
甲鳥書林 1956.9
「本朝道釋」 pp.107-108 ＊『定本 吉井勇全集』第3巻
「対石独語」 p.197-198 ＊全集未確認
- 片岡良一 監修、小田切秀雄 編『講座日本近代文学史 第二巻
近代文学の成長と確立 明治（下）』大月書店 1956.11
- 西田勝「日露戦争と文学」
中西悟堂『野鳥と生きて』ダヴィッド社 1956.12
「疎開」 p.185-214
※小杉からの疎開時の書簡を紹介。小杉の自著未収録の短歌が記されている。
- 船越義珍『空手道一路』
産業経済新聞社 1956
「小杉放庵画伯の応援」/「小杉未醒画伯 色紙」
＊講談社 1976.12/愛蔵版：榕樹書林 2004.12
- 生方たつゑ『白い風の中で』
白玉書房 1957.10
「〔短歌〕小杉放庵先生邸」
＊『現代短歌大系』第5巻 1973
- 西田勝『日本革命文学の展望』
誠信書房 1958.2
「反戦文学の先驱者たち」 pp.70-98
※初出：「日本反戦文学の先驱者たち」新日本文学 1952.5
「田岡嶺雲『明治叛臣伝』の意義」 pp.99-129
※初出：田岡嶺雲『明治叛臣伝』青木書店 1953 解説
「雑誌『火鞭』の成立について—プロレタリア文学発生論—」
pp.130-175 ※初出：文学（岩波書店）1953.10
「明治の社会主義文学」 pp.199-236
※初出：『近代日本思想史』第2巻 1956
- 志賀直哉・佐藤春夫・川端康成 監修『現代紀行文学全集 第五巻
南日本篇』附録
修道社 1958.9
小杉一雄「旅と父放庵」 pp.5-6
- 湯沢三千男『出入無事』
俳句研究社 1959.4
- 寺村天風『画壇随想 今人古人』上巻
帝都日日新聞社 1959.5
「小杉放庵氏」 pp.154-157
- 『観光資源要覧 第六編 近代文学碑』
運輸省観光局 1959.11
「小杉放庵歌碑」 p.166 ※大町市歌碑
- 樋口配天『明治会见記』
理論社 1960.8
「明治の花見」
- 日野耕之祐『美術記者 15 年』
日本美術社分室 1962.1
「小杉放庵画業六〇年展」
- 高雄義堅『昭和仏教全集 4 老いをこえる力 高雄義堅集』
教育新潮社 1962.3
「戸隠の春——放庵の歌」 pp.238-239
- 渡辺守順『文学散歩 比叡山』
白川書院 1963.5
「荣西禅師旧跡 紀行・小杉放庵『琵琶湖をめぐる』より」
- 中西悟堂『定本野鳥記 第五巻 人と鳥』
春秋社 1964.3
「或る日の放庵画室」
- 生方たつゑ『急がない人生』
日本経済新聞社 1964.4
「あたりまえの顔——小杉放庵先生のこと」
＊「小杉放庵」『邂逅の人』1978
- 小田俊郎『医学者南船北馬 大学教授四十年の回想』
六月社 1964.6
「大阪市立大学病院の起源と小杉放庵未醒の壁画炎帝神農採薬図について」
- 本間久雄『日本文学全史 巻14 統明治文学史 下巻』
東京堂 1964.10
「第六篇 第二章 日露戦争前後——日露戦争と文学」
- 『新・人国記』8
朝日新聞社 1964.11
- 木村重夫『現代絵画の四季』

近代美術研究会 1964.11
「小杉放庵」
窪田空穂『窪田空穂全集 第11巻 近代文学論』
角川書店 1965.3
「小杉放庵 『南京余唱』と『放庵歌集』 新刊の二歌集」
国木田独歩『国木田独歩全集』第1巻月報
学習研究社 1965.3
西條八十「国木田さんの想い出」
窪田空穂『窪田空穂全集』第2巻月報5
岩波書店 1965.7
生方たつゑ「おかあさんと呼ばれた空穂先生」
国木田独歩『国木田独歩全集』第8巻月報
学習研究社 1965.10
木戸清平「放庵の死」
中田宗男『日本画の周辺』
美術評論社 1966.1
「小杉放庵」
国木田独歩『国木田独歩全集』第4巻月報
学習研究社 1966.2
小田切進「独歩と未醒」
尾崎宏次 編『秋田雨雀日記』第3巻
未来社 1966.2
1942年7月16日日記 p.336
辻雙明『禪骨の人々——師と友の群像』
春秋社 1966.3
秋山安三郎『隨筆ひざ小僧』
雪華社 1966.9
「東海道線旅行図会」
神戸新聞学芸部 編『わが心の自叙伝 〈一〉』
のじぎく文庫 1967.10
「亀高文子」
野見山朱鳥『俳句への招待』
菜殻火社 1967
「蕪村」
*『野見山朱鳥全集』第3巻 1991
中川一政『遠くの顔』
中央公論社 1967
「折り折りの人 小杉放庵」
難波専太郎『日本画家二百六話』
美術探究社 1968.1
「郷倉千鞆——小杉放庵老の追憶」
『山本周五郎ノート 〈13〉』（『山本周五郎小説全集』32 附録）
新潮社 1968.5
木村久邇典「山本周五郎氏とともに 〈4〉」
* 木村久邇典『素顔の山本周五郎』1970
針重敬喜『テニスの人々』
渡辺一郎・小杉二郎〔発行〕1968.8
「十三 爛熟期の猛者」pp.60-63/「十四 ポプラの面々」pp.63-86/「十五 小杉放庵画伯」pp.86-93/伊藤滋朗・植村陸男・鴨打清子・北原濡子・久保圭之助・森武夫・山崎喜作「針重敬喜を語る（座談会）」pp.112-121
朴春日『近代日本文学における朝鮮像』
未来社 1969.11
「小杉未醒の反戦詩と「敬愛する朝鮮」」
* 増補版：1985.8
高宮太郎 編『下野文籍志』
しもつけ社 1969.12
木村久邇典『素顔の山本周五郎』
新潮社 1970.2
「旅絵師濤石の系譜」pp.47-51
※初出：『山本周五郎ノート 〈13〉』1968
木村荘八『繪のある手紙』
中央公論美術出版 1970.4
「小杉放庵宛書簡」

馬場桂一 編『下野人物風土記 第4集』
栃木県連合教育会 1971.5
寺内恒夫「美と真実を求めて——画家・小杉放庵」
『栃木県人物伝』
下野新聞社 1971.6
船生紹夫「小杉放庵 最後の文人墨客 “人間賛歌” 追求の生涯」
※初出＝下野新聞 1970.9.20
西田勝『近代文学の発掘』
法政大学出版局 1971.8
「日本反戦文学の前駆者たち」
※初出：新日本文学 1952.5
『栃木県の美術』
栃木県立美術館〔編集発行〕1972
大町山岳博物館 編『北アルプス博物誌 1 登山・民俗』
信濃路 1972
福沢武一「山麓の文学碑——小杉放庵歌碑 大町市葛温泉仙人岩」
『方寸』復刻版
三彩社 1973.3
「方寸」第一巻解説：石井潤『『方寸』概説（一）/「方寸」総目録 第一巻/小野忠重「創作版画の黎明—方寸の人たち—」
「方寸」第二巻解説：石井潤『『方寸』概説（二）/「方寸」総目録 第二巻/小野忠重「方寸の版画—とくに山本鼎によせて—」
「方寸」第三巻解説：石井潤『『方寸』概説（三）/「方寸」総目録 第三巻/小野忠重「森田恒友と平福百穂 方寸第三巻の版画に寄せて」
「方寸」第四巻解説：石井潤『『方寸』概説（四）/「方寸」総目録 第四巻/小野忠重「柏亭と未醒 “方寸” 第四巻に寄せて」
「方寸」第五巻解説：石井潤『『方寸』概説（五）/「方寸」総目録 第五巻/小野忠重「白羊・繁二郎・一磨 “方寸” の終刊に寄せて」
野田宇太郎「方寸」とパンの会——考察・明治末年美術文学交流史』
西田勝『近代文学の潜勢力』
八木書店 1973.5
「嶺雲全集編纂を志して直面したこと」pp.259-262
※『黒白』、岡上祖水について
※初出：日本古書通信 301号 1969.5
大岡信・塚本邦雄・中井英夫 編『現代短歌大系 第五巻 柴生田稔・生方たつゑ・窪田章一郎』
三一書房 1973.8
生方たつゑ「小杉放庵先生邸」
生方たつゑ『邂逅の人』
光風社書店 1978.6
「小川芋銭」pp.7-25 ※小杉・芋銭合作の手焙りについて/「小杉放庵」pp.69-81 ※初出の「あたりまえの顔——小杉放庵先生のこと』『急がない人生』1964 からかなり加筆。/「中西悟堂」pp.157-171 ※小杉から悟堂を紹介されたことについて
秦秀雄『珍品鑑賞』
五月書房 1979.4
「徳利の譜」4丁ウ-14 丁オ
水原秋櫻子『水原秋櫻子俳句と隨筆集 第三巻 鳥影花影』
求龍堂 1974.7
「赤城の一夜」
※小杉放庵、岸浪百草居、中川一政らと赤城山で過ごした話
※初出：水原秋櫻子 編『吟行読本』1943
矢部貞治『矢部貞治日記 櫟の巻』
読売新聞社 1974.8
p.214,680,742,761 で小杉に言及
出光佐三『出光佐三対談集 永遠の日本 二六〇〇年と三〇〇年』

平凡社教育産業センター 1975.6
「美と無私の心」pp.271-307
※小杉との出会いについて
近藤富枝『文壇資料 田端文士村』
講談社 1975.9
「第二章 未醒蛮民」/「第七章 道閑会」
*中央公論社（中公文庫）1983.10
沼尾正彦『日光 社寺と史跡』
金園社 1975.11
「五百城文哉の家と墓」/「小杉放庵の墓」/「小杉放庵」
太田喜久『横根風土記・大陸逃避行』
私家版 1975 頃
「小杉放庵先生」
志賀直哉・佐藤春夫・川端康成・小林秀雄・井上靖 監修『現代日本
紀行文学全集 南日本編』ほるぷ出版 1976.8
吉井勇「筑紫雜記 鎮西画冊」（『相聞居隨筆』より）pp.157-
158
堀江信男『茨城の近代文学—地方文学史の試み—』
笠間書院 1976.12
堀江信男・田中勝美 対談「国木田独歩」pp.196-202
※独歩の転地療養先を小杉が紹介したことなど
松下英麿『去年の人 回想の作家たち』
中央公論社 1977.8
「小杉放庵」
吉井勇『定本 吉井勇全集 第二巻 歌集Ⅱ』
番町書房 1977.12
「さすらひの旅路にありて詠みける歌 その五」（『人間経』より）pp.80-84/「洛中洛外 小杉放庵描くところのものに…」
（『天彦』より）pp.159-160/「放庵の絵に題す」（『風雪』より）
pp.224-225/「太鼓遠望 或る日比叡山に登りて詠める」（『遠天』より）pp.241-242/「酒鬼図」（『遠天より』）p.257, 259/「林
間閑吟図」（『わが歌日記』より）p.316/「安土の寺」（『わが
歌日記』より）p.326/「酒鬼図」（『わが歌日記』より）p.342/
「山居」（『霹靂』より）p.438/「鎮西画冊」（『旅塵』より）
p.494/「佐渡旅情」（『旅塵』より）pp.519-528
吉井勇『定本 吉井勇全集 第三巻 歌集Ⅲ』
番町書房 1978.1
「金北山」/「こころ足る」/「迦樓羅篇 小杉放庵君に」/「山
居の友 再び小杉放庵君に」/「放庵来」/「遍路行」/「酒鬼
の歌」/「癡人獨語」/「本朝道釋」/「唯我獨唸」
志村秀太郎『畸人・佐藤垢石』
講談社 1978.2
「異色の同人」pp.173-186
※文芸誌『つり人』と小杉との関わりについて
吉井勇『定本 吉井勇全集 第七巻 随想』
番町書房 1978.5
「酒客列伝（『娑婆風流』より）」pp.61-70/「傷心抄 春待つ心
（『わびずみの記』より）」pp.136-138 ※小杉・中川一政の連
句「棕櫚の雨」について/「奈読美曾乃書 続癡人の言葉 生き
たる屍（『わびずみの記』より）」pp.160-169/「溪鬼莊記（『わ
びずみの記』より）」pp.171-219 ※小杉・伊野部恒吉（酒麻呂）
との佐渡旅行など/「相聞居歌話 柴前独語 小杉放庵の歌
（『わびずみの記』より）」pp.246-250/「鏡花先生追憶（『洛北
隨筆』より）」pp.315-317/「回顧篇 林間閑吟（『雷』より）」
pp.418-419/「回顧篇 酒麻呂（『雷』より）」pp.421-422/「回
顧篇 病中口占（『雷』より）」pp.424-425/「溪鬼莊を思ふ（『相
聞居隨筆』より）」pp.467-471/「放庵素描（『相聞居隨筆』よ
り）」pp.471-474/「歌人放庵（『相聞居隨筆』より）」pp.474-
477/「李長吉（『相聞居隨筆』より）」pp.487-488 ※小杉の『唐
詩及唐詩人』について
吉井勇『定本 吉井勇全集 第八巻 隨筆・紀行・雜纂』
番町書房 1978.6
「安土懷古」pp.26-27/「洛北消息（一）」pp.34-35/「落莫抄」
pp.116-117/「八尾民謡」pp.249-250/「酒麻呂歌碑」pp.272-273/

「落漠誰家子」pp.317-319/「蜀魂行」pp.320-322/「佐渡の荒
波」pp.384-385/「箭島経島」pp.387-388/「安土行」pp.388-391/
「歌行脚短信」pp.421-431
渡辺幹雄『下野の歌文』
月刊さつき研究社 1978.7
「下野歌人の歌 明治時代以後 小杉放庵」pp.58-59
吉田ふじを『朱葉の記——夫・博と絵と旅と』
私家版 1978.10
「不同舎時代」
清水勲 編著『明治漫画館』
講談社 1979.3
栃木県文学散歩の会 編『栃木県の文学散歩』
月刊さつき研究社 1979.8
寺内恒夫「二、上都賀地方—栗野町—栗野町の文学—小杉放
庵の粕尾訪古」pp.49-50/寺内恒夫「二、上都賀地方—日光市—
小杉放庵の短歌と遺跡」pp.57-61/古川清彦「二、上都賀地
方—日光市—田岡嶺雲と浄光寺」pp.85-87/丸山一彦「二、上
都賀地方—日光市—裏見の滝 芭蕉句碑 含満が淵」pp.89-93/
多々良鎮男「二、上都賀地方—日光市—文学に描かれた華嚴
の滝」pp.94-98
有島生馬『一つの予言 有島生馬芸術論集』
形象社 1979.9
「小杉未醒と石井柏亭」pp.327-330
※初出：中央公論 1914.11
日光市史編さん委員会 編『日光市史』下巻
日光市 1979.12
原田勝正「第 14 章 日光市の成立 第 4 編近現代 第四節
市民憲章と名誉市民」
横田順彌『日本 S F こてん古典〔I〕』
早川書房 1980.5
岡倉天心『岡倉天心全集』第 6 巻月報 6
平凡社 1980.11
生方たつゑ「「人情の碗」に魅かれて」pp.1-2
※小杉と岡倉天心について
野中退蔵『栃木県の絵画』
栃木県教育委員会 1981.3
「小杉放庵」pp.154-177
*『行餘芸談 第 15 号 野中退蔵先生論文・随想集』1998
田中日佐夫『美術品移動史近代—日本のコレクターたち—』
日本経済新聞社 1981.11
「出光佐三」pp.164-180
※初出：『戦後美術品移動史（36-37）』芸術新潮 1976.1-2
斎藤隆三『横山大観』
中央公論美術出版 1982.3
「縦横会からおとぎく会」pp.76-79/「日本美術院再興」pp.98-
108
會津八一『會津八一全集』第 11 巻
中央公論社 1982.10
「日記」p.22,41,44,61-63,65,77,180,196,201,205-206,232
「放庵の『石』を紹介す」pp.351-352 ※初出：産業経済新聞
1954.2.15
吉田一穂『定本 吉田一穂全集』Ⅱ
小澤書店 1982.12
「放庵個展」
會津八一『會津八一全集』第 9 巻 書簡 中
中央公論社 1983.1
小杉放庵への言及がある書簡：No.904 1934.4.9 付平和新吉宛
書簡 pp.122-123/ No.1035 1939.10.7 付吉野秀雄宛書簡 pp.195-
196/ No.1372 1944.9.20 付松井敬宛書簡 pp.391-392/ No.1380
1944.12.28 付丹呉康平宛書簡 pp.397-398/No.1412 1945.5.21
付宮川寅雄宛書簡 pp.418-419/No.1431 1945.7.4 付松井敬宛
書簡 pp.438-439/ No.1447 1945.7.14 付松井敬宛書簡 pp.452-
453/No.1459 1945.8.10 付松井敬宛書簡 pp.464-465/No.1474
1945.8.28 付山本一郎宛書簡 pp.474-475/No.1518 1945.11.30

付座右寶刊行会・長島建宛書簡 pp.506-507/ No.1528 1945.12.
18 付増田徳兵衛宛書簡 pp.513-514
木村莊八『木村莊八全集』第8巻
講談社 1983.2
昭和20年9月1日付小杉放庵宛書簡
高見澤潤子『のらくろひとりぼっち 夫・田河水泡と共に歩んで』
光人社 1983.3
「第三章 仕事」 pp.121-160
※田端の小杉邸の隣に引っ越した話
會津八一『會津八一全集』第10巻 書簡 下
中央公論社 1983.3
小杉放庵宛書簡：No.1968 1952.1.9 付小杉放庵宛書簡 p.291
/No.2234 1955.3.31 付小杉放庵宛書簡 pp.467-468
小杉放庵への言及がある書簡：No.1660 1947. 4.28 付福田雅
之助宛書簡 p.96/No.1661 1947.5.1 付山田博信・武田繁太郎宛
書簡 pp.96-97/No.1669 1947.6.11 付安藤更生宛書簡 pp.104-10
7/No.1915 1951.1.29 付福田雅之助宛書簡 pp.262-263/No.1927
1951.3.28 付會津蘭子宛書簡 p.269/No.2077 1953.9.13 付桑山
太市宛書簡 p.362/No.2254 1955.7.25 付藤林道三宛書簡 pp.484
-485
小島正芳『良寛と會津八一』
新潟日報事業社 1983.6
「良寛についての御進講を拝辞する」 pp.116-124
斎藤夜居『続 愛書家の散歩』
出版ニュース社 1984.11
「小杉未醒『漫画一年』の心掛け」
保田與重郎『冰魂記』
恒文社 1985.1
「比庵先生のこと」 pp.84-92
※初出：窓日 1971.2
『別府市誌 市制施行六十周年記念』
別府市役所 1985.3
「第二編第一章第二節 3 観海寺の温泉」 pp.156-159/「第五編
第八章 訪れた文人墨客」 pp.738-739
芳賀徹・清水勲 編『近代漫画 第4巻 日露戦争期の漫画』
筑摩書房 1985.9
株式会社リビエール 編『小杉一雄画文集』
小杉一雄〔発行〕 1985.12
《放庵居士遺愛古墨拓影 原寸》 p.10/酒修業 その二 p.72/
独歩さのさと放庵おわら p.74
菊地弘・久保田芳太郎・関口安義 編『芥川龍之介事典』
明治書院 1985.12
中島国彦「小杉未醒」 p.195/福田久賀男「詩と音楽」 p.234/
関口安義「道閑会」 p.356/山敷和男「ポブラ並木」 p.464
生出泰一 編著『十和田開発秘話 文豪・大町桂月 奪い去られた
桂月像』河童仙（花巻市）1986.3
中川一政『中川一政全文集』第8巻
中央公論社 1986.11
「折り折りの人 小杉放庵」/「遠くの顔 小杉放庵」/「小杉
放庵「奥の細道画冊」序文」
青木茂 編『明治洋画史料 記録篇』
中央公論美術出版 1986.12
黒頭巾「明治の油画及油画家（上）」
※初出：中央公論 1912.10
石井鶴三『石井鶴三全集』第5巻
形象社 1987.1
「放庵流小太刀の由来」
※初出：春陽会雑報 第九回展覧会第一号 1931.4
尾崎秀樹『さしえの50年』
平凡社 1987.5
「小杉放庵「掬水譚」」
大山文穂『ふるさと散歩 田沢湖をめぐる文学碑・石造物』
私家版 1987.10
「小杉放庵歌碑 田沢湖畔潟尻」

横田順彌・會津信吾『快男児 押川春浪』
パンリサーチインスティテュート 1987.12
* 徳間書店（徳間文庫）1991.5
中川一政『中川一政全文集』第1巻
中央公論社 1988.1
「〔連句〕棕櫚の雨」/「日記帳拾遺」
湊八枝『歌集 歳いくたび』
短歌新聞社 1988.2
「赤倉」
堀江信男『近代文学を担った人々―茨城・人と作品― 二』
筑波書林 1988.3
「国木田独歩と那珂湊」 pp.164-173
館澤冊子 編『小川芋銭 回想と研究』
妙童選書 1988.3
池田痴幸「未醒著『詩興漫画』に登場する壮年期の芋銭先生
像抄出並びにその周辺」
中川一政『中川一政全文集』第3巻
中央公論社 1988.3
「山菜と岩」/「デフォルマシオン」
中川一政『中川一政全文集』第4巻
中央公論社 1988.4
「デフォルマシオン（四）」/「〔詩〕ポブラ 画人行旅の著者
に」
中川一政『中川一政全文集』第5巻
中央公論社 1988.5
「蛙」
石井鶴三『石井鶴三全集』第11巻
形象社 1988.5
「小杉放庵画業六〇年展」/「小杉放庵老の死をいたむ」
石井鶴三『石井鶴三全集』第12巻
形象社 1988.8
「放庵老一周忌」
株式会社リビエール 編『小杉一雄画文集』第二輯
小杉一雄〔発行〕1988.10
保田與重郎『保田與重郎全集』第36巻
講談社 1988.10
「比庵先生のこと」 pp.429-437
※初出：窓日 1971.2
寺内恒夫『文学碑の旅―栃木県―』上巻
落合書店 1988.12
「百の仏の住みたまふ 小杉放庵歌碑（長岡百穴）」 pp.28-33/
「わらびとるや 放庵詩歌碑（所野・小杉邸）三条実美歌碑（
小倉山）」 pp.82-86/「あらたふと 松尾芭蕉句碑（宝物館庭）」
pp.98-100/「滝に簞るや 松尾芭蕉句碑（二）（安良沢小学校）」
pp.110-115/「石は黙って 小杉放庵歌碑（二）（川治温泉ホ
テル）」 pp.135-138
小笠原ヨネ『思い出すこと・あれこれ』
私家版 1989.4
「小杉画伯の思い出」/「亡くなった桂月像」
『しもつけ物語 人物編・第8集 一芸にすぐれる』
栃木県連合教育会〔編集発行〕1989.9
無署名「日光が生んだ洋画・日本画の巨星 小杉放庵」
遠山孝『美術記者のみた 昭和画壇の巨匠たち』
里文出版 1989.10
「小杉放庵——酒を貴び絵を貴ぶ」
正田寛吉『書美求心——近代文化人の書』
平凡社 1990.11
「小杉放庵 画も書も同じ一本の道」
佐藤治由『日光小学校のあゆみ』
私家版 1991
「三条実美・勝海舟・小杉放庵と日光小学校」
高島俊男『水滸伝と日本人 江戸から昭和まで』
大修館書店 1991.2
「第五章 明治の翻訳—4 小杉未醒『新訳絵本水滸伝』」

＊筑摩書房（ちくま文庫）2006.11
 有楽町アート・フォーラム 編『小杉小二郎展 巴里、漂う時の流れ』
 朝日新聞社文化企画局 1991.3
 三浦朱門「小杉小二郎君のこと」 頁ノンブルなし
 ※小杉家について
 湊八枝『歳くれて』
 短歌新聞社 1991.6
 「送り火の見えた庭とむじな石の庭」/「思い出すこと」
 野見山朱鳥『野見山朱鳥全集』第3巻
 梅里書房 1991.6
 「蕪村」pp.90-94
 成瀬昌示 編『風の盆おわら案内記』
 言叢社 1991.8
 ＊新版：1995.8/定本版：2004.7
 小熊秀雄『新版・小熊秀雄全集』第5巻
 創樹社 1991.11
 「小杉放庵論」/「問題の日本画家——小杉放庵小論」
 松壽会 編『船越義珍先生空手本土普及七十年記念』
 日本空手道松壽会 1992.10
 植村和堂「船越義珍先生の思い出」pp.2-5
 河北倫明『河北倫明美術時評集③作家評・作品評（上）』
 思文閣出版 1992.11
 「シャヴァンヌ風効果——小杉未醒《水郷》」
 ※初出：週刊朝日 1965.6.18
 「黒羽の文学散歩」編さん委員会 編『黒羽の文学散歩』
 黒羽文化協会 1992.11
 蓮實彊「二（一）－4 芭蕉の跡を追った人たち（5）小杉放庵」pp.63-66
 須藤栄子「二（五）－4 『おくのほそ道』を慕って（1）小杉放庵『奥の細道』を行く」pp.154-156
 臼井史朗『昭和の茶道一忘れ得ぬ人』
 淡交社 1993.2
 「内本宗韻 電力の鬼の数寄と清遊」pp.35-59
 ※初出：淡交 45巻 4～6号 1991.4～6
 横田順彌『「天狗倶楽部」快傑伝——元氣と正義の男たち』
 朝日ソノラマ 1993.8
 「はじめに「天狗倶楽部」とは？」pp.7-30
 第1部「天狗倶楽部」銘々伝
 「飛田穂州」pp.75-88/「吉岡信敬」pp.129-142/「針重敬喜」pp.143-156/「小杉未醒」pp.157-170/「倉田白洋」pp.171-184/「三島彌彦」pp.238-251/「尾崎弔堂」pp.252-265/「中沢臨川」pp.292-305/「押川春浪」pp.335-348
 第2部「天狗倶楽部」熱血録
 押川春浪「本州横断癪癪徒步旅行」pp.351-390 ※初出：冒険世界 1911.9/井沢衣水 記+押川春浪 補「本州横断痛快徒步旅行」pp.391-415 ※初出：冒険世界 1911.10/天狗秘書官「天狗倶楽部上古史」pp.416-437 ※初出：武侠世界 1914.10/「天狗倶楽部」会員名簿」pp.438-440
 ＊朝日新聞出版（朝日選書）2019.8
 青木茂・酒井忠康 監修『日本の近代美術 4 新思潮の開花——明治から大正へ』大月書店 1993.8
 東俊郎「すでにそこにある東洋——《水郷》」/東俊郎「小杉未醒評伝 無名に帰る線のおしえ」
 今橋映子『異都憧憬 日本人のパリ』
 柏書房 1993.11
 「至福の時間——ビュヴィス・ド・シャヴァンヌと藤村」pp.300-333, 主要参考文献 xv-xvi
 ＊平凡社（平凡社ライブラリー382）2001.2
 濱谷浩『濱谷浩写真集 藝藝諸家』
 岩波書店 1993.11
 No.18～19 小杉放庵 1946 年撮影
 山田幸男『回想中川一政』
 沖積舎 1993.11

「中川一政全歌集」pp.291-316/「両刃の印刀」pp.343-346
 森銑三『森銑三著作集 続編』第10巻
 中央公論社 1994.4
 「明治四十四年 水郷」/「明治四十四年 公田連太郎」
 日本美術院百年史編纂室 編『日本美術院百年史』4巻
 財団法人日本美術院 1994.5
 細野正信「新芸術の樹立へ」/三輪英夫「再興日本美術院の洋画部・彫刻部」/酒井哲朗「大正期南画的傾向の出現」/山梨絵美子「同人評伝 洋画 小杉放庵（未醒）」/小杉一雄 編「小杉日記」に見る日本美術院の再興と洋画部離脱」/小杉一雄「大観さんと放庵居士」/「小杉日記」抜粋
 森銑三『森銑三著作集 続編』第11巻
 中央公論社 1994.6
 「明治の新聞から スイガウ」/「大正の新聞から 未醒の顔」/「明治大正の新聞から 居睡の写生」
 『春陽会七〇年史』
 春陽会 1994.7
 匠秀夫「総論 春陽会という団体」/陰里鉄郎「春陽会の結成とその周辺——初期客員を中心に」/丹尾安典「晴れてよかりき——『放庵日記』に見る春陽会の創立」/青木茂「春陽会の本の仕事——『春陽会随筆五人』を繙きながら」/原田光「春陽会の草創精神の終焉——木村莊八、小杉放庵の死」/生尾慶太郎「戦後の春陽会」
 湊八枝『歌集 歳香』
 短歌新聞社 1994.7
 「小杉放庵旧居」
 森銑三『森銑三著作集 続編』第13巻
 中央公論社 1994.10
 「永坂更科の明治・大正・昭和（九）東京四大通の記事」pp.526-529
 森銑三『森銑三著作集 続編』第14巻
 中央公論社 1994.12
 「読書日記」
 富名腰義珍『琉球拳法唐手（復刻版）』
 榕樹社 1994.12
 宮城篤正「琉球拳法唐手・解題」
 夏目漱石『漱石全集』第16巻 評論ほか 岩波書店 1995.4
 「太平洋画会」pp.372-377, 723-725, 803-804
 ※初出：東京朝日新聞 1911.5.21-22
 「文展と芸術」pp.507-539, 734-744, 814-815
 ※初出：東京朝日新聞 1912.10.27
 佐藤春夫『定本 佐藤春夫全集』第21巻 評論・随筆3
 臨川書店 1995.5
 「法然上人像は描き難し」pp.102-103 ※初出：浄土 1935.11
 山口昌男『「敗者」の精神史』
 岩波書店 1995.7
 「小杉放庵のスポーツ・ネットワーク」pp.381-448, 主要参考文献 567-569
 ※初出：へるめす 45～46号 1993.9.11
 ＊岩波現代文庫（下巻）2005.7
 『下仁田町の歴史——年表と資料』下仁田町教育委員会 1995.8
 「一〇 文学碑」
 小笠原耕四郎 編『酒仙・鉄脚の旅人大町桂月——作品と資料でつづる桂月の青森県内における足跡』私家版 1995.9
 山田幸男『追想中川一政』沖積舎 1995.10
 「本間美術館」pp.109-129 ※佐藤良次との交友について
 「コイン入りの財布」pp.158-170 ※老荘会について
 「神様の嫉妬」pp.244-255 ※老荘会について
 青木茂『美術の図書 旧刊案内』三好企画 1995.10
 「その第四話 詩興画趣、詩興漫画」pp.29-33
 ※初出：繪 308号 1989.10
 高村光太郎『高村光太郎全集（増補版）』第13巻 筑摩書房 1995.10
 日記 昭和27年6月17日 p.123 ※蕪温泉にある小杉の彫刻《薬師如来像》を見たこと

夏目漱石『漱石全集』第22巻 書簡〔上〕岩波書店 1996.3
書簡No.570 明治39年5月5日付森田草平宛書簡 pp.497-499
※小杉の《雲》について

芥川龍之介『芥川龍之介全集』第7巻 岩波書店 1996.5
「小杉未醒氏」pp.267-268,389 ※初出：「外貌と肚の底」中央美術 1921.3

芥川龍之介『芥川龍之介全集』第8巻 岩波書店 1996.6
「江南游記（十二）靈隠寺」pp.244-247 ※初出：大阪毎日新聞 1922.1.16

芥川龍之介『芥川龍之介全集』第9巻 岩波書店 1996.7
「東京田端」p.263, 403 ※初出：芥川龍之介「続野人生計事（十五）」『百艸』1924

夏目漱石『漱石全集』第23巻 書簡〔中〕岩波書店 1996.9
書簡No.1480 明治44年4月28日付小宮豊隆宛書簡 p.438
※橋口五葉に太平洋画会の展評を依頼する際に、とくに小杉未醒・満谷国四郎の風景画について、意見を聞いておくよう指示している。

芥川龍之介『芥川龍之介全集』第12巻 岩波書店 1996.10
「田端人一わが交友録一」pp.111-114,330-331 ※初出：中央公論 1925.3

芥川龍之介『芥川龍之介全集』第13巻 岩波書店 1996.11
「鴨猟」pp.161-162,343 ※初出：桂月 1926.1

新赤倉温泉区史編さん委員会 編『新赤倉区史』
新赤倉総合事務所 1996
「第四章第八節 文化人の来訪、人と作品」/「第五章 久米正雄・小杉放庵・郷倉千軒と赤倉」

近代日本社会運動史人物大事典編集委員会 編『近代日本社会運動史人物大事典』第2巻 日外アソシエーツ株式会社 1997.1
岡崎一「小杉未醒」p.581

夏目漱石『漱石全集』第24巻 書簡〔下〕岩波書店 1997.2
書簡No.1789 大正元年12月26日付沼波瓊音宛書簡 pp.127-128, 617 ※沼波が小杉について書いた随筆の感想/書簡No.1864 大正2年6月11日付津田青楓宛書簡 pp.175-176, 623
※第1回日本水彩画展に出品された小杉作品の感想

芥川龍之介『芥川龍之介全集』第19巻 書簡III 岩波書店 1997.6
書簡No.932 大正10年3月11日付小杉放庵宛書簡 p.154,345 /書簡No.1052 大正10年12月24日付佐佐木房子宛書簡 p.221
※道閑会について/書簡No.1156 大正11年10月3日付小杉放庵宛書簡 p.291

芥川龍之介『芥川龍之介全集』第20巻 書簡IV 岩波書店 1997.8
書簡No.1214 大正12年7月16日付小杉放庵宛書簡 pp.22-23, 328/書簡No.1226 大正12年10月29日付香取秀真宛書簡 pp.29-30,331/書簡No.1230 大正12年11月7日付香取秀真宛書簡 pp.31-32,331/書簡No.1352 大正13年10月22日付小林雨郊宛書簡 p.97,351 ※小杉宅で新井謹也作の水瓶を見た話/書簡No.1656 大正15年月日不明 葛巻義敏宛書簡 p.269 ※『徐青藤書冊』を小杉へ届けるよう依頼/書簡No.1740 年次不詳3日付室生屋星宛書簡 pp.309-310 ※道閑会について/書簡No.1744 年次不詳16日付小杉放庵宛書簡 p.311

井上靖『井上靖全集』第25巻 新潮社 1997.8
「東京画壇展望 青楓・放庵——洋画出身の人々」

『ふるさとの散歩道』第5集
日光ふるさとボランティア〔編集発行〕1997.10
「127 小杉放庵の墓」/「128 小杉放庵の歌碑」

『風景と自然・国立公園の絵画展』
小杉放庵記念日光美術館 1998.4
田中正史「国立公園の制定と日光、そして、小杉放庵と」

野中退蔵『行餘芸談 第15号 野中退蔵先生論文・随想集』
喫茶芸談会 1998.5
「小杉放庵」

佐藤春夫『定本 佐藤春夫全集』第19巻 評論・随筆1
臨川書店 1998.7
「一九一九年美術院展覧会の洋画」pp.106-110 ※初出：「美術院展覧会の洋画」読売新聞 1919.9.9,11,13/「談片」pp.349-

350 ※初出：文芸時報 1926.1 ※同じ下宿に小杉の門弟がいた話/「素人の見物 聖徳太子奉讃美術展覧会の作品」pp.379-385 ※初出：報知新聞 1926.5.12

『片山撰三写真展 モノクロームの軌跡50年』
福岡県立美術館 1998.10
図版：片山撰三 撮影《小杉放庵氏》1963年2点 p.37

佐藤春夫『定本 佐藤春夫全集』第20巻 評論・随筆2
臨川書店 1999.1
「芥川龍之介を憶ふ」pp.154-177 ※初出：改造 1928.7
※芥川が「小杉未醒はルーベンスを分らぬと、つまり油絵と云ふものが分らんことになるまで云つてゐるよ」と言っていた話

神奈川県立近代美術館 編『近代日本美術家列伝』
美術出版社 1999.3
橋秀文「小杉放庵」

大学史料員会 編、金原省吾 著『武蔵野美術大学大学史料集 第一集 学校日誌』武蔵野美術大学 1999.3
p.36,38-40 で小杉に言及

横田順彌『快絶壮遊「天狗倶楽部」明治パンカラ交遊録』
教育出版 1999.6
「第八章 落っこち居士の軍人作家」pp.113-125 ※武俠社や針重敬喜と小杉との関係について/「第十章 未醒と白羊の友情」pp.139-157
*早川書房（ハヤカワ文庫JA）2019.2

田中正史・鈴木日和 編『日本近代洋画の巨匠 黒田清輝 101年目の日光』小杉放庵記念日光美術館 1999.7
田中正史「黒田清輝と小杉放庵」

芥川龍之介『芥川龍之介全集』第11巻
岩波書店 1999.9
「長江游記（二）溯江」pp.255-258 ※初出：「長江」女性 1924.9
※中国旅行前に小杉から受けた助言について

清水勲『歴史文化ライブラリー75 マンガ誕生 大正デモクラシーからの出発』吉川弘文館 1999.9

寺門寿明・田中正史 編『五百城文哉展——旅路の心・山中の夢』
小杉放庵記念日光美術館 2000.2
田中正史「五百城文哉リヴァイヴァル——小杉放庵の言説と日光をめぐる」

佐藤春夫『定本 佐藤春夫全集』第24巻 評論・随筆6
臨川書店 2000.2
「白雲去来；高人の風格」pp.372-373/「続白雲去来；同名異人ものがたり」pp.390-391 ※小杉の友人に鈴木信太郎長野県知事がいた話 ※ともに初出：日本経済新聞（夕刊）1955.4.1-10.14

山口昌男『敗者学のすすめ』
平凡社 2000.2
「「立秋」の俳諧的小宇宙——健堂・瓊音・未醒」/「小杉未醒『絵本西遊記』をめぐる」

横田順彌『雑本展覧会——古書の森を散歩する』
日本経済新聞社 2000.3
「小杉未醒の未来予測」

西野嘉章『装釘考』
玄風舎 2000.4
「装畫 小杉未醒と『愛弟通信』（國木田獨步著）」pp.113-116, 中口絵に『愛弟通信』書影、参考文献抄録 pp.275-285
*平凡社（平凡社ライブラリー741）2011.8

落合雄三 編『栃木県近代文学アルバム』
栃木県文化協会 2000.7
「小杉未醒～放庵 その多彩なる人間関係」

佐藤春夫『定本 佐藤春夫全集』第26巻 評論・随筆8
臨川書店 2000.9
「うぬぼれかがみ；九 田園より都会へ」pp.208-218, 444-445
※初出：新潮 1961.10 ※小杉の挿絵について

島崎藤村『藤村全集』第17巻
筑摩書房 2001.1

- 書簡No.408 1913 年の手紙
下野新聞とちぎ 20 世紀取材班 編『とちぎ 20 世紀』下巻
下野新聞社 2001.2
手島隆志「多才な画人 小杉放菴」
佐藤春夫『定本 佐藤春夫全集』第 34 巻 翻訳・翻案 7 雑纂 1
臨川書店 2001.2
「掬水譚はしがき」p.154 ※初出：佐藤春夫『掬水譚』1936/
「掬水譚覆刻版はしがき」p.166 ※初出：佐藤春夫『掬水譚』
1941/「小杉放庵著『唐詩及唐詩人』」p.417 ※初出：東京朝
日新聞 1940.1.7
とちぎの小さな文化シリーズ企画編集会議 編『栃木美術探訪』
下野新聞社 2001.3
青木宏「近代」
米倉迪夫〔研究代表者〕『日本における美術史学の成立と展開』
東京文化財研究所 2001
山梨絵美子「大正後期の洋画壇における東洋的傾向について
の一考察」
上蘭四郎・木下悦子 編『清水比庵—毎日歌境—』
財団法人小杉放菴記念日光美術館・笠岡市立竹喬美術館
2001.4
田中正史「清水比庵と日光——『二荒』のころを中心に」
※とくに「iv. 清水比庵と小杉放菴」
佐藤春夫『定本 佐藤春夫全集』第 36 巻 書簡
臨川書店 2001.6
書簡No.292 昭和 22 年 5 月 20 日付（年推定）吉田精一・島田
謹二宛書簡 pp.216-221/書簡No.497 昭和 33 年 3 月 15 日付（年
推定）榎沢徳太郎宛書簡 p.354
佐藤治由『私のふるさと 今市・日光の歴史探訪（二）』
私家版 2001.8
「明治の元勳 三条実美と日光」pp.28-39 ※初出：日光史談
1 号 1990.2/「ロシヤの非戦論者 ベレスチャーギンと日光」
pp.40-50/「小杉放庵と日光小学校」pp.95-99
『會津八一生誕 120 年記念展』
早稲田大学會津八一記念博物館・新潟市會津八一記念館
2001.9
No.122. 1952 年 1 月 9 日付小杉放菴宛會津八一書簡
青木茂 監修、東京文化財研究所 編『近代日本アート・カタログ・
コレクション 027 无声会』第 2 巻 ゆまに書房 2002.5
「无声会第 12 回展覧会」
志村有弘 編『芥川龍之介大事典』
勉誠出版 2002.7
加藤達彦「小杉未醒」
『吉田ふじを展』
府中市美術館・福岡市美術館 2002.9
山本香瑞子「孤独なる中庸——戦前の吉田ふじを」pp.17-23
立川昭二『生と死の美術館』
岩波書店 2003.2
「小杉未醒「病室の写生」——転地有情」
小池邦夫 編『會津八一の絵手紙』
二玄社 2003.4
昭和 26 年 3 月 17 日付小杉放菴宛會津八一書簡
小杉小二郎『巴里ゆらゆら』
日本経済新聞社 2003.5
「妙高の山路」
小川敦生 編『日経アート・オークション・データ 2003』
日経 B P 社 2003.7
仲道寿美「村山槐多の《花》と小杉放庵の《山童嬉遊》——
希少作品がオークションに登場する「時」とは？」
端山聡子 編『平塚市美術館所蔵 原精一 寄贈資料整理報告書
2003』平塚市美術館 2003
明治神宮 編『明治神宮叢書 第十八巻 資料編（2）』
国書刊行会 2003.11
「五六 帝国議會開院式臨御」pp.318-321
藤田嗣治『藤田嗣治書簡 妻とみ宛（一）』
「パリ留学初期の藤田嗣治」研究会 2003.12
太平洋美術会百年史編纂委員会 編『太平洋美術会百年史』
太平洋美術会 2004.4
紀田順一郎 監修『日本人の手紙 第 2 巻 友情』
リブリオ出版 2004.4
明治 41 年 8 月 26 日付小杉未醒宛国木田独歩書簡
瀬木慎一『近代美術事件簿』
二玄社 2004.5
「未醒の隠遁」
日本近代文学館 編『日本近代文学館資料叢書〔第Ⅱ期〕文学者の
手紙 2 「白樺」の人びと 有島（武郎・生馬・里見淳）三兄弟
を軸に』博文館新社 2004.6
木村莊八「昭和 21 年 10 月 15 日付有島生馬宛書簡」
田山花袋記念文学館 編『花袋著書の装幀と挿絵 一程原コレクシ
ョンを中心に—』
館林市教育委員会文化振興課 2004.10
「小杉放菴」p.9
十和田湖町史編纂委員会 編『十和田湖町史』下巻
十和田湖町 2004.12
「第一章 六 大町桂月再訪と児玉花外、小杉未醒、巖谷小波」
pp.14-18
館野哲 編『36 人の日本人 韓国・朝鮮へのまなざし』
明石書店 2005.2
岡野幸江「小杉未醒——従軍画家の描いた朝鮮」
高戸寧・川崎和美・大越康之 編『いきいき水彩画』5
日貿出版社 2005.4
田中正史「名画鑑賞 小杉放菴」pp.2-6
東京文化財研究所 編『大正期美術展覧会の研究』
中央公論美術出版 2005.5
塩谷純「再興日本美術院のひとびと—あるいは大正期の大観」
/廣瀬就久「満谷国四郎の大正時代——小杉未醒との比較を
中心に」/田中正史「春陽会——その成立と源流」
平田耀子 編『本間久雄日記』
松柏社 2005.9
高橋文彦 著、財前謙 編『會津八一題簽録』
武蔵野書院 2005.11
會津八一が題簽を書した小杉放菴個展図録の解説 pp.104-105
川村湊・守屋貴嗣 編著『文壇落葉集』
毎日新聞社 2005.11
1935 年（推定）東京日日新聞社芸芸部高原四郎宛佐藤春夫
書簡 p.174 ※新聞小説「掬水譚」挿絵について
「矢口國夫美術論集」刊行委員会 編『矢口國夫美術論集 美術の
内と外』美術出版社 2006.3
矢口國夫「洋画家・小杉未醒」
高階秀爾・林洋子 編『国際シンポジウム「パリ・1920 年代・藤田嗣
治」報告書』日仏美術学会・京都造形芸術大学比較藝術学研究
センター 2007.2
柳沢秀行「パリの日本人画家 第一次世界大戦の前と後」
山田俊幸『アンティーク絵はがきの誘惑』
産経新聞出版 2007.6
「小杉放菴——「超俗の人」の意外な一面」
佐々木央『円人村山槐多』
東京村山槐多研究会 2007.9
「悪者は薔薇園にかくれて泣けり——村山槐多大正六年作
「バラと少女」ノオト」/「“まさちゃん”と槐多」/「小杉氏寄
寓の少年たち——村山槐多の水彩「二人の少年」をめぐる」
/「〈焼絵〉というバクレン画 村山槐多の焼絵盆「茶煙残夢」
をめぐる」
河東碧梧桐『河東碧梧桐全集』第 14 巻
短詩人連盟河東碧梧桐全集編纂室 2007.10
「画人投影」
黒岩比佐子『編集者国木田独歩の時代』
角川学芸出版 2007.12
木股知史「画文共鳴——『みだれ髪』から『月に吠える』へ」

岩波書店 2008.1
「第Ⅲ部 詩画集への道 第七章—3 小川芋銭『草汁漫画』と小杉未醒『漫画一年』」
中田宏明 編『生誕 120 年 館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展』群馬県立館林美術館 2009.10
田中正史「小杉放菴から見た岸浪百草居」
東京国立博物館 ほか編『細川家の至宝——珠玉の永青文庫コレクション』NHK・NHKプロモーション 2010.4
塩谷純「細川護立と日本の近代美術」
鈴木日和 編『栃木の南画Ⅱ 足利市立美術館コレクションによる大山魯牛』小杉放菴記念日光美術館 2010.10
鈴木日和「大山魯牛と老荘会——小杉放菴との交流から」
五十殿利治 編『「帝国」と美術——一九三〇年代日本の対外美術戦略』国書刊行会 2010.11
長嶋圭哉「オリンピック〈芸術競技〉と日本の美術界——ロサンゼルス、ベルリン、東京」
足立元『前衛の遺伝子 アナキズムから戦後美術へ』ブリュッケ 2012.1
「第一章 大逆事件と美術——小川芋銭の漫画から」
東京美術倶楽部 編『市井展の全貌——淡交会、珊々会、尚美展から東京会まで（戦前編）』八木書店 2012.8
おわらを語る会 編『おわらの記憶』桂書房 2013.8
ほろよいブックス編集部 編『ほろよいブックス 酒運び——情報と文化をむすぶ交流の酒』社会評論社 2013.9
迫内祐司「小杉放菴にとつての酒と友——人似花酒泉如」
川村伸秀『坪井正五郎——日本で最初の人類学者』弘文堂 2013.9
「第十二章 実録笑話——余が止めど無きダラへ文」
pp.189-206
※小杉未醒が装幀・挿絵を担当した『うしのよだれ』について
矢部登『田端抄』其伍 書肆なたや 2013.11
「小杉放菴の庭」pp.14-30
『花袋の友達—〇〇人』館林市教育委員会文化振興課・田山花袋記念文学館 2014.3
無署名「小杉未醒（放菴）」p.37
進藤淳 ほか編『フェルディナント・ホドラー展』NHK・NHKプロモーション 2014.10
相良周作「日本におけるホドラーの受容について」pp.213-217
板倉聖哲 責任編集『日本美術全集 第 6 巻テーマ巻① 東アジアのなかの日本美術』小学館 2015.3
呉孟晋「石濤への憧れとその実際——大正後期の「解衣社」の画家たちをめぐる」pp.204-205
新潟県立近代美術館・世田谷美術館 ほか編『生誕 100 年 写真家・濱谷浩』クレヴィス 2015.7
作品図版：No.166-167 小杉放菴 1946 年撮影 pp.172-173
徳永健一「地域に文化の芽をまく——高田の濱谷浩」pp.14-19
藤田裕彦「濱谷浩の半世紀『潜像残像』から読み解く『写真家・濱谷浩』」pp.202-212
加藤絢 編「年譜」pp.218-233
三上美和『原三溪と日本近代美術』国書刊行会 2017.2
宮内庁『昭和天皇実録』第十 東京書籍 2017.3
昭和二十四年四月二十二日 p.806
※昭和天皇と日本芸術院会員の午餐陪食会について
宮内庁『昭和天皇実録』第十一 東京書籍 2017.3
昭和二十九年一月十二日 pp.649-650
※歌会始の儀について
瀬戸市美術館 ほか編『小杉放菴記念日光美術館所蔵 絵画で国立公園めぐり——巨匠が描いた日本の自然』第 18 回共同巡回

展実行委員会 2018.4
鈴木日和「国立公園絵画コレクションの歩みと小杉放菴、そしてこれからの可能性について」pp.5-13
佐藤志乃『バンカラの時代——大観、未醒らと日本画成立の背景』人文書院 2018.8
松尾知子（千葉市美術館）編『生誕 135 年 石井林響』美術出版社 2018.11
松尾知子「石濤《黄山八勝画冊》を持つ（二）」p.130
※小杉と石井林響の交流、《黄山八勝画冊》がその後の小杉の名勝画冊構想に与えた影響等について言及している。
芳賀徹『桃源の水脈 東アジア詩画の比較文化史』名古屋大学出版会 2019.5
「桃源喪失の悲嘆——小杉放菴の『桃源漁郎絵巻』」pp.259-273,参考文献 p.340
長尾洋子『越中おわら風の盆の空間誌—くうたの町—からみた近代—』ミネルヴァ書房 2019.8
鍵岡正謹 監修『キャンパスの詩人 柚木久太』書肆玄工房 2019.10
鍵岡正謹「柚木久太 人と作品」/小杉も写っている記念写真 p.96,105
中津市教育委員会 編『中津市文化財調査報告 第 101 集 平田氏庭園調査報告書』中津市教育委員会 2020.3
「第一章第三節 歴史的環境」pp.3-15
※耶馬溪旅行中のおける平田吉胤との交流について
日高昭二『利根川 場所の記憶』翰林書房 2020.7
「12 小杉未醒の水国紀行——杉田雨人、小川芋銭、森田恒友」pp.94-100/「13 臥遊から写生へ——吉田博、丸山晚霞、岡野栄、中澤弘光、勝田勝琴、飛田周山、森田恒友ら」pp.100-112/「15 吉江喬松送別紀行——窪田空穂、中村星湖、前田晃、白石実三」pp.118-122
細川光洋『吉井勇の旅鞆——昭和初年の歌行脚ノート』短歌研究社 2021.11
「第一章 二 猪野々日記」pp.28-38/「第一章 三 雅澄の妻」pp.38-46/「第一章 八 土佐への初旅」pp.80-89/「第一章 十三 歌集『人間経』」pp.124-135/「第二章 六 市川仮寓と『遍路』の創刊」pp.196-206/「第三章 五 歌行脚 3 中国路・鯉城歌抄」pp.246-255/「第四章 七 戦雲来」pp.357-366/「第四章 十一 天彦」pp.393-401
小田光雄『近代出版史探索Ⅵ』論創社 2022.4
「1135 小杉放菴、公田連太郎『全訳芥子園画伝』とアトリエ社」
上園四郎 監修『発掘された珠玉の名品 少女たち——夢と希望・そのはざままで 星野画廊コレクションより』青幻舎 2023.8
植田彩芳子「忘れられた渡欧画家たち—1910 年代初頭のバリ—」pp.153-157
春陽会事務所ほか 編『春陽会の 100 年』一般社団法人春陽会 2023.12
田中正史「それからの春陽会」pp.8-19
入江観・土方明司「春陽会の本質を形作るもの」pp.34-40
「春陽会史・役員一覧」pp.53-63
古田亮 編著『列島の日本美術史 一知られざる美の交錯—』ミネルヴァ書房 2025.3
田中正史「小杉放菴（一八八一～一九六四）——多彩なる画家」pp.191-207

3 定期刊行物 | 小杉への言及があるもの

儺川「相思怨と陣中詩篇」
読売新聞 1904.12.11
無署名「評欄 漫画一年 小杉未醒著」

みづゑ 21 号 1907.2
伊藤銀月「小川芋銭と小杉未醒」
新声 17 編 3 号 1907.9
旋風子「文芸間語」
趣味 2 巻 12 号 1907.12
無署名「天幕旅行 蛮的野営と炎天の競技（全 2 回）」
東京朝日新聞 1908.7.28～29 各 p.4
国木田治子「破産」
萬朝報 1908.8.18～9.30
※近時画報社時代の独歩を扱った小説。「杉画伯」の名で未醒が登場する。
* 国木田独歩・国木田治子『黄金の林』日高有倫堂 1910.1/
『定本 国木田独歩全集（増訂版）』別巻 学習研究社 1978.3
鳥瞰生「当代画家論（十六）小杉未醒氏」
読売新聞 1908.11.26
山本鼎「方寸書架」
方寸 3 巻 5 号 1909.7
※小杉『漫画と紀行』の書評
倉田白羊「小杉未醒へ」
方寸 4 巻 4 号 1910.5 p.11
森田恒友「漫画私語」
読売新聞 1910.5.15
汀鷗「三脚物語 第五回」
みづゑ 63 号 1910.6 pp.12-18
※著者は大下藤次郎
山本鼎「画集」
方寸 4 巻 5 号 1910.7
春浪生「馬鹿旅行」
冒険世界 3 巻 10 号 1910.9 pp.1-13
* 横田順彌・會津信吾『快男児 押川春浪』1987
無署名「紹介欄 十人写生旅行」
みづゑ 74 号 1911.4 p.30
無署名「紹介欄 新訳絵本水滸伝 小杉未醒著」
みづゑ 74 号 1911.4 p.30
汀鷗「瀬戸内海」
みづゑ 76 号 1911.6 pp.1-39
※著者は大下藤次郎
無署名「芸術家の運動熱 田端のボプラ倶楽部」
読売新聞 1911.8.28 p.3
佐々木金仙「版画と漫画」
美術之日本 3 巻 9 号 1911.10
一記者「新年の美術評論」
絵画叢誌 297 巻 1912.1
坂井犀水「新時代の作家（三）小杉未醒氏」
美術新報 11 巻 5 号（210 号）1912.3
東台子「草画家の群」
文章世界 7 巻 9 号 1912.7
無署名「秋のアトリエ（一）高村光太郎氏・小杉未醒氏」
読売新聞 1912.9.29
黒頭巾「明治の油画及油画家（上）」
中央公論 27 年 10 号 1912.10
※著者は横山健堂
* 青木茂 編『明治洋画史料 記録篇』1986
無署名「文部省美術展覧会と其影響 小杉未醒氏」
美術之日本 4 巻 10 号 1912.10
漱石「文展と芸術（十一）」
東京朝日新聞 1912.10.27
* 『漱石全集』第 16 巻 1995
藻生「絵画自由研究所の設立」
日本美術 168 号 1913.2 pp.1-3
* 『日本美術院百年史 四巻』1994 年
時評記者「初夏の窓際から（美術界近件）三、小杉未醒氏のマチス論」
美術之日本 5 巻 6 号 1913.6

山本鼎「ブルタニユより」
美術新報 13 巻 3 号（232 号）1914.1
松本亦太郎 談「画界の新傾向」
多都美 8 巻 10 号 1914.5 p.1
※小杉による洋画の日本画化について
無署名「挿画について」
現代の洋画 27 号 1914.6
石井柏亭「竹林庵主人へ」
時事新報 1914.7.5
※小杉未醒著『画筆の跡』について
押川春浪・弓館小鰐・針重敬喜・水谷竹紫「テング非天狗壮快旅行記」
武侠世界 3 巻 10 号 1914.9 pp.20-27
無署名「戸塚の野球試合 高田深澤応援の事」
読売新聞 1914.10.25
無署名「大正「弥次喜多」 三画伯鈴鹿越の段」
読売新聞 1914.10.30
特集「人物評論（五十四）小杉未醒と石井柏亭」
有島生馬「柏亭と未醒の芸術」 * 「小杉未醒と石井柏亭」
『一つの予言 有島生馬芸術論集』1979
百穂生「未醒君と柏亭君」 ※著者は平福百穂
津田青楓「柏亭氏の性格」
林田生「夢みる人と醒めたる人」
木下柰太郎「石井君と小杉君」
斎藤与里「レアリズムとイデアリズム」
中央公論 29 年 11 号 1914.11
無署名「天狗追悼戦前記」
読売新聞 1914.11.23
無署名「須磨子ケン 美術院連の新遊戯」
読売新聞 1914.12.4
特派員坦生「五十三次画伯旅行（全 5 回）」
東京朝日新聞 1915.3. 23,24,25,27,28 ※著者は坂崎坦
蒲原有明「龍土会追想録」
文章世界 1915.4
* 「龍土会の記」『飛雲抄』書物展望社 1938.12/『明治文学全集 99 明治文学回顧録集（二）』筑摩書房 1980.8
無署名「寄木細工」
美術新報 14 巻 7 号（248 号）1915.5
坂井犀水「秋季芸苑の概観」
美術新報 15 巻 1 号（254 号）1915.11
無署名「画界吞黨記 八千代に惚られた未醒画伯」
多都美 10 巻 1 号 1916.1 p.21
石井柏亭「此頃の日本画」
美術週報 3 巻 29 号 1916.5.7 p. 4
石井柏亭「芸苑日抄」
中央美術 2 巻 8 号 1916.8 p.103
※小杉の家で『方寸』の旧版を選り分けたこと、小杉が渡邊邸の壁面に着手していたことなど。
寛一「そゝろ歩き 市中と郊外のロマンス 美術村 日暮里から田端へ（全 2 回）」読売新聞 1916.9. 21～22
黒頭巾「画の国（四）美術人国記」
中央美術 2 巻 10 号 1916.10
為藤五郎「現今の美術批評家（中）昨秋の美術批評総観」
中央美術 3 巻 1 号 1917.1
黒頭巾「画の国（六）美術人国記」
中央美術 3 巻 2 号 1917.2
歴訪子「画室と生活振」
絵画清談 5 巻 2 号 1917.2 pp.36-41
三宅克己「南京より漢口（上）」
読売新聞 1917.5.10
X Y Z「現在画家盛衰記 文展が生んだ画家・葬った画家」
中央美術 3 巻 11 号 1917.11
柏亭「洋画家の日本画」
美術旬報 153 号 1918.3.9

- 唐沢契草「未醒画伯を訪ふ」
南信 1919.5.14
*抄録：『「南信」新聞美術記事年表（明治・大正編）』飯田市美術博物館（編輯発行）2011.3 p.164
- 川端龍子「雨の瀨峡にて」
美術月報 1 巻 5 号 1919.12 p.8
- 坂井犀水「日本美術院の分裂」
中央美術 6 巻 11 号 1920.11
- 特集「小杉未醒論」
芥川龍之介「外貌と肚の底」 * 「小杉未醒氏」『芥川龍之介全集』第 7 巻 1996
藤井浩祐「テニスが一番巧い」
沼波瓊音「殺生をやめたら」
水木伸一「槐多がみた頃」
針重敬喜「鉄砲撃のレコード」
石井柏亭「小杉君の乱暴」
中央美術 7 巻 3 号 1921.3
- 芥川龍之介「江南游記（11）十二、靈隠寺」
大阪毎日新聞 1922.1.15 p.1
* 『芥川龍之介全集』第 8 巻 1996
- 特集「小杉未醒の日本画」
平福百穂「未醒氏の日本画を瞥見して」
森田恒友「構図の画的興味と詩趣」
山本鼎「未醒君の軌道」
中央公論 37 年 6 号 1922.6
- A・B・C「団体と人々（1）春陽会 或会合にて」
美術月報 4 巻 9 号（238 号）1923.7 pp.7-8
- 田邊孝次「孫松画伯の来遊」
国民美術 1 巻 10 号（250 号）1924.10 pp.6-11
- 無署名「鳶の一夜（全 3 回）」
東奥日報 1924.10.29～31
- 芥川龍之介「わが交友録（二）田端人」
中央公論 40 年 3 号 1925.3
* 『芥川龍之介全集』第 12 巻 1996
- S H O「アトリエ訪問記 小杉未醒氏」
アトリエ 2 巻 4 号 1925.4
- 山本鼎「友五人」
中央公論 40 年 5 号（447 号）1925.5 pp.77-79
- 川路柳虹「現代日本の美術界（13）西洋画界の現状（5）」
中央美術 11 巻 5 号 1925.5
* 川路柳虹『現代日本美術界』1925
- 黄紫生「春陽会野球部事情」
アトリエ 2 巻 7 号 1925.7
- 荘「放庵の近業」
アトリエ 2 巻 8 号 1925.8
- 芥川龍之介「鴨猟」
桂月 3 号 1926.1
* 『芥川龍之介全集』第 13 巻 1996
※1924 年正月に小杉らと品川沖へ鴨猟に行った話
- 木村莊八「手工芸協会発会に就て」
中央美術 12 巻 1 号 1926.1
- 特集「人物月旦」
小松為一「小杉未醒論」
杉山秀一「放庵小杉未醒氏」
清矢生「小杉未醒」
伊藤庸之助「小杉未醒論」
魔王遊民「小杉未醒論」
アトリエ 3 巻 2 号 1926.2
- 小笠原松次郎「桂月先生の思出」
桂月 2 巻 5 号 1926.3
- 斎藤隆三「大正年代に活躍したる美術団体 再興已来の日本美術院」
美之国 3 巻 2 号 1927.2
- 坂井犀水「大正期洋風画の概観」
美之国 3 巻 2 号 1927.2
- 宗像俚郎「石井柏亭と小杉未醒」
美之国 3 巻 2 号 1927.2
- 無署名「作家の家（17）小杉未醒氏宅」
中央美術 13 巻 5 号 1927.5
- 花崎利義「絵画本格論疑義（河野通勢氏に質す）」
アトリエ 4 巻 7 号 1927.8
- 岡一平「朝鮮漫画行（完）」
東京朝日新聞 1927.8.31
※筆者は岡本一平か
- 山本鼎「方寸時代」
アトリエ 4 巻 8 号 1927.9
* 青木茂 編『明治洋画史料 懷想篇』1985
- 目白狂介「旅行家としての小杉未醒氏」
旅（日本旅行協会）4 巻 10 号 1927.10 pp.79-81
- 「諸家のスケッチブック（12）小杉未醒氏」
アトリエ 5 巻 2 号 1928.2
- 木村莊八「映画無用語——小杉放庵に示す」
映画時代 4 巻 3 号 1928.3 pp.14-16
- 無署名「アトリエ・グラフ 小杉未醒氏の家庭」
アトリエ 6 巻 1 号 1929.1
- 無署名「昭和人物月旦（芳澤謙吉・森広蔵・大内兵衛・小杉未醒・真山青果）」
文芸春秋 7 巻 3 号 1929.3
- 無署名「若葉に映ゆる兄妹のテニス」
婦人之友 23 巻 6 号 1929.6
- 大概憲二「煙霞を書に漁る 随筆家協会の『山水大観』（全 2 回）」
読売新聞 1929.8. 21～22
- N・K・N「小杉未醒氏令嬢を眺む」
婦人サロン 1 巻 4 号 1929.12
- 無署名「本県出身美術家巡礼（廿五）小杉未醒氏 画家として文筆家として」
下野新聞 1930.2.18 夕刊 p.4
- 石井鶴三「放庵流小太刀の由来」
春陽会雑報 第九回展覧会第一号 1931.4
* 『改訂増補版 凸凹のおぼけ』二見書房 1943.11／『石井鶴三全集』第 5 巻 1987
- 赤川菊村「放庵、珠寶、鈴蟲」
秋田魁新報 1931.9.26 夕刊
- 安田鞆彦「日本美術院再興当時」
アトリエ 8 巻 10 号 1931.10
- 田沢田軒「ある夜の老荘会」
アトリエ 9 巻 6 号 1932.6
- 窪田空穂「小杉放庵——『南京余唱』と『放庵歌集』 新刊の二歌集」
楓の木 9 巻 3 号 1934.3
* 『窪田空穂全集』第 11 巻 1965
- 横堀角次郎「放庵先生雑感」
春陽会雑報 第拾貳回展覧会号 1934.4
- 中川一政「放庵歌集」
美術展望 1 巻 2 号 1934.7
- 山崎省三「回想の身辺」
アトリエ 11 巻 8 号 1934.8
※小杉渡航時の同船者ビエトロ・ミリオレーについて
- 無署名「画人を訪ねて（2）放庵が石になつたら」
邦画（『日本画実習帖』附録）1 巻 2 号 1934.11
- 無署名「作家の紹介 日本画実習帖第十巻の揮毫者四氏」
邦画（『日本画実習帖』附録）1 巻 2 号 1934.11
- 富名腰義珍「空手の話」
改造 17 巻 7 号 1935.7
- 無署名「帝展新会員のグリンプス——小杉未醒氏」
美之国 11 巻 7 号 1935.7
- 佐藤春夫「法然上人像は描き難し」
浄土 1 巻 7 号 1935.11

＊『定本 佐藤春夫全集』第 21 巻 1995
 田沢田軒「今年美術界を回顧して」
 美之国 11 巻 12 号 1935.12
 佐波甫「本年の洋画壇と今後の方向」
 美之国 11 巻 12 号 1935.12
 山口玄珠「放庵とその芸術」
 阿々土 11 号 1936.3
 無署名「我国古典庭球四半世紀の回顧 ポブラ倶楽部けふ創立三十
 年祭」東京朝日新聞 1936.3.29 p.4
 今井繁三郎「春陽会の人々」
 美之国 12 巻 5 号 1936.5
 「印譜及落款（其四）小杉放庵」
 阿々土 17 号 1937.2
 無署名「画室訪問 小杉放庵氏」
 美術評論 6 巻 2 号（42 号） 1937.4
 中川一政「デフォルメーション（三） “愚といふ事。”」
 東京朝日新聞 1937.12.27
 小森 盛「従軍画家の絵に就て——日露役の戦争画寸見」
 美術時代 2 巻 1 号 特集：明治の戦争画 1938.1
 湯沢三千男「鉄斎と放庵」
 芸術 16 巻 4 号 1938.2.5 pp.2-3
 福原信三「モネー、ピカソ、ゴンチャロバなど」
 アトリエ 15 巻 6 号 1938.5 pp.50-53
 ※欧州留学中に小杉らと邂逅したことについて
 小森 盛「日本唯一の戦争詩集——未醒の『陣中詩篇』に就て」
 若草（寶文館）14 巻 5 号 1938.5 pp.66-69
 横川毅一郎「現代作家人物論続篇の三 小杉放庵」
 塔影 14 巻 5 号 1938.5 pp.22-26
 高橋桂二「画室句行脚——山茶花咲く田端の放庵邸」
 塔影 14 巻 11 号 1938.11 頁ノンブルなし
 石川帛水・大蔵雄夫・今井繁三郎・芝清福「作家素描壹百人（二）」
 美之国 15 巻 2 号 1939.2
 芝 清福「小杉放庵老の近状」
 美之国 15 巻 3 号 1939.3
 無署名「東京画壇展望（7）青楓・放庵——洋画出身の人々」
 大阪毎日新聞 1939.8.17
 ＊『井上靖全集』第 25 巻 1997 pp.332-333
 無署名「わが旦那芸（九）庭球卅年・小杉放庵画伯」
 読売新聞 1939.9.16 夕刊
 石川帛水「放庵氏著唐詩及唐詩人を読む」
 美之国 15 巻 10 号 1939.10
 中川紀元・岸浪百草居・中川永福・杉本寛一・石川宰三郎・田沢田
 軒・内本浩亮・外狩素心庵「『唐詩及唐詩人』余談」
 造形芸術 2 巻 1 号 1940.1 ※中川永福は中川一政
 佐藤春夫「小杉放庵著『唐詩及唐詩人』」
 東京朝日新聞 1940.1.7
 ＊『定本 佐藤春夫全集』第 34 巻 2001
 田沢田軒「新聞美術記者今昔噺（廿九）」
 塔影 16 巻 3 号 1940.3 pp.27-30
 ※おろか会について
 特集「小杉放庵特輯」
 T「春浅し 小杉放庵氏」
 小熊秀雄「小杉放庵論」 ＊『新版・小熊秀雄全集』第 5 巻
 福門堂三石勝五郎「易占小杉放庵観」
 石井鶴三「昭和の文人画家」
 吉井勇「放庵素描」 ＊『定本 吉井勇全集』第 7 巻 1978
 横川毅一郎「放庵花鳥画式の本領」
 尾川多計「放庵の仙骨」
 岸浪百舛居「人としての小杉放庵老」
 佐藤春夫「画壇の詩人放庵」
 詩と美術 2 巻 4 号 1940.4
 吉井勇「歌人放庵」
 美術と趣味 5 巻 4 号 1940.4
 ＊『定本 吉井勇全集』第 7 巻 1978

小熊秀雄「問題の日本画家（2）小杉放庵小論」
 国民新聞 1940.11
 ＊『新版・小熊秀雄全集』第 5 巻 1991
 斎藤太郎「新曲雑感」
 観世（合資会社繪書店）13 巻 4 号 1942.4 pp.34-37
 ※小杉作詞の謡曲本『象潟』について
 杉本寛一「小杉放庵とその歌」
 創作（創作社）30 巻 5 号 1942.5 pp.33-36
 岡山巖「最近の歌集よりの感想（全 2 回）」
 朝日新聞 1942.7.1～2
 無署名「〔書評〕『山居』小杉放庵著」
 三田文学（第 2 期）17 巻 9 号 1942.9
 無署名「画壇の巨匠廿八氏と首相、搞ひの芸談 微笑ましい献納画
 譚」
 朝日新聞 1942.9.29
 大澤良雄「押川春浪と冒険小説」
 オール読物 13 巻 2 号 1943.2
 吉井勇「〔短歌〕高志消息 その四 小杉放庵君へ」
 高志（高志人社）2 巻 5 号 1945.5
 ＊吉井勇「迦樓羅篇 小杉放庵君に」『流離抄』1946
 斎藤昌三「新富町便り」
 書物展望 13 巻 7 号（145 号）1943.7 p.50
 ※『唐詩及唐詩人』発行人である斎藤が、同書好評のお祝い
 をかねて安明荘を訪ねた話。
 無署名「八尾町を訪れて 小杉放庵画伯」
 北日本新聞 1945.6.29
 ※原本未確認。吉井勇日記に貼りこまれた記事を、細川光洋
 「吉井勇の戦中疎開日記（中）」『国際関係・比較文化研究』17
 巻 1 号（2018 年 9 月）p.51 で紹介されている。
 吉井勇「〔短歌十四首〕放庵の竹の図に題す」
 思索（青磁社）1 号 1946.4 pp.92-93
 清水比庵「亦樂堂随筆」
 爾機多満（にぎたま）6 巻 6 号 1946.6 pp.16-17
 本誌記者「漫画見参人物記 小杉放庵氏——万年青年画伯」
 月刊にひがた（新潟日報社）1 巻 8 号 1946.7
 岸浪百舛居「魚鳥とびある記」
 つり人 1946.8 pp.37-40
 ＊岸浪百舛居『画魚談叢』1948
 木村莊八「小杉放庵」
 三彩 3 号 1946.11
 ＊木村莊八『東京の風俗』1949
 吉井勇「〔短歌〕城南消息」
 天平 1 輯 1947.3
 無署名「自然と共に 小杉放庵画伯」
 新潟日報 1947.9.8 p.2
 無署名「画人茶話 小杉放庵とひょつとこ踊」
 美術探求 2 号 1947.10
 田軒「小杉放庵」
 美術手帖 11 号 1948.11
 ※著者は田澤田軒
 濱谷浩 撮影「〔口絵グラフィア〕小杉放庵・會津八一・小田嶽夫・
 深田久弥」小説新潮 2 巻 12 号 1948.12
 無署名「小杉放庵を訪ふの記」
 美術探求 3 巻 2 号 1949.2
 清水比庵「駒込だより」
 下野短歌 22 巻 2 号 1950.2 p.7
 木村莊八「フューザン会・草土社・春陽会」
 美術手帖 38 号 1951.1
 ＊『木村莊八全集』第 3 巻
 長谷川昇「院展洋画」
 美術手帖 38 号 1951.1
 木村莊八「春陽醉虎伝」
 春陽帖 第 28 回展号 1951.4
 中川一政「放庵先生への手紙」

- 文芸春秋 30 巻 1 号 1952.1
 西田勝「日本反戦文学の前駆者たち」
 新日本文学（新日本文学会）7 巻 5 号 1952.5
 ＊西田勝「反戦文学の前駆者たち」『日本革命文学の展望』
 1958／西田勝『近代文学の発掘』1971
 濱谷浩 撮影「人と作品・3 小杉放庵」
 芸術新潮 4 巻 8 号 1953.8
 木村荘八「小杉放庵」
 芸術新潮 4 巻 8 号 1953.8
 ＊『木村荘八全集』第 3 巻
 會津八一「放庵の『石』を紹介す」
 産業経済新聞 1954.2.15
 ＊『會津八一全集』第 11 巻 1982
 小穴隆一「小杉さん」
 春陽帖 第 31 回展号 1954.4
 吉井勇「放庵の『石』を読む」
 春陽帖 第 31 回展号 1954.4
 ※初出：1954.2.14 付の新聞
 無署名「春陽会々員略歴簿」
 春陽帖 第 31 回展号 1954.4
 無署名「新・人物風土記（137）栃木県の巻（十三）」
 読売新聞 1954.7.26 夕刊
 ＊『新・人物風土記』第 2 巻 1955
 吉井勇「唯我獨吟」
 短歌（角川書店）1 巻 12 号 1954.12
 ＊『定本 吉井勇全集』第 3 巻
 羽仙「美術人論断 小杉放庵」
 東京新聞 1955.1.4 夕刊
 佐藤春夫「白雲去来 高人の風格」
 日本経済新聞 1955.4.1～10.14 夕刊
 ＊『定本 佐藤春夫全集』第 24 巻 2000
 河北倫明「口絵解説 小杉放庵『山童嬉遊』」
 青少年問題 2 巻 9 号 1955.9
 無署名「『奥の細道画冊』小杉放庵著」
 朝日新聞 1955.10.24
 無署名「あざけりの歌 小杉放庵」
 美術グラフ 5 巻 2 号 1956.4
 西田勝「日本の文芸雑誌 『天鼓』」
 文学（岩波書店）24 号 1956.9
 特集「句碑に因んで 小杉放庵氏を語る」
 佐々木耕郎 談「故郷の旅人」
 高橋彌次右衛門 談「虎溪三笑」
 星野理一郎「四五五才の会」
 大日光 7 号 1956.10
 酒井杏之助「公田連太郎のこと（全 5 回）」
 帰一（帰一協会） 3,10,18,20,23 号 1956, 1958.11, 1961.11,
 1962.11, 1964.6
 菊地芳一郎「我が愛誦歌」
 美術グラフ 6 巻 4 号 1957.4
 無署名「渦中の人 小杉放庵氏」
 東京新聞 1958.11.27
 宇宙人 C「アウトサイダー（3）小杉放庵——仙骨を帯びる生臭さ」
 東京新聞 1960.1.22 夕刊
 特集「作家論 小杉放庵」
 藤本韶三「画室訪問 16 小杉放庵氏」
 藤本四八 撮影「画室訪問 15 小杉放庵」
 中川一政「放庵のこと」
 小川千甕「随想という程でもないが」
 三彩 127 号 1960.6
 特集「小杉放庵画業六十年に因んで」
 中川一政「放庵昨夜の事」
 石井鶴三「放庵画業六十年」 ＊『石井鶴三全集』第 11 巻
 1988
 隈元謙次郎「小杉放庵の人と作品」
 小杉放庵略年譜
 小玉久爾夫「放庵先生と百草居さん」 ＊改稿のうえ題名を
 「放庵と百草居」に改め、小杉放庵『奥の細道画冊』（春陽
 堂書店、1972 年）の別冊『放庵一人と芸術一』に収録
 萌春 80 号 1960.6
 木村重夫「私の名画鑑賞 小杉放庵「水郷」・「僧の顔」」
 美術グラフ 9 巻 5 号 1960.6
 竹田道太郎「小杉放庵への一素描」
 美術グラフ 9 巻 5 号 1960.6
 吉井勇・中野編集局長「対談 歌壇・昔と今」
 新潟日報 1960.7.9
 湯浅克衛「朝鮮紀行文ダイジェスト（三）柏亭と放庵」
 親和（日韓親和会）95 号 1961.9 pp.28-31
 笠木実「カメラルポ 雪の中の放庵先生」
 春陽帖 第 39 回展号 1962.4
 伊藤義道「ふるさとの文学（52）～（53）文学史周辺の異才
 杉田雨人（全 2 回）」
 栃木新聞 1962.8. 1,10
 徳永栄一 著、佐藤泰司 撮影「人と作品 その 16 小杉放庵」
 国際写真情報 36 巻 11 号 1962.11
 北川桃雄「放庵の画境」
 国際写真情報 36 巻 11 号 1962.11
 須山計一「芋銭・百穂・未醒の漫画とコマ画」
 萌春 110 号 1963.3
 中川一政「公田先生を思う」
 朝日新聞 1963.7.28
 ※公田連太郎について
 杉山隆「五百城文哉と小杉放庵」
 新日本美術 162 号 1963.10.15
 清水比庵「駒込だより」
 下野短歌 36 巻 3 号 1964.3 p.13
 河北倫明 談「気骨ある画家」
 朝日新聞 1964.4.17
 石井鶴三「小杉放庵老の死をいたむ」
 東京新聞 1964.4.17 夕刊
 ＊『石井鶴三全集』第 11 巻 1988
 岡鹿之助「放庵先生を追慕する」
 朝日新聞 1964.4.17 夕刊
 無署名「人間味あふれる芸術家 北山さんがありし日の放庵を語
 る」
 下野新聞 1964.4.18
 川崎順二「『越中おわら』の恩人 小杉放庵の死を悼む」
 北日本新聞 1964.4.20 p.9
 野間清六「反俗の明治人 小杉放庵と朝倉文夫」
 朝日新聞 1964.4.21
 無署名「小杉放庵・三好達治著書目録」
 古書通信 29 巻 5 号（241 号）1964.5
 菊地芳一郎「しのぶ隠の画聖 小杉放庵」
 美術グラフ 13 巻 5 号 1964.5
 星野理一郎「放庵翁を偲ぶ」
 大日光 22 号 1964.5
 湊八枝「〔短歌〕悼 小杉放庵先生」
 新潟短歌 19 巻 5 号 1964.5
 菅沼綾子「公田先生のお話」
 帰一（帰一協会）23 号 1964.6
 追悼特集「小杉放庵」
 北川桃雄「小杉放庵画伯」/藤本韶三「放庵先生」
 三彩 174 号 1964.6
 木村重夫「日本の美術土壌ということ 放庵の歿・善三郎遺作展
 その他」
 近代美術研究 7 巻 21 集 1964.7 pp.26-33
 木村重夫「千光前だより 小杉放庵画伯逝く」
 近代美術研究 7 巻 21 集 1964.7 pp.34-35
 金嶽義宗「朝倉文夫『墓守』・小杉放庵『浦島』」

若い広場（若い広場社）210 号 1964.7
 郷倉千朝「放庵老台を憶う」
 三彩 175 号 1964.7
 竹田道太郎「思い出の大家あの顔この顔（7）死を待たれるなんて真ッ平だ 小杉放庵の巻」
 国際写真情報 7 号 1964.7
 田中岑 編「小杉放庵年譜」
 短歌（角川書店）11 巻 7 号 1964.7 pp.28-33
 春山他石・大島保・木村秋雨・斎藤三郎「座談会 小杉放庵画伯を偲ぶ（全 2 回）」
 文芸たかだ 32～33 号 1964.7.9
 特集「小杉放庵追悼号」
 岡鹿之助「放庵先生を追慕する」
 鬼塚金華「小杉先生を憶ふ」
 加山四郎「小杉先生」
 三雲祥之助「放庵先生の思い出」
 今関驚人「放庵先生を偲ぶ」
 春陽（「春陽」編集部）10・11 合併号 1964.7
 無署名「新・人国記 673～674 栃木県③～④」
 朝日新聞 1964.8.22～23 夕刊
 ＊『新・人国記 8』1964
 中西悟堂「交誼の花（一～三）小杉放庵老（1～3）」
 大法輪 31 巻 8,9,11 号 1964.8,9,11
 斎藤茂「小杉放庵をたずねて」
 信濃教育 934 号 1964.9
 百目鬼恭三郎「新・人国記のメモから（1）」
 朝日新聞（栃木版）1964.9.2
 清水比庵 ほか「小杉放庵先生慰霊祭献詠歌」
 大日光 23 号 1964.10
 清水比庵「駒込だより」
 下野短歌 36 巻 11 号 1964.11 p.12
 池田痴幸「未醒著『詩興漫画』に登場する壮年期の芋銭先生像抄出並にその周辺」
 草汁会報 2 号 1964.12
 ＊『小川芋銭 回想と研究』1988
 矢島清文「〔短歌〕放庵先生埋骨式」
 白木綿（宇都宮市・白木綿社）56 輯 1965.1
 伊藤修「放庵と柿の実」
 郷土文化（茨城県郷土文化研究会）6 号 1965.3
 特集「放庵先生を偲ぶ」
 中川一政「放庵半禿」/石井鶴三「放庵老一周忌」 ＊『石井鶴三全集』第 12 巻 1988/足立源一郎「放庵を憶ふ」/水谷清「放庵先生素描考」/小杉放庵略年譜
 春陽帖 第 42 回展号 1965.4
 水谷清「放庵先生追憶」
 三彩 186 号 1965.6
 小杉一雄「とりとめもなく」
 現代の眼 127 号 1965.6
 河北倫明「明治の美術（11）小杉未醒「水郷」」
 週刊朝日 2410 号 1965.6.18
 ＊『河北倫明美術時評集③作家評・作品評（上）』1992
 小池賢博「表紙解説 小杉放庵『莊子』」
 現代の眼 128 号 1965.7
 福沢武一「山の詩歌碑 小杉放庵歌碑——大町市葛温泉仙人岩」
 山と博物館 10 巻 7 号 1965.7
 ＊「山麓の文学碑——小杉放庵歌碑 大町市葛温泉仙人岩」
 『北アルプス博物誌 1 登山・民俗』
 難波田龍起「美の美 小杉放庵「大伴旅人卿」」
 日本経済新聞 1965.7.23
 寺内恒夫「小杉放庵の生涯と短歌」
 国語（栃木県高等学校教育研究会国語部会）5 号 1965.8
 田近憲三「小杉放庵とその素描」
 日本美術工芸 323 号 1965.8
 安田鞞彦 談「日本美術院再興の頃——思い出を語る」

現代の眼 130 号 1965.9
 辻雙明「公田連太郎先生に聞く」
 帰一（帰一協会）26 号 1965.10
 関川左木夫「小杉放庵論へのみちすがら」
 古酒 第 14 冊 1965.12
 渡部雅堂「藜の杖——小杉放庵先生回想」
 日本美術 39 号 1966.1
 無署名「物故者 小杉放庵」
 日本美術年鑑 昭和 40 年版 1966.3
 秋山安三郎「一冊の本〈256〉小杉未醒ほか編『東海道線旅行図会』」
 朝日新聞 1966.3.20
 ＊秋山安三郎『ひざ小僧』1966
 中川一政「折り折りの人⑥～⑦ 小杉放庵（全 2 回）」
 朝日新聞 1966.5.23～24 夕刊
 ＊『中川一政全文集』第 8 巻 1986
 無署名「沿線スナップ②田沢湖線 角館駅 駅のホームに歌碑」
 秋田魁新報 1967.5.9 夕刊
 中西守「放庵先生と多賀」
 大日光 32 号 1969.5
 飯田莫哀「小杉放庵と石」
 大法輪 36 巻 10 号 1969.10 p.34
 寺内恒夫「小杉放庵略伝——その絵と歌と文筆と」
 栃木史論 1 巻 3 号 1969.12
 飯田莫哀「ひとり遊ぶ世界」
 窓日（窓日短歌会）42 巻 9 号 1970.9 pp.22-23
 船生紹夫「栃木県人物伝（36）小杉放庵 画仙、最後の文人墨客」
 下野新聞 1970.9.20 p.10
 ＊『栃木県人物伝』1971
 保田與重郎「比庵先生のこと」
 窓日（窓日短歌会）43 巻 2 号 1971.2 pp.12-16
 ※小杉放庵旧蔵の清水比庵作品について言及
 ＊保田與重郎『冰魂記』1985/『保田與重郎全集』第 36 巻 1988（田）「絶妙な筆の運び——小杉放庵展」
 日本経済新聞 1971.5.7
 成田嘉徳「いしぶみ文学（24）風格あふれて 小杉放庵の歌碑 仙北郡西木村湯尻」
 秋田魁新報 1972.3.31 夕刊
 野田宇太郎「『方寸』とパンの会」
 三彩 288 号 1972.6
 村木明「息づく日本 絵画の伝統——小杉放庵展」
 読売新聞 1972.7.8 夕刊
 石井潤「画家の本 『方寸』の人々」
 日本古書通信 37 巻 10 号（342 号）1972.10
 無署名「諸展観評（補）小杉放庵展」
 萌春 215 号 1972.10
 中川一政・長谷川潔・足立源一郎「春陽会 50 年」
 春陽帖 第 50 回展号 1973
 寺内恒夫「放庵未醒のこと」
 すずかけの庭（栃木県立美術館友の会会報）1 号 1973
 寺田千壘「小杉放庵展 〃南画、の個性的な消化」
 東京新聞 1974.7.12 夕刊
 吉村貞司「放庵の南画の世界——小杉放庵回顧展によせて」
 三彩 322 号 特集：小杉放庵 1974.9
 小野忠重「黒田清輝と青山熊治」
 窓（ナウカ）11 号 1974.12 pp.2-9
 ※小野が小杉から生前に聞いた戦争画のコメントあり
 小玉久爾夫「角館と放庵」
 里：かくのだて No.6 桜刊号（秋田県・桂の里社）1975.4
 倉田三郎「春陽会研究会のこと」
 春陽帖 第 52 回展号 1975.4
 田中日佐夫「戦後美術品移動史（37）出光佐三の蒐集（Ⅰ）」
 芸術新潮 27 巻 1 号 1976.1 pp.115-119
 ＊田中日佐夫『美術品移動史』1981

田中日佐夫「戦後美術品移動史 (38) 出光佐三の蒐集 (II)」
 芸術新潮 27 巻 2 号 1976.2 pp.85-89
 * 田中日佐夫『美術品移動史』1981

小玉久爾夫「秋田と小杉放庵」
 あきた (秋田県広報協会) 168 号 1976.5

滝梯三「精神的高さへの願望 小杉放庵展」
 日本経済新聞 1976.8.31

小川正隆「回想の美術家たち (7) 小杉放庵」
 月刊ビジョン 6 巻 8 号 1976.10

山田誠一「放庵画伯と放庵紙崎間」
 百万塔 (紙の博物館) 43 号 1977.2

岡田正一「新赤倉の巨石」
 妙香 (妙高高原町郷土史愛好会) 3 号 1977.3
 * 『新赤倉区史』1996

山本修巳「佐渡のうた (五)」
 佐渡郷土文化 (佐渡郷土文化の会) 5 号 1977.3

無署名「秋田いしぶみ散歩 (19) 小杉放庵田沢湖歌碑」
 秋田魁新報 1977.12.11

矢口國夫「栃木県関係近代洋画家 その 1 五百城文哉」
 栃木県立美術館紀要 No.5 1977 年度

竹山博彦「小杉未醒と日本美術院洋画部」
 栃木県立美術館紀要 No.5 1977 年度

特集「小杉放庵」
 松下英麿「小杉放庵の世界」/水木伸一「未醒画伯回想」
 美術グラフ 27 巻 3 号 1978.3

特集「小杉放庵」
 矢口國夫「一筋の道——放庵画業の展開」 * 『矢口國夫
 美術論集』2006
 竹山博彦「放庵覚書」
 編集部 編「作家のことば 小杉放庵文抄」
 藤本韶三『『小杉放庵』展寸感』
 三彩 369 号 1978.4

滝口武士「僕の三月」
 九州文学 41 巻 5 号 (399 号) 1978.5 pp.20-21
 ※詩「小杉放庵」を含む

田中穰「水郷 小杉放庵」
 読売新聞 1978.5.21

中西悟堂「画家と私 (全 6 回)」
 連峰 (永田書房) 5~10 号 1978.11~1979.4
 * 中西悟堂『人間の記録 11 巻 中西悟堂 かみなりさま』1997

藤本韶三「思い出の人々 (その 1)」
 三彩 383 号 1979.8

飯田莫哀「小杉放庵」
 短歌現代 3 巻 9 号 (28 号) 1979.9

古島哲夫「県美術館の収蔵品から (145) 小杉放庵『金太郎遊行
 図』」
 読売新聞 (栃木版) 1980.4.26

結城信一「美のたまもの 閑雅な画人・放庵」
 東京新聞 1980.7.5 夕刊

結城信一「美のたまもの 放庵の手紙」
 東京新聞 1980.7.12 夕刊

長坂吉和「付注 会津八一書簡集—松井敬宛— (全四回)」
 書論 17 号 1980.11 pp.206-226, 19 号 1981.11 pp.174-188,
 20 号 1982.11 pp.403-411, 22 号 1983.11 pp.177-187

尾崎正明「収蔵作品から 小杉放庵作『海南画冊』について」
 現代の眼 313 号 1980.12

三木多聞「この一点 小杉放庵『金太郎遊行』」
 信濃毎日新聞 1981.4.11

小杉一雄「父、放庵居士の絵事について」
 季刊水墨画 17 号 1981.7

特集「小杉放庵の未発表写生」
 上野憲示「仙境の反骨画家 小杉放庵」
 小杉一雄「放庵日記について」
 三彩 419 号 1982.8

栗田勇「日本名山譜 第九座 巖木山」
 芸術新潮 33 巻 11 号 (395 号) 1982.11

寺内恒夫「未醒の『べぼうの木』」
 すずかけの庭 (栃木県立美術館友の会会報) 1983.4

小特集「小杉放庵の書」
 小杉一雄「楽しそうに書いた断簡零墨」
 松下英麿「静かな情趣の放庵居士の書」
 月刊美術 9 巻 4 号 (91 号) 1983.4

中西悟堂「小杉放庵老 (全 2 回)」
 連峰 (永田書房) 58,60 号 1983.4,7

野中退蔵「表紙解説 小杉放庵作 紙本著色錦鯉図」
 行餘芸談 (宇都宮市・喫茶芸談会) 1 号 1984.5 口絵

大岡信「折々のうた」
 朝日新聞 1985.5.27

濱谷浩「福縁隨處 (二十一) 小杉放庵」
 毎日グラフ 38 巻 22 号 (1861 号) 1985.6.9

榊田絵美子「研究資料 一九世紀後半、二〇世紀初頭のアメリカ
 における日本美術の評価に関する一次資料」
 美術研究 (東京国立文化財研究所) 334 号 1986.1 pp.20-27
 ※『The New York Times』で報じられた小杉作品を含む競売
 記事を紹介。

峯村幸造 構成、中島理壽 作家略歴「美書探訪：小杉未醒」
 別冊太陽 53 号 特集：本之美 1986.3

大嶺政寛「沖縄を訪れた画家 (五) 小杉放庵 (未醒)」
 新生美術 5 号 1986.5

小杉一雄「独歩さのさと放庵おわら」
 行餘芸談 (宇都宮市・喫茶芸談会) 3 号 1986.5 p.46
 ※初出：小杉一雄『小杉一雄画文集』1985

清水勲「清水勲のブックギャラリー 書籍・定期刊行物のなかの諷
 刺画 No.15 小杉未醒」出版ニュース 1392 号 1986.6 p.3

大岡信「折々のうた」
 朝日新聞 1986.10.29

寺内恒夫「小杉未醒 (放庵) と大観——無月燈籠を中心に」
 横山大観記念館館報 5 号 1987.6

岡野幸江「木下尚江と朝鮮」
 社会文学 (日本社会文学会) 1 号 1987.6 pp.79-89

岩間真知子「《金太郎遊行》小杉放庵」
 青淵 (渋沢青淵記念財団竜門社) 461 号 1987.8

и・コジェーヴニコヴァ 著、藻利佳彦 訳「ヴェレスチャーギン
 と日本」
 窓 (ナウカ) 63 号 1987.12 pp.2-9

酒井哲朗「大正期における南画の再評価について——新南画をめ
 ぐって」
 宮城県美術館研究紀要 3 号 1988.3

今泉篤男「〔講演録〕先学の言葉—4 小杉放庵の人と芸術——日本
 南画の系譜」
 出光美術館館報 61 号 1988.3

中川一政「随筆雑文②」
 朝日新聞 1988.3.23 夕刊
 ※小杉放庵と公田連太郎について

小島寅雄「〔書評〕『放庵画談』小杉放庵著」
 朝日新聞 1988.7.2

今橋映子「至福の時間——ビュヴィス・ド・シャヴァンヌと藤村」
 島崎藤村研究 16 号 1988.8
 * 今橋映子『異都憧憬 日本人のバリ』1993

特集「小杉放庵」
 藤本韶三「赤倉山荘の放庵先生」
 竹山博彦「小杉放庵——脱俗の意味」
 内藤正人「未醒・放庵の人と作品——『小杉放庵展』開催によ
 せて」
 三彩編集部 編「アルバムと年譜」
 三彩 502 号 1989.7

中川一政・本多秋五「特別対談 文学と人生」
 群像 (講談社) 44 巻 8 号 1989.8 pp.6-19

※老荘会について
 小杉一雄・青木茂・丹尾安典「美を語る⑩小杉放菴 鼎談」
 アート・トップ 20 巻 5 号 (112 号) 1989.9
 ＊『藍より青く 小杉一雄とその師父、會津八一と小杉放菴』
 2019
 青木茂「旧刊案内 その第四話 詩興漫画」
 繪 308 号 1989.10
 ＊青木茂『美術の図書 旧刊案内』1995
 森まゆみ「田端人——“芋づる式”交友録」
 谷中・根津・千駄木 其の 21 1989.10
 古島哲夫「美術探検隊 (1) 小杉放庵 竹取翁」
 朝日新聞 (栃木版) 1990.11.1
 半田勝久「とちぎの美術を彩った人々 (13) 小杉放菴」
 下野新聞 1990.5.21 p.12
 林洋子「東京大学・安田講堂内壁画について——小杉未醒と藤島
 武二の試み」
 東京大学史紀要 9 号 1991.3
 小杉小二郎・瀧梯三「対談 東京とパリ」
 美術の窓 10 巻 4 号 (101 号) 1991.4
 武田昌悟「こだわり生活道場① 師範/小杉放菴」
 新美術新聞 599 号 1991.4.1
 田中穰「あーとを語る。洋画からめざめた放菴」
 週刊新潮 36 巻 14 号 1991.4.11 p.76
 白井史朗「忘れ得ぬ人 (10～12) 内本宗韻 (全 3 回)」
 淡交 45 巻 4 号 1991.4 pp.113-118, 45 巻 5 号 1991.5 pp.127-
 132, 45 巻 6 号 1991.6 pp.113-118
 ＊白井史朗『昭和の茶道一忘れ得ぬ人—』1993
 佐藤泰生「屏風絵の魅力十選 (8) 小杉放菴 青鸞」
 日本経済新聞 1991.12.28
 古川清彦「湯沢三千男と小杉放庵」
 むさしの文学会会報 (秋草学園短期大学国文科内) 15 号
 1992.1
 嶋田裕雄「九重人脈⑬～⑭ 小杉未醒 (全 2 回)」
 大分合同新聞 1992.1.21～22
 佐々木央「“まさちゃん”と槐多」
 繪 337 号 1992.3
 ＊佐々木央『円人村山槐多』2007
 佐々木央「悪者は薔薇園にかくれて泣けり——村山槐多大正六年
 作「バラと少女」ノオト」
 繪 339 号 1992.5
 ＊佐々木央『円人村山槐多』2007
 山口昌男「『立秋』の俳諧的小宇宙——健堂・瓊音・未醒」
 季刊文学 3 巻 3 号 1992.7
 ＊山口昌男『敗者学のすすめ』2000
 特集「日光市名誉市民 小杉放菴特集号」
 小杉一雄「故郷日光と放菴居士 (一)」
 竹山博彦「小杉放菴の芸術」
 広報にっこう No.442 1992.11
 半田勝久「美術探検隊 (82) 小杉放庵 金太郎遊行」
 朝日新聞 (栃木版) 1992.11.26
 無署名「美術館準備班だより①放菴故郷抄 (一)」
 広報にっこう No.447 1993.4
 無署名「美術館準備班だより②放菴故郷抄 (二)」
 広報にっこう No.448 1993.5
 無署名「美術館準備班だより③放菴故郷抄 (三)」
 広報にっこう No.450 1993.7
 山口昌男「本に会う 絵本西遊記 小杉未醒」
 群像 48 巻 7 号 1993.7
 ＊山口昌男「絵本西遊記をめぐる」『敗者学のすすめ』
 無署名「美術館準備班だより④放菴のスケッチ」
 広報にっこう No.451 1993.8
 無署名「美術館準備班だより⑤放菴故郷抄 (四)」
 広報にっこう No.452 1993.9
 山口昌男「小杉放庵のスポーツ・ネットワーク——大正日本にお

ける身体的知 (全 2 回)」
 へるめす 45～46 号 1993.9.11
 ＊山口昌男『「敗者」の精神史』1995
 無署名「美術館準備班だより⑥放菴故郷抄 (五)」
 広報にっこう No.453 1993.10
 無署名「美術館準備班だより⑦作品紹介 (1) 小杉未醒『湧泉』」
 広報にっこう No.454 1993.11 p.4
 無署名「美術館準備班だより⑧作品紹介 (2) 小杉放菴『靖節先
 生』」
 広報にっこう No.457 1994.2 p.5
 無署名「美術館準備班だより⑨作品紹介 (3) 小杉未醒『黄初平』」
 広報にっこう No.458 1994.3 p.5
 無署名「美術館準備班だより⑩作品紹介 (4) 小杉放菴『山寺有
 酒』」
 広報にっこう No.459 1994.4 p.5
 無署名「美術館準備班だより⑪作品紹介 (5) 小杉未醒『牧童』」
 広報にっこう No.460 1994.5 p.5
 無署名「美術館準備班だより⑫作品紹介 (6) 小杉放菴『寒山拾
 得』」
 広報にっこう No.462 1994.7 p.5
 無署名「美術館準備班だより⑬作品紹介 (7) 小杉放庵『白雲幽石
 図』」
 広報にっこう No.463 1994.8 p.7
 無署名「美術館準備班だより⑭作品紹介 (8) 小杉放菴『緑陰対
 局』」
 広報にっこう No.464 1994.9 p.5
 無署名「美術館準備班だより⑮作品紹介 (9) 小杉放菴『良寛』」
 広報にっこう No.465 1994.10 p.5
 無署名「美術館準備班だより⑯作品紹介 (10) 小杉未醒『前赤壁』」
 広報にっこう No.467 1994.12 p.5
 無署名「美術館準備班だより⑰美術館という文化施設について」
 広報にっこう No.468 1995.1
 無署名「美術館準備班だより⑱展覧会のお知らせ」
 広報にっこう No.469 1995.2
 大岡信「折々のうた」
 朝日新聞 1995.2.19
 無署名「美術館準備班だより⑲美術館という文化施設について②」
 広報にっこう No.470 1995.3
 榮樂徹「大観の淡海 (一)」
 滋賀県立近代美術館研究紀要 1 号 1995.3 pp.5, 9-18
 無署名「美術館準備班だより⑳美術館という文化施設について③」
 広報にっこう No.471 1995.4
 無署名「美術館準備班だより㉑美術館という文化施設について④」
 広報にっこう No.472 1995.5
 無署名「美術館準備班だより㉒美術館という文化施設について⑤」
 広報にっこう No.473 1995.6
 無署名「美術館準備班だより㉓美術館という文化施設について⑥」
 広報にっこう No.474 1995.7
 草薙奈津子「小野竹喬・小杉放菴『奥の細道』に思うこと——文化
 と近代性あるいはハレの芸術・ケの芸術」
 美術京都 15 号 1995.7
 無署名「美術館準備班だより㉔」
 広報にっこう No.475 1995.8
 ※倉田白羊・中西静男《ぶどう園》について
 無署名「美術館準備班だより㉕美術館という文化施設について⑦」
 広報にっこう No.476 1995.9
 無署名「美術館準備班だより㉖作品紹介 (11) 小杉未醒『柳下閑
 談』」
 広報にっこう No.479 1995.12 p.5
 無署名「美術館準備班だより㉗作品紹介 (12) 小杉放菴『賣花翁』」
 広報にっこう No.480 1996.1 p.6
 無署名「美術館準備班だより㉘作品紹介 (13) 小杉未醒『水荘訪
 客』」
 広報にっこう No.481 1996.2 p.3

特集「画家の書——自由な境地の開示」
書彩 6号 1996.2
無署名「美術館準備班だより㉔作品紹介(14) 小杉放菴『正風祖師』」
広報にっこう No482 1996.3 p.5
無署名「美術館準備班だより㉕作品紹介(15) 小杉放菴『草庵訪友』」
広報にっこう No483 1996.4 p.5
西野嘉章「装釘考(4) 装画 小杉未醒と『愛弟通信』(国木田独歩)」
UP (東京大学出版会) 25巻4号(282号) 1996.4
* 西野嘉章『装釘考』2000
横田順彌「旧聞異聞(14) 小杉未醒の未来予測」
ちくま(筑摩書房) 302号 1996.5
* 横田順彌『雑本展覧会』2000
無署名「美術館準備班だより㉖作品紹介(16) 小杉放菴『梅花遊禽』」
広報にっこう No484 1996.5 p.6
橋秀文「近代日本美術家列伝(53) 小杉放菴」
美術手帖 48巻6号(726号) 1996.6 pp.174-175
* 神奈川県立近代美術館 編『近代日本美術家列伝』1999
無署名「美術館準備班だより㉗作品紹介(17) 小杉放菴『水亭』」
広報にっこう No485 1996.6 p.9
無署名「美術館準備班だより㉘作品紹介(18) 小杉未醒『水村長夏』」
広報にっこう No486 1996.7 p.9
無署名「美術館準備班だより㉙」
広報にっこう No487 1996.8
無署名「美術館準備班だより㉚作品紹介(19) 小杉未醒『鶏頭』」
広報にっこう No488 1996.9 p.9
無署名「美術館準備班だより㉛作品紹介(20) 小杉未醒『(風景)』」
広報にっこう No489 1996.10 p.6
※現題《海南の美 薩摩富士》について
無署名「美術館準備班だより㉜作品紹介(21) 小杉未醒『ドレスデン』」
広報にっこう No490 1996.11 p.9
増田久美「修復記録 小杉未醒『山幸彦』」
館報(ブリヂストン美術館・石橋美術館) 44号 1996.11
無署名「美術館準備班だより㉝作品紹介(22) 森田恒友『緑野』」
広報にっこう No491 1996.12
無署名「美術館準備班だより㉞作品紹介(23) 小杉放菴『仙山朝陽』」
広報にっこう No492 1997.1
佐々木央「村山槐多生誕百年の日に」
繪 395号 1997.1
* 佐々木央『円人村山槐多』2007
無署名「美術館準備班だより㉟作品紹介(24) 小杉放菴『金太郎』」
広報にっこう No493 1997.2 p.11
無署名「美術館準備班だより㊱作品紹介(25) 小杉放菴『春風有詩』」
広報にっこう No494 1997.3 p.9
高橋秋夫「放庵と大威徳山」
秋田魁新報 1997.5.30 夕刊
特集「日光市広報第500号記念特集 小杉放菴記念日光美術館」
荒井宗明「仙境の画人」
山梨絵美子「小杉放菴記念日光美術館の開館に寄せて」
高松忠昭「小杉放菴記念日光美術館に期待するもの」
軍司均「作品としての小杉放菴記念日光美術館」
高藤晴俊「美術館は日光の新たな光」
富田章「小杉放菴記念日光美術館の今後に期待する」
中山琰一「美術館から日光文化の発信を」
室井正松「開館の待たれる美術館」
砂川孝夫「小杉放菴紹介映像『放菴——画家・小杉放菴の世界』について」
広報にっこう No500 1997.9

入江観「ものを観る喜び」
日本経済新聞 1997.11.23 p.36
岩永裕介「越前和紙と小杉放庵」
新聞研究 560号 1998.3
榮樂徹「大観の淡海(二)」
滋賀県立近代美術館研究紀要 2号 1998.3 pp.9-25
金仙奇「幸徳秋水の反戦論と小杉未醒の反戦詩考察」
日本學論集(慶熙大学校大学院日語日文学科) 8輯 1998.3
* 金仙奇『小杉未醒研究』2009
古田亮「山幸彦 小杉未醒筆」
国立博物館ニュース 611号 1998.4
立川昭二「東西名画・匠の風景——小杉未醒『病室の写生』」
Vita(ビー・エム・エル) 15巻2号(59号) 1998.4・5・6
* 立川昭二『生と死の美術館』2003
金仙奇「小杉未醒の『陣中詩篇』についての考察——朝鮮認識と反戦意識を中心に」
日語日文学研究(韓国日語日文学會) 32輯 1998.6
* 金仙奇『小杉未醒研究』2009
佐々木央「小杉氏寄寓の少年たち——村山槐多の水彩『二人の少年』をめぐって」
繪 413号 1998.7
* 佐々木央『円人村山槐多』2007
金仙奇「日露戦争期の朝鮮と『陣中詩篇』に見られる朝鮮像」
日語日文学(大韓日語日文学會) 10輯 1998.8
* 金仙奇『小杉未醒研究』2009
瀬木慎一「日本美術の百年(35) 小杉未醒(放菴)と春陽会」
東京新聞/中日新聞 1998.9.28 夕刊
金仙奇「小杉未醒の「戦の罪」考察」
瑞逸論叢서일대학 16集 1998.12
* 金仙奇『小杉未醒研究』2009
樺沢修「アート散歩欄 織田信長の寺と小杉放菴——安土城跡・摠見寺の襖絵展」
下野新聞 1999.5.16 p.7
佐々木央「〈焼絵〉というバクレン画 村山槐多の焼絵盆『茶煙残夢』をめぐって」
繪 425号 1999.7
* 佐々木央『円人村山槐多』2007
金仙奇「日露戦争と『陣中詩篇』」
国際日本文学研究集會會議録(国文学研究資料館) 第22回 1999.10
* 金仙奇『小杉未醒研究』2009
(三)『「転向」、それとも『一本道』なのか』
朝日新聞 2000.5.27 夕刊
石割透「京都・東京——その文化交流の側面」
駒澤短期大学研究紀要 28号 2000.3 pp.1-23
※芥川龍之介・新井謹也・小杉未醒・小林雨郊の交流に言及
手島隆志「とちぎ20世紀(76) 多才な画人小杉放菴」
下野新聞 2000.7.2
* 『とちぎ20世紀』下巻 2001
田中正史「小杉富三郎と小杉放菴——ある国学者の系譜」
歴史と文化(栃木県歴史文化研究会) 9号 2000.8
石割透「小林雨郊とその周辺(全22回)」
京都新聞 2000.8.11,18,25, 9.1,8,15,22,29, 10.6,13,20,27, 11.3,10,17,24, 12.1,8,15,22,29,30
※小杉や芥川龍之介と親交があり、小杉の『大雅堂』出版にも協力した日本画家について
森務「ぐんまの郷土芸能——蒔田の獅子舞」
ぐんま地域文化(群馬地域文化振興會) 15号 2000.10
丹尾安典『『平和国家』の『滅私奉公』——昭和二十年八月十五日前後録』
比較文学年誌 37号 2001.3
寺門寿明「放菴と文哉、師弟の歲月——小杉放菴の回想『十三から二十三まで』を読む(全2回)」
耕人 7,11号 2001.4, 2005.5

紅野敏郎「逍遙・文学誌（126）乗合船——新村出・放庵・順・勇・一政・湯川秀樹・中山正善・実篤・胡堂・羽仁新五ら」
 國文學:解釈と教材の研究 46 巻 14 号（677 号）2001.12
 森田博「横手ゆかりの文人画人（25）小杉放菴」
 月刊はたは 73 号 2002.4
 吉成英文「文哉のこと放庵のことなど」
 茨城科学史の会々報 2 号 2002.7
 芦田正次郎「横山大観の「荒川絵巻」について——田端文士村居住小杉放庵（未醒）と共作」
 北区史を考える会会報 65 号 2002.8
 丸山千代「短歌で見る小杉放菴（一）」
 文芸四季（文芸四季の会）65 号 2002 pp.28-31
 丸山千代「短歌で見る小杉放菴（二）」
 文芸四季（文芸四季の会）66 号 2003.1 pp.23-24
 松村敏子「越後の歌びと（5）小杉放菴」
 新潟日報 2003.1.6
 山田直子「従軍した画家たち——『戦時画報』における不同舎門人の活動」
 女子美術大学研究紀要 33 号 2003.3
 三谷憲正「『関妃』試論——図像をめぐる一考察」
 日本研究（国際日本文化研究センター）27 号 2003.3 pp.91-110 ※小杉の詩「関妃陵」（『陣中詩篇』）周辺について
 丸山千代「短歌で見る小杉放菴（三）」
 文芸四季（文芸四季の会）67 号 2003.4 pp.14-17
 北岡文雄「近代美術育てた懐の深さ 春陽会創立 80 年、草創期と現在の展覧会」
 日本経済新聞 2003.4.30
 入江観「第 80 回展記念春陽会草創の画家たち」
 新美術新聞 2003.5.21
 丸山千代「短歌で見る小杉放菴（四）」
 文芸四季（文芸四季の会）68 号 2003.7 pp.13-16
 無署名「雷鳴抄」
 下野新聞 2003.8.26
 ※小杉放菴と「風の盆」について
 千葉雄「扇田の郷を訪れた文人墨客 小杉放菴（全 2 回）」
 北鹿新聞 2003.9.10～11
 丸山千代「短歌で見る小杉放菴（五）」
 文芸四季（文芸四季の会）69 号 2003.10 pp.8-13
 李善玉「고스기 미세이 (小杉未醒) 의 韓國像 考察——『陣中詩篇』을 중심으로 [小杉未醒の韓国像考察——『陣中詩篇』を中心に]」
 日本學研究（檀國大學校 日本研究所）13 輯 2003.10
 田中正史「とちぎの美『列仙伝』を描いた屏風の大作」
 東京新聞（栃木版）2003.10.8
 丸山千代「短歌で見る小杉放菴（六）」
 文芸四季（文芸四季の会）71 号 2004.4 pp.4-7
 河田明久「明治期戦争美術鳥瞰」
 國文學:解釈と教材の研究 49 巻 6 号（711 号）2004.5
 勝山滋「今村紫紅《入る日・出る月（画稿）》とその周辺」
 横山大観記念館館報 20 号 2004.7
 ※《東海道五十三次絵巻》について
 田中正史「ヴェレシチャーギンと日光をめぐるいくつかの問題について」
 窓（ナウカ）130 号 2004.10
 大竹昭子「この秋行きたい個人美術館 小杉放菴記念日光美術館 日本画と洋画の融合を試みた画家」
 一枚の繪 398 号 2004.10 pp.46-49
 紅野謙介「日露戦争下の雑誌から⑩『天鼓』」
 日本古書通信 69 巻 11 号（904 号）2004.11
 無署名「北斗星」
 秋田魁新報 2005.2.28
 ※小杉と短歌、平福百穂との交友について
 内木裕「小杉放菴と幻の県会議場の記念壁画計画」
 文書館だより（栃木県立文書館）37 号 2005.3
 内木裕「幻の小杉放菴壁画の真相に向けて——四代目県庁舎の議

場壁画計画」栃木県立文書館研究紀要 9 号 2005.3
 丸山千代「短歌で見る小杉放菴（九）」
 文芸四季（文芸四季の会）75 号 2005.4 pp.54-59
 金仙奇「日露戦争と小杉未醒の芸術活動——反戦意識と芸術的形象化を中心に」
 日語日文学（大韓日語日文学會）26 輯 2005.5
 無署名「雷鳴抄」
 下野新聞 2005.6.8 ※小杉が手がけた壁画について
 金仙奇「日露戦争と小杉未醒の戦争画についての考察——反戦詩篇との関連様相と反戦意識を中心に」
 日本文化研究（韓国日本學協會）15 輯 2005.7
 佐藤志乃「小杉未醒『北馬南船帖』と近代の南画帖について」
 横山大観記念館館報 21 号 2005.7
 宝玉正彦「美の美 新南画の挑戦——芋銭と放菴（全 3 回）」
 日本経済新聞 2005.8.28、9. 4, 11
 無署名「放庵の愛したおわらを見学 栃木の研究グループ」
 北日本新聞 2005.9.4
 後藤康二「小杉未醒『陣中詩篇』覚え書」
 試想（試想の会）4 号 2005.11
 金仙奇「小杉未醒の『帰れ弟』についての考察」
 日本學論集（慶熙大學校大學院日語日文学科）20 輯 2005.12 pp.1-15
 内田洋一「美の美 絵画は踊る（4）」
 日本経済新聞 2006.2.26
 富田律之「美の美 結集する個性——アトリエ村三景（下）」
 日本経済新聞 2006.5.14
 鈴木日和「小杉放菴と漢籍について」
 横山大観記念館館報 22 号 2006.7
 無署名「越中流 第 2 部 おわらと生きる⑥」
 北日本新聞 2006.8.31
 生尾慶太郎「作家が語る [わたしの墨絵] ⑩ 素直な到達を喜ぶべき 小杉放菴」
 趣味の水墨画 18 巻 11 号（215 号）2007.3
 後藤康二「未醒詩のゆくえ」
 試想（試想の会）5 号 2007.3
 後藤康二「小杉未醒の日露戦争従軍画——『戦時画報』掲載の画を中心に」
 会津大学文化研究センター研究年報 13 号 2007.3
 高橋信之「小杉放庵『四国から近江路へ』」
 国文学:解釈と鑑賞 72 巻 4 号 2007.4
 神田重幸「田山花袋『耶馬溪の一夜』」
 国文学:解釈と鑑賞 72 巻 4 号 2007.4
 無署名「富山おもしろ美術散歩（31～35）小杉放菴とおわら（全 5 回）」
 富山新聞 2007 年 10 月 29 日、11 月 5, 26 日、12 月 17, 31 日
 田中正史「開館 10 周年記念展解説」
 下野新聞 2007.11.18
 平井美佳「小杉放菴記念日光美術館（栃木）を訪ねて」
 山陽新聞 2008.1.1
 後藤喜一「美術館への招待 小杉放菴記念日光美術館——『泉』小杉放菴作」
 東京新聞 2008.2.7 夕刊
 小林純子「小杉放菴と沖縄——沖縄旅行時の日記と作品を通して」
 沖縄県立芸術大学紀要 16 号 2008.3
 水野永一「フランスでの島崎藤村と稲垣吉蔵」
 安曇野文芸 17 号 2008.4
 佐藤志乃「横山大観の『漁樵問答』『竹雨』と片ぼかしの技法について」
 横山大観記念館館報 24 号 2008.8 pp.3-18
 鶴見香織「南画と個性派」
 別冊太陽 154 号 特集:近代日本の画家たち——日本画・洋画 美の競演 2008.8 pp.78-95
 若林治美「再見・小杉放菴——とちぎブランドの先駆者（1）おわら風の盆 その 1」

- 下野新聞 2008.11.3
若林治美「再見・小杉放菴——とちぎブランドの先駆者 (2) おわら風の盆 その2」
下野新聞 2008.11.5
若林治美「再見・小杉放菴——とちぎブランドの先駆者 (3) おわら風の盆 その3」
下野新聞 2008.11.6
若林治美「再見・小杉放菴——とちぎブランドの先駆者 (4) 文哉と国太郎」
下野新聞 2008.11.7
若林治美「再見・小杉放菴——とちぎブランドの先駆者 (5) 未醒の画壇デビュー」
下野新聞 2008.11.8
若林治美「再見・小杉放菴——とちぎブランドの先駆者 (6) 日本美術院の再興」
下野新聞 2008.11.11
若林治美「再見・小杉放菴——とちぎブランドの先駆者 (7) 田端文士芸術家村 その1」
下野新聞 2008.11.12
若林治美「再見・小杉放菴——とちぎブランドの先駆者 (8) 田端文士芸術家村 その2」
下野新聞 2008.11.13
若林治美「再見・小杉放菴——とちぎブランドの先駆者 (9) 田端文士芸術家村 その3」
下野新聞 2008.11.14
若林治美「再見・小杉放菴——とちぎブランドの先駆者 (10) 天狗倶楽部」
下野新聞 2008.11.15
若林治美「再見・小杉放菴——とちぎブランドの先駆者 (11) ボブラ倶楽部」
下野新聞 2008.11.18
若林治美「再見・小杉放菴——とちぎブランドの先駆者 (12) 東大安田講堂 その1」
下野新聞 2008.11.19
若林治美「再見・小杉放菴——とちぎブランドの先駆者 (13) 東大安田講堂 その2」
下野新聞 2008.11.20
若林治美「再見・小杉放菴——とちぎブランドの先駆者 (14) 放菴紙 その1」
下野新聞 2008.11.21
若林治美「再見・小杉放菴——とちぎブランドの先駆者 (15) 放菴紙 その2」
下野新聞 2008.11.22
若林治美「再見・小杉放菴——とちぎブランドの先駆者 (16) 画人の日本行脚」
下野新聞 2008.11.26
若林治美「再見・小杉放菴——とちぎブランドの先駆者 (17) グラフィックデザイン」
下野新聞 2008.11.27
若林治美「再見・小杉放菴——とちぎブランドの先駆者 (18) 安明荘の日々」
下野新聞 2008.11.28
若林治美「再見・小杉放菴——とちぎブランドの先駆者 (19) 小杉放菴記念日光美術館」
下野新聞 2008.11.29
若林治美「再見・小杉放菴——とちぎブランドの先駆者 (20) 放菴ブランド」
下野新聞 2008.12.3
出光佐千子「小杉放菴筆『秋色山水長巻』——楽園イメージの源泉と『片ばかし』の展開」
出光美術館研究紀要 14号 2009.1
青木茂「新・旧刊案内 37 『忘れぬうちに』集Ⅱ」
一寸(書痴同人) 37号 2009.2
金仙奇「日露戦争と小杉未醒の『戦の罪』」
日語日文学研究(韓国日語日文学會) 68輯 2009.2 pp.3-28
後藤康二「小杉未醒の『戦の罪』——死者の視点と国家」
会津大学文化研究センター研究年報 15号 2009.3
塩谷純「大観と未醒／放菴 日本美術院再興の周辺」
出光美術館館報 147号 2009.5
栃木県立美術館 監修「なるほど! アート教室 県美所蔵作品紹介 (15) 小杉放菴「立石寺」」
下野新聞 2009.7.12
柳原一興「放菴ゆかりの韓国を訪ねて——放菴魅了した石窟庵」
下野新聞 2009.7.24
黒田修一郎「小杉放菴の軸発見 おわら名歌『八尾四季』生みの親」
北日本新聞 2009.8.7
森まゆみ「谷中モンパルナス 私の好きな画家たち 小杉放菴——境界を飛び越えた仙人」
一枚の繪 457号 2009.9
金仙奇「小杉未醒『韓の老臣に代って舊王城に懷古の情を賦す』についての考察」
日本語文学(日本語文学會) 47輯 2009.11
김용철〔キム・ヨンチョル〕「라일전쟁기 일본 전쟁화의 몇 가지 유형」[日露戦争期における日本の戦争画の幾つかの類型]
日本學研究(檀國大學校 日本研究所) 29輯 2010.1
金仙奇「小杉未醒の朝鮮体験と画報についての考察」
日語日文学(大韓日語日文学會) 45輯 2010.2
井上ひろ美「淡海のたからもの 琵琶湖文化館収蔵品から (36) 紙本墨書小杉放菴書跡 一幅」
毎日新聞(滋賀版) 2010.2.16
田中正史「企画展『小杉放菴の自然へのいつくしみ』」
下野新聞 2010.6.13
佐藤志乃「俳画をめぐる近代画家たちの活動——『ホトトギス』誌を中心に」
横山大観記念館館報 25号 2010.10
内田洋一「美の美 芭蕉の眼になる (下)」
日本経済新聞 2010.10.24
清水恵美子「岡倉天心の顕彰をめぐる——五浦・赤倉・福井を中心に」
五浦論叢 17号 2010.11
出光佐千子「〈研究発表要約〉放菴の片ばかしと近世絵画——『小杉放菴と大観』展を開催して」
近代画説 19号 2010.12
손순옥〔孫順玉〕「메이지 시대의 반전시 연구 ——『러일 전쟁』을 중심으로」[明治時代の反戦詩研究——「日露戦争」を中心に]
세계문학비교연구〔世界文学比較研究〕(한국세계문학비교학회〔世界文学比較学会〕) 33号 2010.12 pp.179-202
张锋,张莹(張鋒,張莹)「略论日本画家小杉放菴的绘画艺术——以辽宁省博物馆藏品为例」[日本画家小杉放菴の繪画芸術について——遼寧省博物館所蔵品を例に]
辽宁省博物館館刊(遼寧省博物館館刊) 2010年第1期 pp.374-377
田中正史「墨のある風景 小杉未醒——窓辺佳人図」
趣味の水墨画 22巻11号(263号) 2011.3
田中正史「1913年——小杉未醒のヨーロッパ遊学について」
美學美術史論集(成城大学大学院文学研究科) 19輯 2011.3 pp.291-307
細川光洋「吉井勇の旅鞆 昭和初年の歌行脚ノート 連載9 土佐への初旅」
短歌研究 68巻5号 2011.5 pp.124-129
*細川光洋『吉井勇の旅鞆』2021
齋内佐斗司「こころの玉手箱 (5) 小杉放菴の書」
日本経済新聞 2011.5.13 夕刊
神下雄吉「小豆島寒霞溪の風景と絵画について」
国立公園 698号 2011.11
岡崎一「『本間久雄日記』を読む (3)」
人文学報 表象文化論(首都大学東京 教養学部 人文・社会系) 461号 2012.3 pp.1-26

※本間久雄の小杉取材について
 江戸美佐子「小杉放菴日光美術館『越前和紙の魅力』展——日本画に新たな表現法」
 下野新聞 2012.9.16 p.15
 田中正史「小杉放菴日光美術館『越前和紙の魅力』展——職人と画家『紙』への思い」
 下野新聞 2012.10.14 p.27
 無署名「黒羽芭蕉の館だより (21)『田植え』(小杉放菴筆)」
 広報おおたわら 1179号 2012.11.1 p.26
 入江観「遺された言葉 (46) 小杉放庵」
 一枚の繪 497号 2012.12
 佐藤志乃「明治・大正におけるパンカラ旅行の系譜——大観・観山・紫紅・未醒の東海道五十三次旅行(大正4年)の背景として」
 横山大観記念館館報 28号 2013.3
 細川光洋「吉井勇の旅靴 昭和初年の歌行脚ノート 連載 28 歌行脚 3 中国路・鯉城歌抄」
 短歌研究 70巻6号 2013.6
 *細川光洋『吉井勇の旅靴』2021
 西岡一正「美の履歴書 (309) 小杉未醒『水郷』 漱石が評価したわけ」
 朝日新聞 2013.6.19 夕刊
 鈴木日和「小杉放菴の歩んだ道 旅と出会い、そして洋画と日本画」
 歴史と文化(栃木県歴史文化研究会) 22号 2013.8
 山下和正「古地図ワンバイワン (116) 大正元年 新日光絵図」
 地図中心 494号 2013.11 pp.28-29
 出光佐千子「小杉放菴の名勝画冊——石濤筆『黄山八勝画冊』の周辺」
 出光美術館研究紀要 19号 2014.1 p.10, pp.125-140
 佐藤志乃「明治末のパンカラ主義について——押川春浪の『冒険世界』と小杉未醒」
 横山大観記念館館報 29号 2014.2
 金仙奇「小杉未醒『朝鮮を去るの歌』論」
 日本學報일본학보(韓国日本學會) 98輯 2014.2
 無署名「『琉球拳法唐手』の挿画作者 山城正綱の消息」
 沖縄空手通信 92号 2014.2 pp.1-2
 蔡家丘「小杉放庵の『東洋趣味』について——東アジア旅行、中国絵画への認識と受容をめぐる」
 美術史 63巻2号(176冊) 2014.3 pp.306-322
 出光佐千子「文人・小杉放菴研究序——『梅花小禽』襖(出光美術館蔵)の主題をめぐって」
 パラゴネ(青山学院大学比較芸術学会) 1号 2014.3
 田中正史 監修「特集 小杉放菴 進取の画趣」
 田中正史・出光佐千子「対談 小杉放菴 モダニズムと文人の素養」
 花美術館 36号 2014.4
 無署名「おわら名歌生んだ恩人 小杉放庵没後 50年」
 北日本新聞 2014.8.31 p.3
 岸野香「私の好きな春の絵、春の画家(2) 故郷のモクレンと放菴のモクレン」
 月刊美術 474号(41巻3号) 2015.3 p.30
 田中正史「小杉未醒のヨーロッパ遊学について(フランス・ベルギー・ドイツ・ロシア)」
 横山大観記念館館報 30号 2015.3 pp.3-18
 迫内祐司「近代日本版画家名覧(1900-1945) 戦前に版画を制作した作家たち(8) 小杉放菴」
 版画堂(目録) 108号 2015.6 p.67
 三浦篤「小杉放菴と西洋体験」
 出光美術館館報 172号 2015.8 pp.4-31, 表紙, 口絵
 陳芴宇「水墨表現における紙の特質による技法の展開——小杉放菴の『石』に関する表現方法を一例として」
 芸術学研究(筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程芸術専攻) 20号 2015.11 pp.19-28

金仙奇「小杉未醒『髑髏塔の筆者』論」
 日語日文學研究(韓國日語日文學會) 95輯2巻 2015.11
 出光佐千子「小杉放菴筆『湿婆神舞蹈』と福原信三」
 出光美術館館報 174号 2016.2 pp.29-32, 口絵
 植田彩芳子・増渕鏡子「翻刻 小川千甕『滞欧日記』(全4回)」
 京都文化博物館研究紀要 朱雀 28~31集 2016.3, 2017.3, 2018.3, 2019.3
 関口之洋「美術館紀行(67) 小杉放菴記念日光美術館」
 Astellas Square(アステラス製薬株式会社) Vol.12 No.2(通巻67号) 2016.4 pp.36-38
 金仙奇「小杉未醒『二十四人』論」
 동북아 문화연구〔北東アジア文化研究〕(동북아시아문화학회〔北東アジア文化学会〕) 49輯 2016.12 pp.291-304
 田坂憲二「『乗合船』について」
 藝文研究(慶應義塾大学藝文学会) 112号 2017.2 pp.16-36
 特集「未醒、放庵、そして放菴 画家・小杉放菴の生涯と作品を振り返る」
 美術屋・百兵衛 41号 特集: 栃木文化考 2017.4 pp.12-31
 無署名「黒羽芭蕉の館だより 第52回 小杉放菴筆『田植え』」
 広報おおたわら 1240号 2017.7 p.30
 椎野晃史「近代絵巻の基礎的研究—前田青邨を中心に—」
 鹿島美術研究 年報34号別冊 2017.11 pp.348-358
 ※小杉が詞書を寄せた青邨の《山幸海幸》について
 油井正昭「国立公園協会の国立公園絵画制作と画家小杉放菴について」
 NP FORUM: 江戸川大学国立公園研究所年次報告 2号 2017.11 pp.111-125
 入江観「観の眼 美の散歩道 第39回 『慈しみ』ということ」
 一枚の繪 Na556 2017.12 p.5
 ※《山翁奉仕》の思い出について
 向後恵里子「日露戦争の美術——戦争画・従軍画家・美術国」
 近代画説 26号 2017.12 pp.94-111
 金仙奇「小杉未醒 『戦友の墓』論」
 동북아 문화연구〔北東アジア文化研究〕(동북아시아문화학회〔北東アジア文化学会〕) 53輯 2017.12 pp. 309-323
 田坂憲二「祭りのあとの八尾——富山・吉井勇紀行」
 日本古書通信 82巻12号(1061号) 2017.12 pp.26-27
 細川光洋「吉井勇の戦中疎開日記(上)——『北陸日記』抄」
 国際関係・比較文化研究(静岡県立大学国際関係学部) 16巻2号 2018.3 pp.23-39
 木島隆康・鈴鴨富士子・金鐘旭「東京大学大講堂(安田講堂) 小杉未醒作〈湧泉〉〈採果〉の壁画修復」
 文化財保存修復学会誌 61号 2018.3 pp.55-68, 口絵
 杉村浩哉「いちおしミュージアム 小杉放菴 良寛——潔く芸術院会員辞す」
 朝日新聞(栃木版) 2018.8.1 p.20
 劉銀炘「日露戦争の戦場経験が生み出した『朝鮮』——洋画家小杉未醒の『陣中詩篇』と写生」
 中央大学政策文化総合研究所年報 21号 2018.8 pp.171-187
 細川光洋「吉井勇の戦中疎開日記(中)『續北陸日記』抄1」
 国際関係・比較文化研究(静岡県立大学国際関係学部) 17巻1号 2018.9 pp.47-68
 細川光洋「吉井勇と高志びとたち～戦中日記より(8) 小杉放庵 酒間の友 気脈通じる」
 北日本新聞 2018.10.25 p.13
 金仙奇「小杉未醒の日露戦争体験と『帰れ弟』論」
 동북아문화연구〔北東アジア文化研究〕(동북아시아문화학회〔北東アジア文化学会〕) 57輯 2018.12 pp. 245-261
 陳芴宇「岩野平三郎と近代日本画家の交流に関する一考察——画家の画紙を中心に」多摩美術研究 8号 2019.6 pp.43-55
 青木茂「新・旧刊案内 79・独歩と未醒『二十八人集』と『病牀録』・未醒『漫画一年』」
 一寸(書痴同人) 79号 2019.8 pp.1-13
 細川光洋「吉井勇の戦中疎開日記(下)『續北陸日記』抄2」

国際関係・比較文化研究（静岡県立大学国際関係学部）18 巻
1 号 2019.9 pp.25-44

清水友美 談「私のイチオシコレクション 小杉放菴記念日光美術館」
朝日新聞 2019.10.15 夕刊 p.4

杉村浩哉「いちおしミュージアム 小杉未醒 煉丹——欧州・中国の影響うけ」
朝日新聞（栃木版）2019.10.30 p.24

無署名「黒羽芭蕉の館だより 第71回 小杉未醒『芭蕉行脚之図』」
広報おたわら 1269 号 2019.2 p.26

高崎章子「『なかはく』開館記念企画 学芸員のイチ押し①小杉放菴『耶馬溪図巻』未来へ伝える景観描く」
大分合同新聞 2019.12.5 p.12

青木茂「新・旧刊案内 80 ・小杉未醒『漫画天地』・近況雑事」
一寸（書痴同人）80 号 2019.12 pp.1-12

清水恵美子「赤倉山荘『亜細亜ハーナリ』をめぐる謎」
ひといき草（江戸千家連合不白会）135 号 2020.1 pp.32-33
※小杉が参加した天心祭について

青木茂「新・旧刊案内 81 ・古本仲間 ・小杉未醒『漫画天地』訂正・補遺」
一寸（書痴同人）81 号 2020.2 pp.1-9

青木茂「新・旧刊案内 82 春浪『冒険世界』と独歩『欺かざるの記』の未醒」
一寸（書痴同人）82 号 2020.6 pp.1-7

杉村浩哉「いちおしミュージアム 小杉放菴 婦人立像——立ち姿にも時代性？」
朝日新聞（栃木版）2020.6.24 p.24

青木茂「新・旧刊案内 83 小杉未醒『漫画と紀行』その他」
一寸（書痴同人）83 号 2020.10 pp.1-12

宇賀神いづみ「『〈未醒〉時代の小杉放菴』展 初公開『降魔』など 70 点 初期から壮年期 魅力迫る」
下野新聞 2020.10.24 p.18

迫内祐司「解説『〈未醒〉時代の小杉放菴』展」
下野新聞 2020.11.28 p.20

迫内祐司「研究ノート 小杉放菴の戦争観をめぐって」
美術運動史研究会ニュース 182 号 2020.12 pp.11-17

金仙奇「小杉未醒『朝鮮日記』論」
동북아 문화연구〔北東アジア文化研究〕(동북아시아문화학회〔北東アジア文化学会〕) 65 輯 2020.12, pp. 355-370

瀧本弘之「中国古版画散策 第七二回 小杉未醒の『新訳絵本水滸伝』」
東方（東方書店）479 号 2021.3・4 pp.20-23

青木茂「新・旧刊案内 85 小杉未醒の画文集『詩興画趣』と田岡嶺雲の文学・芸能雑誌『天鼓』と」
一寸（書痴同人）85 号 2021.3 pp.1-9

青木茂「新・旧刊案内 86 ・終息近い日の木茂・未醒『人の手』のまことの終息」
一寸（書痴同人）86 号 2021.7 pp.1-9

宇賀神いづみ「小杉放菴記念日光美術館 来月から 生誕 140 年 コレクション 70 点厳選」下野新聞 2021.8.28 p.19

迫内祐司「解説 生誕 140 年 小杉放菴 所蔵名品撰」
下野新聞 2021.10.9 p.18

勝呂奏「伊豆文学の小径——白柳秀湖『湯の町』他・小杉未醒『伊豆絵詞』」
奏（静岡市・勝呂奏発行）43 号 2021.12 pp.76-80
※小杉・杉田兩人による 1908 年の伊豆旅行について

古田亮「小杉放菴 近代の風に吹かれて」
ひらく（エイアンドエフ）6 号 2021.12 pp.106-120

仲村顕「手拳の系譜 近代空手史をたどる（48）『唐手』行使で犯罪も」
週刊沖縄空手 246 号（沖縄タイムス 2021.12.19）p.17

仲村顕「手拳の系譜 近代空手史をたどる（49）展覧会で『唐手』出品」
週刊沖縄空手 249 号（沖縄タイムス 2022.1.16）p.19

迫内祐司「小杉放菴の文芸ネットワーク」
歴史と文化（栃木県歴史文化研究会）31 号 2022.7 pp.52-61

清水友美「水墨墨章—深淵なる世界—（10）小杉放菴」
墨（芸術新聞社）277 号 2022.7・8 月号 pp.69-73

迫内祐司「藝文風土記 小杉放菴と茨城」
常陽藝文 473 号 2022.10 pp.0-13

김선기〔金仙奇〕「고스기 미세이의『조선을 떠나는 노래』와 나쓰메 소세키의『명가』」〔小杉未醒の『朝鮮を去るの歌』と夏目漱石の『名歌』〕
日語日文学（大韓日語日文学會）97 輯 2023.2 pp.75-95

向後恵里子「絵筆とカメラと機関銃——日露戦争における絵画とその変容」
アジア遊学 285 号（渾沌と革新の明治文化）2023.7 pp.220-234

立石絵梨子「四季が彩る美の世界 出光美術館近代美術名品選① 小杉放菴 天のうずめの命」
北海道新聞（苫小牧・日高版）2023.10.3 p.15

立石絵梨子「四季が彩る美の世界 出光美術館近代美術名品選⑦ 小杉放菴 さんたくろす」
北海道新聞（苫小牧・日高版）2023.11.1 p.15

송민호〔ソン・ミンホ〕「『조선만화』(朝鮮漫畫)의 한 기원-도리고에 세이키 (鳥越靜岐)의 도한 배경과 회화적 영향 관계를 중심으로」〔“朝鮮漫画”の一つの起源—鳥越靜岐の渡韓背景と日本挿絵界における影響関係を中心に〕
인문논총〔人文論叢〕(서울대학교〔ソウル国立大学〕) 81 巻 1 号 2024.2 pp.335-362

丹尾安典「《一寸随想④》『放庵歌集』のことなど」
日本古書通信 89 巻 9 号 2024.9 pp.4-5

小杉小二郎「在りし日の祖父の姿」
新美術新聞 1664 号 2024.10.1 p.2

堀川英嗣・朱文剣「吳昌碩与钱瘦铁的师生情谊〔吳昌碩と錢瘦鉄の師生情誼〕」
书法〔書法〕（上海书画出版社）2024.10 pp.65-69
※吳昌碩・錢瘦鉄合作になる印章「未醒山人」について言及

無署名「作品探訪 小杉放菴記念日光美術館 小杉未醒(放菴)《泉》」
新美術新聞 1665 号 2024.10.15 p.8

特集「小杉放菴展 姉妹都市盟約 50 周年記念事業 —小杉放菴記念日光美術館所蔵作品を中心に—」
ラ・ムラ・ムラ MAGAZINE（公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団広報誌）15 号 2024.11 pp.1-3

アライ＝ヒロユキ「時流にくみせず独自の境地 小杉放菴展 —小杉放菴記念日光美術館所蔵作品を中心に—」
しんぶん赤旗 2024.12.20 p.14

丹尾安典「《一寸随想⑨》『放庵歌集』補記」
日本古書通信 90 巻 2 号 2025.2 pp.4-6

吉岡日和「思文閣グループの逸品紹介 美の縁 小杉放庵 葛由仙人」鴨東通信（思文閣出版）120 号 2025.4 p.37

丹尾安典「《一寸随想⑭》放庵と『詠み捨て』」
日本古書通信 90 巻 7 号 2025.7 pp.16-17

4 小杉放菴個展資料

芋銭・未醒漫画展（1911）
「よみうり抄 芋銭未醒漫画展覧会 来る十二日より十八日迄三越呉服店三階にて小川芋銭小杉未醒両氏の漫画展覧会を催す由」読売新聞 1911.11.1

一記者「芋銭未醒漫画展覧会を観る」
読売新聞 1911.11.15

無署名「芋銭未醒漫画展覧会」
三越 1 巻 11 号 1911.12 pp.5-7, 会場写真 p.2, 出品作品図版 pp.8-10

雪堂「芸苑雑記」
美術新報 11 巻 2 号（207 号）1911.12
※著者は坂井犀水

「大阪三越呉服店に於ける展覧会」
美術新報 11 巻 3 号 (208 号) 1912.1

小杉未醒・満谷国四郎・柚木久太滞欧作品展 (1914)

「満谷小杉両氏展覧会」
美術週報 1 巻 21 号 1914.3.8
「美術欄 滞欧記念洋画展覧会」
東京朝日新聞 1914.3.9
岡田九郎「三人の絵 小杉、満谷、柚木氏滞欧作品展覧会所見」
日本 (日本新聞社) 1914.3.12
「展覧会めぐり (三) 小杉未醒の土産」
萬朝報 1914.3.15
*抄録: 美術週報 1 巻 23 号 1914.3.22
「展覧会瞥見 満谷小杉柚木三氏展覧会」
美術週報 1 巻 22 号 1914.3.15
黒眼鏡「満谷小杉柚木三氏の展覧会」
時事新報 1914.3.16
涼花生「美術界所感」
二六新報 1914.3.16 p.1
*抄録: 美術週報 1 巻 23 号 1914.3.22
雪堂「早春の諸展覧会」
美術新報 13 巻 6 号 (235 号) 1914.4
※著者は坂井犀水
川上涼花「渡欧記念作品を観る」
現代の洋画 26 号 1914.5

小杉未醒・満谷国四郎滞欧作品展 (1914)

「大阪三越だより欄 満谷、小杉両氏作品展覧会」
三越 4 巻 5 号 1914.5 p.17
「大阪三越だより欄 満谷、小杉両氏作品展覧会」
三越 4 巻 6 号 1914.6 p.10
「小杉、満谷氏渡欧作品展覧会」
現代の洋画 27 号 1914.6
「満谷小杉両氏滞欧作品展覧会」
美術週報 1 巻 34 号 1914.6.7
瓢箪上人「満谷小杉洋画展覧会」
大阪朝日新聞 1914.6.12
「美術欄 大阪の三越」
東京朝日新聞 1914.6.13
「大阪三越だより欄 満谷、小杉両氏洋画展覧会」
三越 4 巻 7 号 1914.7 pp.12-13

小杉未醒近作展 (1917)

『未醒画贖』
飯田呉服店美術部 1917.10

未醒横幀展 (1919)

「未醒氏の近作」
東京朝日新聞 1919.12.14
無署名「小杉未醒氏の横幀」
時事新報 1919.12.14 夕刊
「時報 小杉未醒氏 近作横幀物展覧会十一日より十四日迄琅玕堂に開催」美術月報 1 巻 5 号 1919.12 p.14
木羊「未醒氏の横幀」
美術月報 1 巻 6 号 1920.1 p.13
無署名「展覧会月評欄 未醒横幀展観」
中央美術 6 巻 2 号 (53 号) 1920.2 pp.128-129

未醒邦画展 (1922)

『未醒邦画集』
中央美術協会 1922
特集「小杉未醒の日本画」
中央公論 37 年 6 号 1922.6
平福百穂「未醒氏の日本画を瞥見して」/森田恒友「構図の画

的興味と詩趣」/山本鼎「未醒君の軌道」
「〔広告〕未醒個人展覧会」
読売新聞 1922.6.12
「〔広告〕未醒個人展覧会」
東京朝日新聞 1922.6.13 夕刊
無署名「未醒氏個人展覧会」
東京朝日新聞 1922.6.14
無署名「未醒邦画展」
読売新聞 1922.6.14
木羊「展覧会月評欄 未醒邦画展」
美術月報 3 巻 10 号 (228 号) 1922.7 p.14
「展覧会欄 未醒邦画展 日本橋倶楽部」
美術月報 3 巻 10 号 (228 号) 1922.7 p.17

長谷川昇・小杉未醒 支那旅行写生画展 (1924)

「学芸たより」
東京朝日新聞 1924.7.9

放庵未醒瀧十題展 (1926)

「よみうり抄 小杉未醒氏 小品瀧十題展を一から五日まで王子水房で開く」読売新聞 1926.8.1
かとう「放庵未醒氏の小品瀧十題展」
読売新聞 1926.8.5

小杉未醒・満谷国四郎・石井柏亭 色紙の会 (1928)

「洋画壇の三巨頭が顔をそろへて尊い奉仕」
東京朝日新聞 1928.12.14
「小杉、満谷、石井三画伯のけふ色紙の会」
東京朝日新聞 1928.12.18
「同情週刊色紙の会」
東京朝日新聞 1928.12.19 夕刊

三越本店第 1 回個展 (1932)

『放庵水墨』
日本橋三越本店 [会場] 1932.10
無署名「放庵・九平次両氏個展」
読売新聞 1932.11.4
無署名「小杉放庵氏個展」
東京朝日新聞 1932.11.5
木村莊八「放庵水墨箇展」
アトリエ 9 巻 12 号 1932.12
斎田素州「十一月の展覧会概観 小杉放庵氏水墨画展」
塔影 8 巻 11 号 1932.12 p.21
無署名「十一月の諸展覧会評 小杉放庵氏的水墨展」
美之国 8 巻 12 号 1932.12 p.113

三越本店第 2 回個展 (1933)

『放庵水墨画冊』
日本橋三越本店 [会場] 1933.11
無署名「小杉放庵氏個展」
東京朝日新聞 1933.11.7
無署名「放庵水墨展」
読売新聞 1933.11.10
素心庵「小杉放庵氏の個展」
塔影 9 巻 10 号 1933.12
※初出: 中外商業新報
素心庵「小杉放庵の個展」
アトリエ 10 巻 12 号 1933.12
※初出: 中外商業新報

松坂屋個展 (1934)

「画壇鳥瞰欄 小杉放庵氏個展 四月十二日から四日間名護屋松坂屋で開催する」塔影 10 巻 4 号 1934.4 p.45

三越本店第3回個展（1934）

『放菴墨画 第三冊』
日本橋三越本店〔会場〕1934.10

無署名「小杉放庵氏個展」
東京朝日新聞 1934.10.30

素州生「小杉放庵氏第三回個展」
塔影 10 卷 12 号 1934.12 pp.38-39

H・I 生「放庵氏第三回個展」
美之國 10 卷 12 号 1934.12

白里「小杉放庵第三回個展」
阿々土 3 号 1934.12

大阪高島屋個展（1935）

『放菴画譜』
大阪高島屋〔会場〕1935.5

京城個展（1935）

無署名「小杉放庵画伯の個展」
京城日報 1935.10.7 夕刊 p2

石川宰三郎「鮮土の秋を飾るもの 放庵個展」
京城日報 1935.10.9 夕刊

三越本店第4回個展（1936）

『放菴花鳥冊』
日本橋三越本店〔会場〕1936.1
「〔広告〕小杉放庵第四回個人展観」
読売新聞 1936.1.24

山本直介「小杉放庵第四回個展」
美之國 12 卷 2 号 1936.2

矢野文夫・松原二郎「放庵花鳥個展」
邦画（邦画荘）1 卷 2 号 1936.2 p.90

初風生「放庵氏花鳥個展」
芸術 14 卷 4 号 1936.2.5 p.6

吉田一穂「放庵個展」
美術評論 5 卷 1 号（33 号）1936.2
＊『定本 吉田一穂全集』II 1982

グラビア「放庵個展」
阿々土 11 号 1936.3

神崎憲一「放庵第四回個展」
塔影 12 卷 3 号 1936.3 pp.65-66

無署名「小杉放庵氏個展」
白日（白日荘）10 年 2 号（78 号）1936.4

三越本店第5回個展（1937）

『放庵花鳥選』
日本橋三越本店〔会場〕1937.1
（龍）「“昔噺、——小杉放庵氏個展」
東京朝日新聞 1937.1.23

小特集「小杉放庵氏個展に際して」
美之國 13 卷 2 号 1937.2
放庵個展出品目録/外狩素心庵「事實は放庵もこれからだ」/
岸浪百艸居「石上人」/今井繁三郎「小杉放庵氏個展」

山川草吉「放庵氏の個展を観て」
南画鑑賞 6 卷 2 号 1937.2

今泉篤男 談「現代日本画に於ける二つの病弊（構図と骨法の問題
其他に関連して）」南画鑑賞 6 卷 2 号 1937.2

初風生「小杉放庵氏の花鳥画」
芸術 15 卷 3 号 1937.2.5 p.3

神崎憲一「小杉放庵氏花鳥画個展」
塔影 13 卷 3 号 1937.3 p.44

無署名「放菴氏の花鳥画個展」
白日（白日荘）11 年 3 号 1937.3

木心放菴展（1937）

『木心放菴展観図録』
大塚巧藝社〔発行〕大阪長堀橋高島屋〔会場〕1937.6

大阪高島屋画廊個展（1939）

『放菴近作』
大阪高島屋画廊〔会場〕1939.2
吉副禎三「京都開催展三つ」
美之國 15 卷 3 号 1939.3

大阪松坂屋個展（1940）

「画壇鳥瞰：展覧会欄 小杉放庵氏個展 十六日より廿一日まで大
阪松坂屋で開催。」塔影 16 卷 5 号 1940.5 pp.59-60
吉副禎三「小杉放庵個展」
美之國 16 卷 5 号 1940.5

大阪高島屋画廊個展（1941）

『近作十二』
大阪高島屋画廊〔会場〕1941
日疋重亮「小杉放庵氏個展」
国画 1 卷 4 号 1941.12

日本橋高島屋個展（1948）

竹内梅松「美術界展望——小杉放庵個展」
川柳祭（千葉県市川市・川柳祭社）3 卷 2 号 1948.2・3 合併号
無署名「展覧会総評 来秋より今春への日本画壇——放庵個展」
自由美術 3 卷 1 号（9 号）1948.4

小杉放菴茶掛展（1955）

無署名「小杉放庵茶掛展」
美術グラフ 4 卷 10 号 1955.10

小杉放菴画業 60 年展（1960）

無署名「放庵画業 60 年回顧展」
近代美術研究 3 卷 8 集 1960.3
日野耕之祐「小杉放庵画業六十年展」
産業経済新聞 1960.4.27 夕刊
＊日野耕之祐『美術記者 15 年』1962
北川桃雄「小杉放庵画業 60 年展 古い東洋への郷愁 油と墨の区
別を越えて」朝日新聞 1960.4.30
無署名「小杉放庵 画業 60 年展」
下野新聞 1960.5.1 p.6
石井鶴三「小杉放庵画業六〇年展」
みづゑ 662 号 1960.6

石井鶴三・小杉放菴・中川一政 春陽会三長老展（1961）

『春陽会三長老四季画帖』
日本漁網船具株式会社〔編集発行〕1961.12

小杉放菴 書展（1962）

『書展』リーフレット
大阪なんば高島屋〔会場〕1962.1

平櫛田中・熊谷守一・小杉放菴 三合會展（1964）

『平櫛田中・熊谷守一・小杉放菴 三合會展』
大阪なんば高島屋美術部画廊 1964.1